

モザンビーク地方……………六五

南端アフリカ地方……………六六

南アフリカ共和国……………六九

オランダ自由國……………七〇

イギリス領……………七〇

アフリカ嶋嶼……………七八

北大西洋諸嶋……………七九

南大西洋諸嶋……………八一

印度洋諸嶋……………八二

中等地理教科書

野口保興著

外國地誌

あふりか洲

● 總論

自然之部

境。アフリカ洲は舊大陸の南西部を占むる一大半島にして、北東の一隅は僅にスエズの地峽に依りてアジア洲に接續するも、北東は紅海、アマン灣に枕み、東并に南東は印度洋に瀕し、西は大西洋を控へ、北は地中海を隔て、エリトリア洲と相對す、南の方は南緯凡三十五度より起

りて北の方は北緯凡<sup>ニ</sup>三十七度に達し、極東は東經凡<sup>ニ</sup>五十一度にありて極西は凡<sup>ニ</sup>十八度にあり、而して、アフリカ大陸の赤道以北の部は東西に長く南北に短く、之に反して赤道以南の部は南北に長く東西に短し、南北の兩部を合はすれば極長は南北に八千一百軒ありて東西に七千五百軒あり、地積は大陸部のみにて二千九百二十萬方軒に達するが、之に峴峽部の地積六十二萬五千方軒を加ふればアフリカ全洲の地積は二千九百八十二萬五千方軒と成りて我が帝國の凡<sup>ニ</sup>六十八倍に當ると云ふ

海岸<sup>○</sup> 海岸線の發達に關してはアフリカ大陸は五大洲中、最、不完備なるものなり、本大陸の三分の一に過ぎざる地積の、エ、ロ、ッ、パ、が三萬二千軒を有するに當り、アフリカ大陸は僅に二萬八千五百軒を有するのみ、從て海岸線の状態は極めて單純にして、或は凸曲し或は凹曲するあ

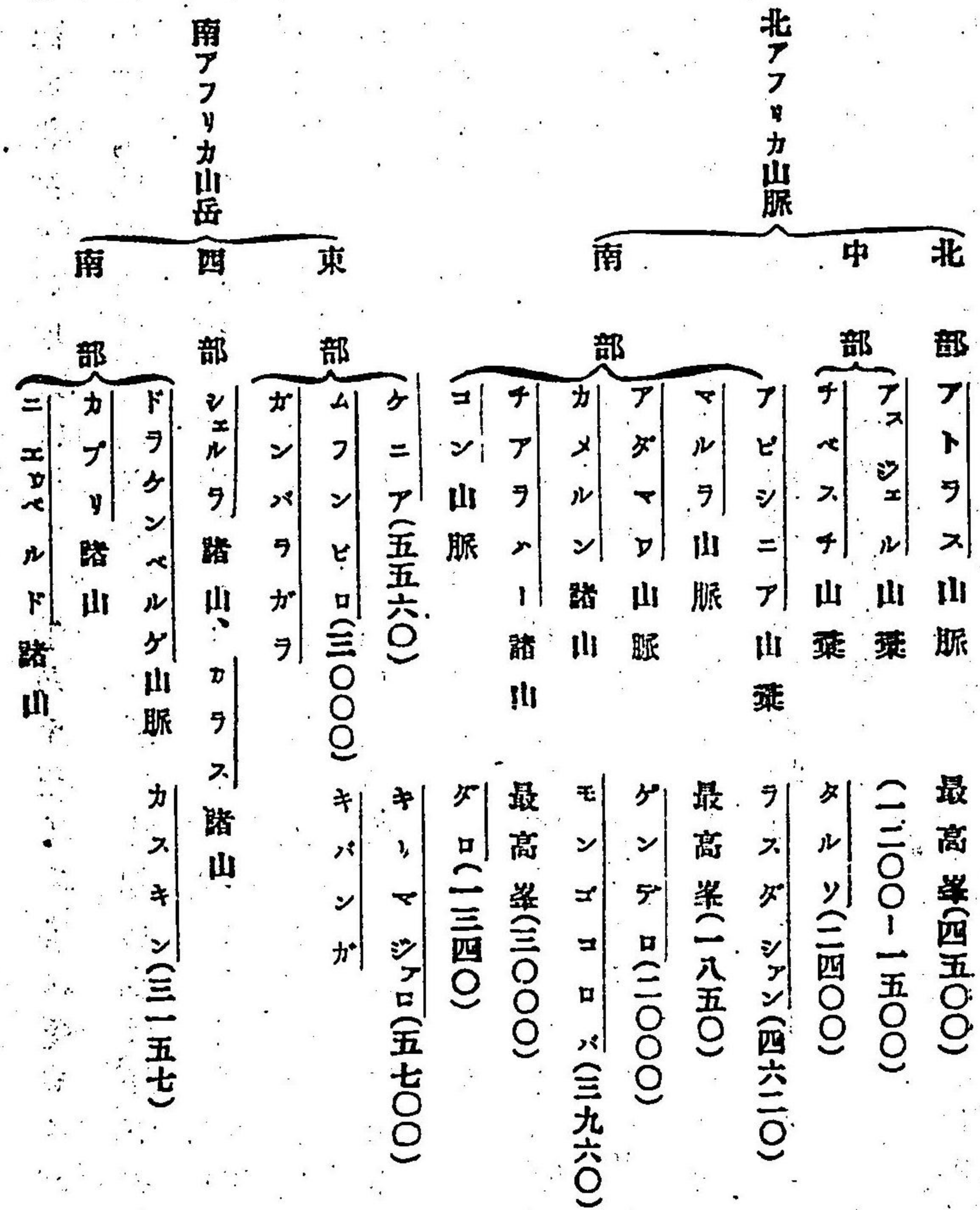
るも屈曲は概して顯著ならず、港灣の如きは其の數甚<sup>ニ</sup>少なくして地中海にシドラ、ガ、ヘ、ス、の二灣、大西洋にギ、ョ、ア、灣、印度洋にア、デ、ン、灣、紅海にス、エ、ズ、灣あるを觀るに過ぎず、岬崎に就きては、東にグ、ア、ル、ダ、フ、イ、岬、デ、ル、ガ、ド、岬あり、南にア、ギ、ョ、ル、ハ、ス、岬<sup>針狀岬の意なり</sup>、喜望岬あり、西にロ、ベ、ス、岬、椰子樹岬、綠岬、白岬あり、北にス、バ、ル、テ、ル、岬、ボン岬あり、マ、ダ、ガ、ス、カ、ル、島に琥珀岬、セ、ン、ト、マ、リ、ー、岬あり、而して半島の如きは一のソ、マ、リ、ー、あるのみ

嶋<sup>○</sup> 嶋に就きても其の數甚<sup>ニ</sup>多からず、沿岸の嶋嶼は紅海に珊瑚性の數島あり、モ、ロ、ッ、コ、の地中海に瀕する處に岩礁的數嶋あり、其他、チ、ャ、ニ、ョ、アの海岸并に綠岬の南に平低の嶋嶼あり、又大河の三角洲に泥沙の嶋嶼あり、東方の沿岸にマ、ヒ、ア、ザ、ン、ヨ、ハ、ル、ベ、ム、バ、ソ、コ、ト、ラ、等の島あり、大西洋の沖合にア、ツ、レ、ス、マ、デ、イ、ラ、カ、ナ、リ、ア、諸島、綠岬諸島あり、ギ、ニ、ア、灣底にヘ、ル、ナ、ン、ド、ボ、島、プ、リ、ン、シ、ッ、ペ、島あり、印度洋にマ、ダ、ガ、ス、カ、ル

大島并にノッシベ、コモレス、マスカレンヤス、セイシユルの諸島等あり、又太西洋にアスセンション、セントヘレナ、トリスター、オダクンハの諸島あり

山誌。アフリカ大陸は一大高原を形成し、其の周圍は概して山脈を繞らせり、然れども内部の地勢を観察すれば、今に未知暗黒の世界の存するあるに拘らず、南北の二高原より成れりとするの妥當なるを見るべし、北アフリカ高原はサハラ、エジプト、ニッピア等の臺地より成りて東西に長く南北に短く、アヲア洲のアラビア臺地の如きも本高原の餘派たるに過ぎず、サハラ臺地はニヨールの上流、チャード湖に低處を呈するも中部は概して凸起して海拔は二千米突以上に達し、東部はリビヤ沙漠の平均海拔三百五十米突に降り、西部は太西洋沿岸地の平均海拔二百五十米突に降り、北部はバルカ臺地に於て一千米突、アトラス山脈に於て四千五百米突に隆起するも、平低の地、凹窪の地を有せざるにあら

ず、南部は北ギニア地方に於て二千乃至三千米突に達するが、西より東に趣かば土地の高低一樣ならずして或は隆起し或は降下するを見、又アビシニア地方の火山質山脈に至らば、四千六百二十米突のラスダマツンを見るべし、而して南アフリカ高原は海拔一千乃至一千五百米突の地に依りて、北アフリカ高原に接續し、東南西の三面には山脈を帶ぶる高隆の地を控へ、南北に長く東西に狭し、殊に東の方に於ける山岳は急峻にしてコンゴリ、ニールの二大河の水源たる大湖地方に蟠踞す、アフリカの山岳中に於て首位を占むるケニア(五六一〇)、キリマツロ(五七〇〇)等の如き秀峯は實に此の山脈に屬せり、西部に於ける山脈は顯著ならざれども連綿として間斷なく、南端の喜望岬地方に達し、ドラケンヘルゲ山脈と成りてカスキン(三三〇)の高峰を呈せり



又島嶼中に於ける山岳にはマダガスカル島にツイハヤボナ(三三三)ヘルナンドボ島にクラレンツ(二五五)、テチリフ島にティド(七三三)等あり

永誌 本洲の河流は著大なるものと雖、航通上の利便を供すること少なし、下流は砂礫を以て填塞せらるる三角洲を爲すにあらざれば、河床に岩石の階段を爲すありて瀑布、奔流、急流、等を現出せり、中流に至りて再び航行に堪ふべき水脈と成るものなきにしもあらざれども、此處彼處に障碍ありて自由に舟を通ずること能はず、是はアフリカ洲の河流の特徴にして、一大缺點たりと云ふべし、本洲をして永く暗黒の世界たらしめしも亦故あるなり

河 名	流域の地積	源 流	河 長
ニール	二八二、〇三〇〇 <small>カサ</small>	バールエルジエメル	五九四〇
セナガル	三六、〇〇〇〇	バセン	一七〇〇

河	流	閉塞	水域
ニシエル	ニシエル	イガルガル河	ニアミ湖
オコエ	オコエ		
コンゴ	コンゴ		
クアンザ	クアンザ		
ク子子	ク子子		
オレンシ	オレンシ		
リンボボ	リンボボ		
ザンベジ	ザンベジ		
ロアマ	ロアマ		
二五、〇二〇〇	三三、四〇〇〇	八二、六五〇〇	七八、五〇〇〇
チオソメ	チオソメ		
オコエ	オコエ		
チンベジ	チンベジ		
クアンザ	クアンザ		
ク子子	ク子子		
センク	センク		
マリコ	マリコ		
リアンマイ	リアンマイ		
ロアマ	ロアマ		
四一六〇	一一〇〇	一八二、〇〇〇〇	一六〇〇

湖	名	面積	海拔
サクレエ	サクレエ(ピクトリアニヤンザ)	八、三三〇	一一〇〇
ムンガニイカ	ムンガニイカ(マニヤニヤンザ)	四四五〇	七〇〇
ニヤッサ	ニヤッサ	三、一四五〇	七八〇
パンシエオロ	パンシエオロ(メンヌ)	二、二二五〇	四八〇
モエロ	モエロ	五〇〇〇	一三〇〇
ムカカ	ムカカ	三、四〇〇〇	八五〇
チアード	チアード(ツアード)	二九八〇	二四四
タナ	タナ	二九八〇	七五五

ニール河はアフリカ洲第一の長流なり、本流たるバールメルアピア即ち白ニールは水源を赤道以南に於けるサクレエ湖に發す、同湖は一名をピクトリアニヤンザと云ひ、海拔一千三百米突の地にありてが

ゲラ(ニールの母流なり)カトonga、カイエ、シメユ、其の他の諸流を受け、六七萬方軒の面積を有し、一百乃至一百七十米突の水層を湛ふ、リボンの瀑布に依りて流出し、ソメルセット河を成り、マリーチソンの瀉流を爲し、海拔七百餘米突の處にありて五六千方軒の面積を有するルーマ湖即ちアルベルト湖に入る、同湖を出づるや山岳水と稱し五百乃至二千米突の河幅を以て藪蔚たる樹林の間に隠見し、ウナイアミを受けたる後は幅百米突の峡谷に入りて奔流激流を爲して海拔五百五十米突のゴンドコロに達し、パールエルラドを過ぎり、ジエルの名の下に北流して一秒時に三百乃至九百立方米突の水を輸送するが、北緯九度のノール湖の地に於て、東方スーダンの河、流、地、方、より来る、豊富のパールエルアラブ又は水に乏しきジャール、等の水脈を合せたるパールエルガザルに合するや、方向を東に轉じ始めてパールエルアピアドと稱す、源をカツハ地方に發するソバットを容れ再び北流しカルツームに於てエシオピアのタナ湖より出づるパールエルアズレク即ち青ニールを受け、清濁の二水は並流して草木

繁茂、百獸棲息の地を潤せり、ベルベルに到るに先だち、チグレ地方より来るアトバラ河を合はす、アザハルハの瀑布、其の他二十處の瀑布に依りて階段の地を降り、沙漠の地をS字形に流れ、二千八百軒の間に一の支流を合はするこさなく、水量は大に減するも狭長の谷地を潤すに足る、カーヒラの附近に至りて數派に分かれ有名のデルターを抱きて地中海に朝す、本河は源委通じて五千九百四十軒一に六千四百軒とすの長を以て二百八十余方軒の流域の水を集むるも沙漠の如き乾燥の地を通過するが故に下流に至れば水量は甚多からず

因に記す、ニール河の増水は毎歲六月二十日頃に始まり、最初は綠色を帯び七月に入りて白色に變じ、七月二十日頃に至れば赤色を成り褐色を成る、八月上旬に増水の半に達し、九月二十五日頃に始めて最高に達す、而して減水は十月下旬又は十一月の上旬に始まり、咸退の度は始めに著しきも一月を過ぐれば漸く遅く六月に至りて最低に達し、肥力に富める土砂を沿岸の地に遺棄してニールをしてエジプトの交たるの實あらしむ

コンゴ河はホルトガル人の所謂ザイン河にしてアフリカ第二の巨流なり、水源をタンガニイカ湖の南方に當る山岳に發し上流をチアンニ云ひチアンベジと稱す、海拔一千三百米突の地にあるバンケエオロ湖に入り幅六七十米突のルアラ河と成り或は沼澤の地を流れ或は瀑流を爲して四百五十米突を降り、海拔八百五十米突のモエロ湖を過ぎりてルアラ河と成る、ランジ湖を經、四ルアラを容れ、タンガニイカ湖より出づるルクガの水を受け幅一杆の巨流と成り始めてコンゴと稱す、北流して赤道直下のスタンレイ瀑布を経て海拔四百三十米突の地に降り忽然として巨大の河流と成り赤道以北の地に入り一大彎曲を爲し再び赤道以南の地に戻りアフリカ陸地の西邊に到るまで一千七百杆の間は如何なる船舶をも浮ぶべし、而して此の中流區に於ける支流は其の數甚多きも、就中ウバング、カツサイを以て著しとす、ウバング河はニアムニアム地方より來るムアモ、マクア、等の合流にして下流に至れば二杆乃至四杆の幅を以て四五千立方米突の水を輸送し、カツサイ河

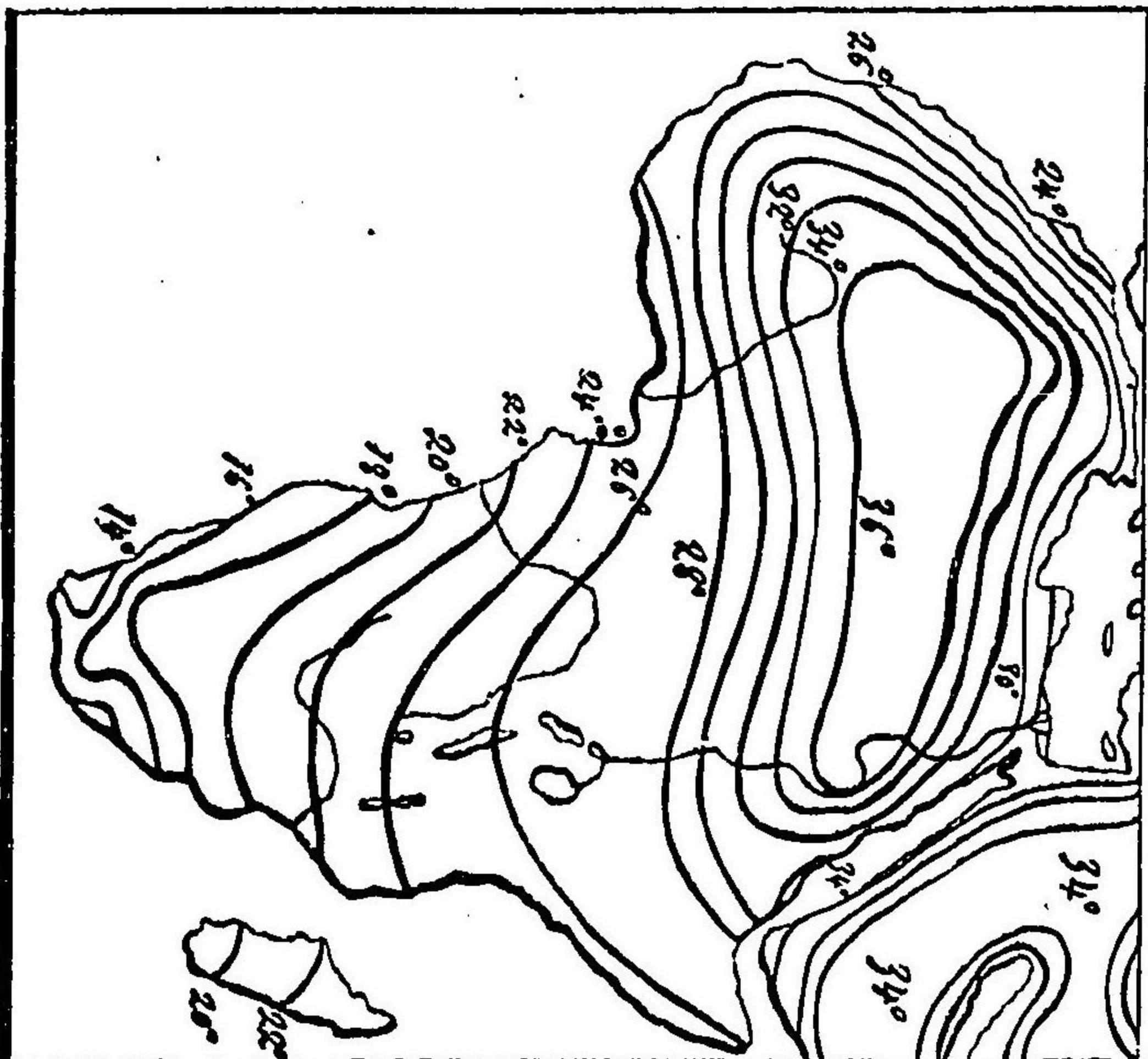
はサンクル、其の他の水脈に依りてルアンダ地方の雨水を集むるが水量はウバングに劣らざるが如し、コンゴ中流の地にはマンツンバ、レオポルド、スタンレイ、等の沼湖あるが、往古の時代に於てアフリカ内地に存在せし内海の遺跡ならんことを云ふ、コンゴ河がリビンカストヌの瀑流と爲りて三十二回に二百五十五米突を降るに當りては河幅は五百乃至二百二十五米突に縮小するも深さは五十乃至一百米突と成り、速度は一秒時に十二乃至十四米突と成る、最後の瀑流たるイエララを經過すれば河流は緩慢と成り幅は十七杆に達することあるも河口に至れば再び縮小して六杆を有するに過ぎず、然れどもコンゴ河が大西洋に發し來る所の水量は一秒時に就きて三萬六千乃至五萬五千立方米突に達して河口を距る二十杆の沖に淡水海を見、沿岸の地を距る六十杆の海上に於きても水色に異常ありと云ふ、是れ本河の流域が赤道の南北に亘りて其の一部が常に降雨期にあると沼澤叢林の地に富みて雨水の流失を緩慢ならしむるに因るなり

氣候。アフリカ洲は概して熱帶的氣候を有せり、北緯十五度と南緯二十度との間にある赤道直下一帯の地にありては溫度甚だ高く強雨屢降りて空氣は濕潤を極む、而して、極暑の地は紅海沿岸(マッサラアに於ては五十度を指す)及び東スーダン(カルツムの四十七度)にありて濕度の最高はギニアの海岸及び大湖地方にあり、此の廣濶なる熱帶地の南と北とに酷暑にして乾燥を極むる一帯の地(北にあるをサハラと云ひ又南にあるをカラハリと云ふ)あり而して大陸の兩端(北はアルジェリア地方、南はケープ地方)に氣温中和にして冬期に降雨を見るの地あり

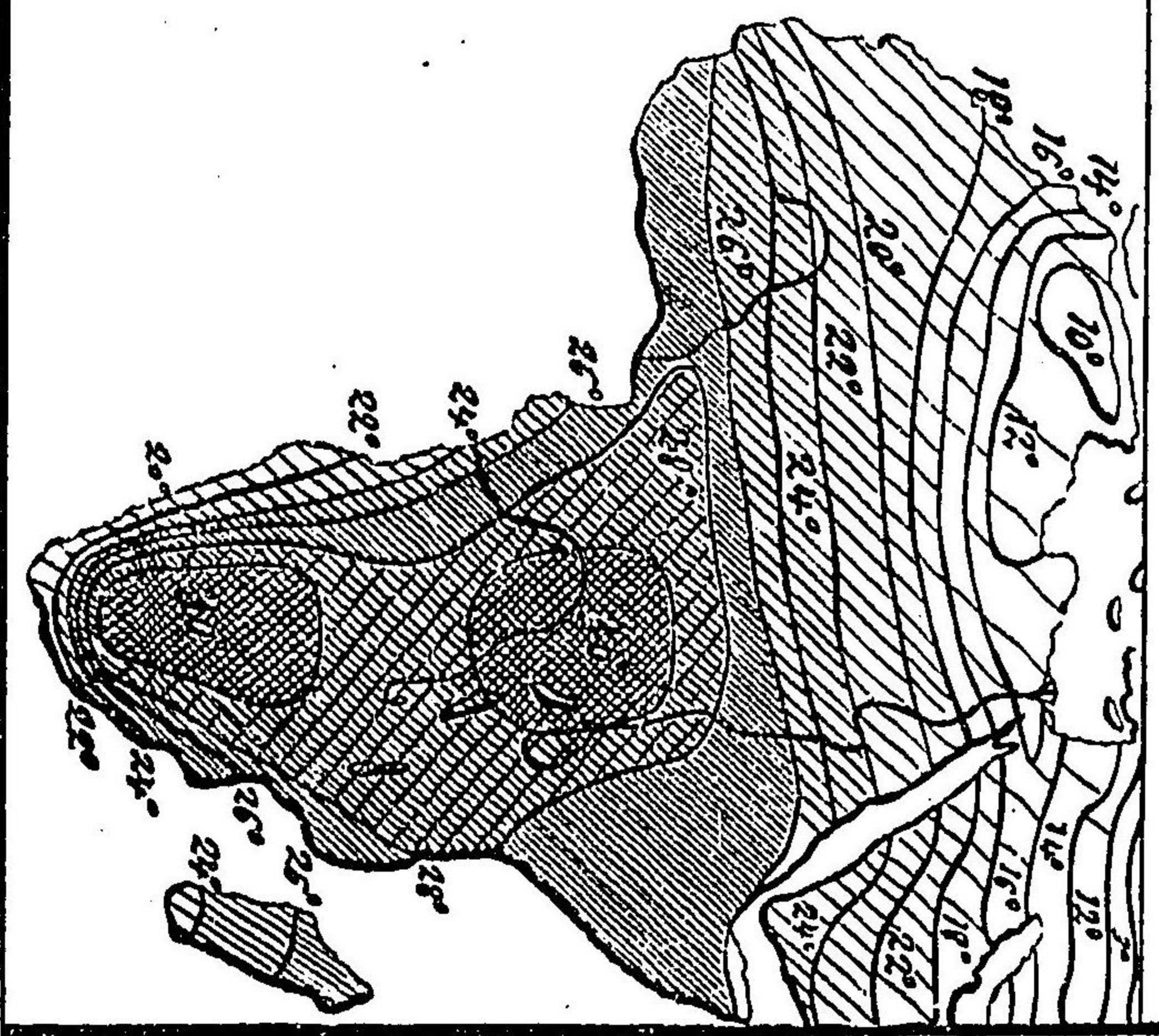
天産。本洲は未だ充分の探檢を経ざるが故に、鑛産的富力の如何を推知するを得ざれども、キンベルレイ附近に於ける金剛石并にトランスバアルの産金地の發見は他の鑛産地の存在に對し有望なる豫告に外ならざるべし、鐵の生産には多少の疑なきにしもあらざれども、金、銀、銅、石炭、石油の存在は確乎たる事實にして現に近時の探檢に依りて紅

アフリカ洲

七月の同溫線



一月の同溫線





海の沿岸に於ける石油并にルビヨ河の流域に於ける石炭等の発見ありたり

地 種	地 積
湖沼池	二〇、〇〇〇〇
不毛地	一〇六、〇〇〇〇
乾草原	五八〇、〇〇〇〇
濕草原	六二五、〇〇〇〇
耕種地	六三七、〇〇〇〇
合計	二九二〇、〇〇〇〇

アフリカ大陸の地積を各種の土地に配附すれば左表の如くなるが北部一帯の地に於ける植物はエツロツパの地中海沿岸地に見る所のものに類し、紅海の兩岸（西）に於ける植物はアソアにあるとアフリカにあるとに拘らず全く同一なり、此等の植物帯の南又は西に於けるサハラ并にリビヤの地方は僅に椰子の一種を有するのみにて、眞のアフリカの植物たるバオバブ、

ツーム、デレブ其の他各種の椰子の繁茂するはスーダン地方なり、

殊に著しきは種類の單純にして混淆の至りて少なきにあり、同種の草木のみより成る森林草原を見ることが稀ならず、然れども常に植物の茂生するあるは河流地方、ベニン、ダホメイの海岸の如き高温にして濕潤なる土地に限れり、其の他の土地にありては草木の榮枯常ならずして降雨季來れば到る處綠葉たらざるなく百樹、蕪蔚たりと雖、乾燥季と成れば草木は活氣を失ひて殆ど枯死せるの狀を呈す、尙ほ進みて南緯二十度以上に至れば再、荒蕪不毛の地に入るべし、即ち南アフリカのサハラにしてカラハリ沙漠と稱す、之を越れば地味稍豊にして葡萄の栽培に適する處あり、喜望岬地方は殊に耕種に適せるが如し、而して南アフリカの植物は北アフリカの植物に多少類似せるも、椰子類は席をアカシア、ミモザ、エルギツナ、等に譲ると云ふ

アフリカは猛獸奇獸の生産地として名を知らるる處なるが、獅子の

棲息地は漸次に南方に退却して地中海沿岸にありては僅にモロッコの一小區域に限れるが如し、ヨブタラタルの岩上に飼養せらるる獼猴と同種の四手獸はカピリア地方の森林中に多し、古代に生存せしと稱する巨大の厚皮獸はサハラ以南の地に退きて其の領土を駱駝、驢、馬、犬、馬、牛、羊等の家畜に譲りたるが、ツエツエ此の類にて家の領土は廣大にして殆ど畜に大害あり熱帯アフリカの全部に跨り、北はハールエルガザル、センナルより起り南はザンベジの河畔に達せり、又蝗蟲は時々襲來して穀類に非常の損害を加ふ、而して南アフリカの動物は象、犀、河馬、麒麟、班驢、水牛并に各種のアンナロベ、等なり、此の外、ガセルはサハラ、スーダンに多く、狸々は西岸に居る、駝鳥は漸減少するも、鰐は赤道アフリカの河流に群棲せり

政治之部

アフリカ洲の人口は確知し難きも二億と爲すもの或は眞に近からんかされど之を地積二千九百八十二万五千方程に配附すれば平均の人口は方程に付き七人と成りてアシアの平均人口の三分の一強に當り、我が帝國の平均人口の十六分の一たるに過ぎず、而して人口の配附は極めて不平均にして海岸、河口、沿河の地にありて人口密なれどもサハラ、カラハリ等の如き地には殆ど人類の生存せざる處あり

種族に就きて一言せんにハミット派はニール河畔のヘルラー人、地中海沿岸のベルベリア人、中央サハラのアレグ人等を抱括し、セミット派に屬するものはアビシニア人、アラビア人等にして北部并に東部に最も多し、黒色派に屬するものはスーダン及び南アフリカの各地に居住せ

り、其のニグロシヤ種族はスーダン人、ハウッサ人、マンデング人等に分れてサハラ以南赤道近傍一帯の地を占む、其のハンツ種族は或はアングと稱し或はルンダと云い種々なる名目の下に南アフリカの全部に生息せり、就中カッフル人、ズールー人は最上に位せり、此の外短軀のアクカス、オボンゴス等も黒色を有せり、ホットtentottの一派は南アフリカの南西部に居り、ホバス人はマダガスカル島の東部を占め、サカラア人は同島の西部、北部を占む、又雜種にはサハラの東部にベルベリア人とニグロシヤ人との混合より成れるデマス人あり、ベルベリア人とアラビア人との混種なるモロス人あり、東岸にアラビア人とニグロシヤ人との雜種たるスハヘリ人あり、南部にホエルオとホットtentottとの雜種なるグリックス人あり

言語に就きて類別を爲せば次表を得べし

北アフリカ地方  
 コプト語  
 ベルベリア語  
 アラビア語

(往昔のエジプト語より来る)  
 (ツアレク人のタマシク語、アルジェリアのカビリア語、モロッコのシルーク語等を包括す)

スーダン地方  
 ホラマバン  
 ハウツサ  
 マンヤンガ  
 ブール  
 バンバラ  
 チロフ

(ワダイ地方のマバス人の語)  
 (チノード湖地方に用ひらる)  
 (スーダン、セ子ガンビア)  
 (同)  
 (セ子ガンビア地方)

東アフリカ地方  
 ゲイス  
 チグレ  
 アムハリニア  
 ガルラ  
 ソコリ  
 キスアヘリ  
 キサンベラ

(エシオピア地方)  
 (アビシニア地方)  
 (同)  
 (カルラ地方)  
 (ソマール地方)  
 (スアヘリ人の語)  
 (カサンベラ地方の語)

南アフリカ地方  
 キンアンダ  
 カツフル  
 セスト  
 セチワアナ  
 ナマ  
 ヘレロ

(アンゴラ地方)  
 (南アフリカの南東に行はる)  
 (バツフート人の語)  
 (ベチワアナ人の語)  
 (南アフリカの南東に行はる)  
 (同)

宗○教 ○マホメット教は最も勢力あるが、殊に赤道以北に於て盛なりとす、本教の北アフリカに於ける傳播は西洋紀元六百六十年乃至七百年に亘るアラビア人の來侵に始まり、一千四十八年乃至一千四百年のアラビア侵畧時代に大成せしは事實なれども、往古より開けありしイスラムの根據地たるアラビアとアフリカ東部の沿海地との交通が本教の傳播上與りて大に力ありしならん、而して其の一度、東部に傳はるや大湖地方、上流コンゴ地方に入り、延ひてスタンレイ瀑布の近傍に達したり、且又イスラム教の傳播の初期にありては腕力強迫に依りしは争

ふべからざる事實なるも元來本教は土地の人情風俗に適ふの傾きありしを以て容易に多數の信徒を得るに至りしのみならず現にスーダン地方以南に著大なる進歩を爲しつゝありと云ふ多神教は最劣の形狀の下に現出し、拜物宗と成りてギニア地方南アフリカの内部に行はるるが如し、基督教は未だ隆盛ならざるもアルジェリア、チウニツア、アンゴラ、モザンビカ等の移住者中に天主教信徒を有し、エジプト、アビシニア地方にコプト派の信者を有し、トランスバアル、オランヂエ、ケープ、ナタル、其の他、ギニア、南アフリカ、マダガスカル等の傳教區に新教信徒を有す、又マダア教の信者は北岸の地、サハラの泉地、スーダンの各地等に散在せるも本洲内、何れの地にも群居することなし

本洲土民の生活の情態に就きては遊牧と定住との二種に大別するを得べし、遊牧民は其の所在地北アフリカにありては紅海の沿岸より

りサハラの西境、大西洋に達し、大陸の南西にありてはクチニア地方よりオランヂエ河畔に達せり、而して遊牧民の生業は牧業を主とす、獵獸のみを専とするものは南アフリカのニアミ湖地方、カラハリの近傍、又は上流コンゴ、上流ザンベツの沿岸に限れるが如し、定住民の中にてスーダン、ガルラス、ソマリー、ウガンダ、ウニヨロの各地方にあるものは牧業と農業とを營むも、種族階級の別に依りて一業を専とせり、眞に牧業と農業とを兼ぬる定住民は北アフリカのヘルベリア、エシオピア、上流ニール地方并に南アフリカの大湖地方、ザンベツの西岸、トランスバアル、オランヂエ、カッフル、ナタル、アンゴラ、ビヘ等に居り而して耕種を専業とするものはニール河畔、セチガルの河口よりニヂェルの三角洲に至るまでのギニアの沿海地、カムレン、オゴリエ、コンゴの流域、赤道以南ザンベツ河までの東アフリカ沿海地に占居せり

東アフリカ地方	ソマリーリ地方	アビシニア地方	スーダン地方
イギリス領 ドイツ領 ホルトガル		イタリア領 獨立部	沿岸 南 イギリス領 ドイツ領 フランス領 西 イギリス領 ホルトガル領 リベリア共和國
九四〇,〇〇〇 七七〇,〇〇〇 ?	?	三三〇,〇〇〇 ?	フ랑스領 イギリス領 ホルトガル領 リベリア共和國 四,一〇〇 八,五五〇 ?
三〇〇,〇〇〇 五〇〇,〇〇〇 ?	一〇〇,〇〇〇	七〇〇,〇〇〇 ?	八,一〇〇〇 ?

サハラ地方	ベルバリア地方	北東地方	地方
中央 獨立部 フランス領	モロッコ フランス領 チュニジア アルジェリア	トルコ領 エチオプト トリポリア	所 領
東方			地 積
?	六〇〇,〇〇〇	九,四三〇,〇〇〇 二,九二七,〇〇〇 一〇〇,〇〇〇	人口
?	三〇〇,〇〇〇	六八五,〇〇〇 一〇〇,〇〇〇	

南端アフリカ地方	ザンベツア地方	カラハリ地方	南西アフリカ地方	コンゴ地方
イギリス領	イギリス領 ホルトガル領	?	ドイツ領 イギリス領	イギリス領 コンゴ自由國 フランス領 ホルトガル領
八五〇〇〇〇	六八四〇〇	?	八四〇〇〇〇 三三〇	三三〇〇〇〇 三三〇〇〇〇 三三〇〇〇〇〇
三〇〇〇〇〇〇	八〇〇〇〇〇	?	二〇〇〇〇〇〇 六八	一四〇〇〇〇〇〇 五〇〇〇〇〇〇 一九〇〇〇〇〇〇

島	嶼
フランス領 イギリス領 ホルトガル領 エスパニア領	五九四〇六 三三九 四九二 二〇三〇
	三七八〇〇〇 四〇一四五 三三二八七 三〇〇〇〇〇

● エジプト

エジプトはワザハルハ以北のニール河谷及び三角洲、リビヤ沙漠の一部、ニール河以東、スアキンに至るまでの紅海沿岸地、シナイ半島、マチア地方等より成りて、地積は一百萬足らずの方、有せり、二個の乾燥地、に狹まるる、ニールの河谷は、恰、緑色の帯の如く南北に直れるが、カヒラーの附近に至れば、沖積の平野と成り、下ニールの數派、并に運河は之を潤して、國內第一の肥沃の地たる下エジプトを形成せり、而してニ

ニール河の西に於ける一帯の凹窪地はハイエーム地方に最低くニールの河床より低きこと八十三米突なりとす。國內は平低にして山岳に乏しきも紅海沿岸の花崗岩質山脈は稍著しきが如し。河流には唯一のニール河あるのみなるが、エジプトに入りたるに後は一の合流を受くることなく、國を南北に縦斷せり。河口に近き處に於てニールは扇の骨の如く數派に分る。就中東派のダミエット(三三)并に西派のロセット(三九)は著しうして、其の河口間の海岸線(鹽葎)と共にギリシア文字の△に似たる土地即ち三角洲を爲せり。氣候は佳良にして寒暑の差は極めて少なく、氣温の年平均はアレクサンドリアに於ける二十度、カイヒラに於ける二十二度、ケネーに於ける二十六度、セヘスに於ける二十八度なるが、カイヒラに於ける最低温度は三度にして最高温度は四十度に達すと云ふ。降雨は稀にして量に乏しきも、降雪は強くして殊に下エジプトに著し

とす、

人口は六百八十五萬人なるが、其の居住地は殆どニールの河谷并に三角洲に限れり。従て此等の土地の面積と住民とを對比すれば方料に付き二百四十六人を得るなり。而して種族にはヘルラー人、コプト人、アラビア人、トルコ人、ジャデア人、アルメニア人等あり。又外人には凡そ十萬ありて多數はエジロップ人なり。宗教はマホメット教最盛にして、教育は更に振はず。政體は專政君主なるが、君主はケチブと稱して名義上はトルコの主權の下にあり。然れども一千八百八十二年の事件以來、監督權はイギリスに屬するを以て同國政府は百般の政務に干渉せり。兵備は陸兵に一萬五千人あるも海軍は數隻の小艦あるのみ。又財政は歳出に一千二十萬リール、エジプトリールは我が十圓余に當るありて歳入に九百六十萬リールあるが國債は一億四百八十五萬磅に達せり。



農業は二萬方科の耕地に依りて穀類、實綿、甘蔗等を産するも、工業には見るべきものなし、貿易は一千一百余萬リールを輸入して一千三百萬を輸出するが通輸高は七八十萬リールなりとす、而して輸入國はイギリス、トルコ、フランス、等にして輸出國はイギリス、ロシア、フランス、等なり又主要なる輸出品は實綿、綿、蠶豆、甘蔗等なり、交通上の機關としては航河運河を合はすれば三千科に達す、鐵路は二千余科の長を有せり

カヒラー即ちカイロー(三七、五〇〇)はエジプトの首府なるが、アフリカ第一の都會なり、ニール河を距ること一千八百米突の地にありて有名なるハッサン、寺院ヲ有す、ピラミード、メムヒス、等の舊地は此の地の附近にあり、アレクサンドリア(三三、〇〇〇)はマリームチエー運河の端にありて當國第一の商業地なるが、居民の四分の一はエウロパ人なりと云ふ

スエズの運河は長、百六十九科、水面の幅五十八乃至百米突、水底の幅二十二米突、深、八米突を有せり、収入は七千六百九十五萬フランクにして支出は二千四百三萬フランクなり、而して通過したる船舶は三千三百五十二にして實噸數は凡そ八百四十萬なり(一八九五年度)

國 旗	隻 數	實 噸 數	國 旗	隻 數	實 噸 數
イギリス	二三八六	五九九、六七九六	ノルウェー	四一	六、八一三三
ドイツ	二九六	六二、六三六二	トルコ	三三	三、九三九六
フランス	一八五	四六、七三六六	日本	六	三、一一〇四
オランダ	一九一	三五、六五三〇	合衆國	五	三、〇〇二
エストニア	七八	一八、七九九九	エジプト	二	一九〇四
イタリア	六三	一一、九〇八五	ホルトガル	二	六七二
スペイン	二八	八、二二六九	ニカラガ	一	一四五
ロシア	三五	七、七四二一	合計	三三五二	八〇三、九一七五

運河に瀕する都會には南端にメエズ(二五〇〇)あり、鹹湖の沿岸にイス  
マイリアあり、北端にポールサオド(二五〇〇)あり、共に半アラビヤ的半エッ  
ロパ的の市街なり

●トリポリ

トリポリ州はトルコに屬す、トリポリ、ガダメス泉地、マルカ産地、ヘッザ  
ン地方、ガート泉地、等より成りて面積は八十萬以上百二十萬以下の方  
軒なるべし、住人の數は凡そ一百万なるが、種族上はベルベリア人、アラビア  
人、チクロ人、トルコ人、等に分かる、本州は行政上四部に分たれ、トルコ皇  
帝の任命に係るマリ配下であり、貿易は全計七百萬圓内外にして、駝島  
の羽、象牙、皮、牛、生毛、等を輸出す、而して主要なる市街は全州の首府たる  
トリポリ(三、〇〇〇〇)并に各部の要地たるベンガン(二、二〇〇〇)、ムルズグ(五〇〇  
〇)、ガダメス(五〇〇〇)、ガート(四〇〇〇)、等なり

●ベルベリア地方

ベルベリア地方はアフリカの北西にありて地勢上、特殊の情態を呈  
す、東と北とに地中海を控へ、西は大西洋に瀕し南はサハラに境す、海岸  
は西部に絶壁多く東部は砂濱に富む、屈曲に乏しからざるも、港灣の深  
く陸中に侵入することなく、當地方に吹き荒む北西風に對し充分なる  
保障を有するものの如きは全く之を缺けり、小アフリカの稱あるベル  
ベリア地方を東西に走るアトラス山脈は南北の二派より成れり、其の  
北派をアルアトラス最高處はシエリア山にて  
海拔は三三一九米突なりと云ひ、其の南派をサハラアトラス  
最高處はタムシアルにし  
て海拔は四五〇〇米突なりと云ふ、此の兩山脈は西方にありては相距ること百  
五十乃至二百軒なるが斷續して各處に小山彙を爲し東に趣くに從い  
て相接近しチャニョアに至りチャニス灣を抱きてラズエルメクリ及びボ

ン岬に於て海中に没す、而して海岸に近き處に、多少の起伏を見るも何れも北アトラス山脈の餘派たるに過ぎざれば、海拔は顯著ならず、山脈の趨勢是の如くなれば、大河巨流の存在するを許さずして、僅に山間に於ける溪流もサハラに流出するウアドトを見るのみ、沼湖の如きも間斷なく水を蓄ふる能はずして、所謂シオットを爲せり、氣候は沿岸の地に海候 最低温度は三四度乃至五度にして、最高温度は三十度乃至四十度なり、又年平均は二十二度前後なり を有するも、兩山脈の間に於ける臺地は、寒暑の差烈しく、最低温度零下六度より、最高温度三十八度に達し、年平均は十九度なるが、降雪は稀ならず、而してサハラ地方にありては、寒暑の差は一層激しく、最低温度零下六度より、最高温度四十五度乃至五十度にして、降雨は皆無なり。

山脈の趨勢、氣温降雨の配附等は、ヘルベリア地方を三帶に區畫す、其のテールの一帶は沿海の地、テールアトラスの北面より成りて、耕種に適す。

其の臺地の一帶はアルハを産し、牧畜に適す、其のサハラの一帯は泉地の外は水なくして、植物の生存極めて難し、而して山岳地方には樹木少なからずして、テールアトラスは鐵鑛に富めり、又天産として、列擧すべきものは、鑛物に鐵銅、大理石、鹽等あり、植物にテール地方の溫和帶的草木、并にサハラ地方の椰子樹あり、動物に獼猴、鹿、アンチローベ等あるも、猫類は漸次に減少するが如し。

ヘルベリア地方は天然的状态より見れば、一にして分離すべからざるものなるも、政治上は現にチュニシヤ、アルジリア、マグリブの三部に區分せらる。

◎ チュニシヤ

チュニシヤはヘルベリアの東部にありて、九萬九千六千方秊の地積を有す、人口は百五十萬なれば、一方秊に付きての人口は十五人なり、住民

の多數はヘルベリア人なるが信教上には四萬五千のツツデア教徒三萬五千人のカトリック教徒の外は概ねマホメット教を信奉せり

一千八百八十一年(明治十四年)の條約以來、フランスの保護の下に置かれたるツツデアは君主としてベイを戴き治自體を備ふるも、フランス政府の派遣に係る駐在長官并に内政監督官の合意を得ざるべからず然れども開明國の干渉は反りて百般の事業の發達を促し近時の進歩は當國をして有望の地たらしむるに至れり、鐵路はラグーレット、ツツニス、コンスタンス線とスーサ、ケールアン線とを合はすれば三百七十軒の長を有す、貿易は四千二百萬フランクを輸入し四千七百五十萬フランクを輸出するが、主要なる産物は穀類、橄欖油、家畜、タン、アルハ、海綿、等なり、首府ツツニス(三、五〇〇)は同名の湖に瀕す、古來有名なる土地にして現時にありてもアフリカ洲中屈指の都會なり、住人中には四萬のヨーロッパ

人と四萬のツツデア人とありて盛に商業に従事せり、ビゼルトは未だ隆盛を見るに至らざるも軍港開設の望みを有せり

◎アルツェリア

アルツェリアはヘルベリアの中部にあり、サハラの地を合はすれば面積は八十萬方軒と成りて人口は四百十七萬五千人なれば一方軒に付きては六人と成るなり、而して住民を種族別にすればヘルベリア人、アラビア人、即ちマホメット教信者(三三)、フランス人(二五)、エスパニア(二五)、ツツデア人(六)、イタリア人(五)にして其の他にマルタ人、ドイツ人等あり

一千八百三十年(天保元年)以來漸次にフランスの所領に歸したるアルツェリアは一千八百八十一年發布の法律に依りてフランス本國に合併せられたり、アルツェリア總督は高等政務會議の補助に依りてアルツェリア全部を總轄するも事務の種類に依りては本國各省の直轄に係る

の少なからず、行政上はアルジェ、オラン、コンスタンスの三縣を置き、兵備上は第十九軍管に屬せり、政費は七千三百五十萬フランクを要するが歳入は四千八百三十五萬フランクに過ぎざれば不足額は本國の補助に係れり、生業は農牧を主とす、テル地方には穀類、烟草、果物等の産あり、サハラ地方には椰子、實の産あり、臺地には羊、牛、駱駝、馬等の産あり、鑛業は未だ盛ならざるも既に鐵、銅、大理石、食鹽等を産するに至れり、貿易は輸入に二億五千九百萬フランクありて輸出に二億四千二百萬フランクあるが、本國との取引は最盛にして合計は四億二千三百萬フランクに達せり、而して輸出品の主なるものは、獸類、葡萄酒、穀類、生毛、アルハ、等なり、交通的機關としては航河運河に乏しきも道路は漸次に發達し、鐵路の如きは主要の市街を連絡して二千九百三十三裡の長を有するに至れり、其他郵便は四百七十六局を有し、電信線は七千二百裡の長

を有せり、アルジェ、オランは總督府軍團司令部等の所在地にして軍府の一なるのみならず、商工業共に稍盛なれば繁華の點に就きてはアルジェリア第一と稱せらる、オラン(モ、望)は一の要港を有す、コンスタンスは農産地方にありて一小軍府を爲せり。

◎ マグレズ

マグレブ即ちモロッコはベルベリアの西部を占む、東はアルジェリアに接し、北は地中海に瀕し、西はアトランティック洋に望み、南境の一部はエドドラなるが其他は明確ならず、地積ツア地方并にサハラ部を除くは四十四万方、人口は八百万と概算せらる。

マグレブは專政の君主を戴くも政治上の統一は有名無實にして、従部と不従部の別は現存せり、兵備に關しては平時に七万の兵を有し、戦時には十一万の歩騎兵を得べしと云ふ、土地は肥沃にして耕種、牧畜

に適するもの少なからざるも交通の便なきと管理の不整頓なるが爲に發達を妨碍せられ貿易の如きも二千万圓の全計を有するに過ぎず、ハス(モ、5000)は聖地にして國內第一の繁華の市街なり、マラケック即ちマロウ(モ、5000)は製革に従事す、メクネス(モ、5000)は君主の居住地なり

● サハラ地方

サハラ即ち北アフリカ大沙漠は北アフリカに於ける廣大の土地にして西は大西洋に起り東はニールの河谷に至り、北はトリポリ、チュニジア、アルジェリア、マクレンに境し南はスーダンの諸國に接せり、而して地文學的の意義に依ればサハラは北アフリカに於ける缺雨帶にして乾燥を極むる荒蕪の地なり、然れども本帶の周圍には半乾半濕にして多少の降雨を見る中間の土地の存するあればサハラの境界は甚だ不明なりとす、從て地積は測算者に依りて異なりて少なきは五百五十萬方新と多きは六百二十萬方新とせり

サハラは平坦なる砂原にあらず又附近の海面より低き凹窪の地にあらず、殊に乾燥したる海底なりとすは非なり、サハラ内部の状態は普通の陸地に於ける如く丘陵あり、山岳あり、谿谷あり、河床ありて平均の海拔は三百五十米突以上五百米突に達すべし、チベスナ、南北のタッシリ、アハッガル、アイル、東西のアドラル等の山嶽山脈は主要なる隆起地を爲し、乾燥せる幾多のウアヤはサハラの表面を縦横に通過するが涸失したる河流の遺跡たるやを疑はしむ、而して平坦なる土地、砂礫の壑地、並列せる砂丘の地等はサハラの一部に比すれば其の半を占むるに過ぎず、氣候は變化し易く暑氣強く乾燥を極むるも人類の生息に甚だしき妨碍を爲さざるが如し、晝間の高温は樹陰に於けるも四十度乃至五十度を示し夜の冷氣は零度下二度若しくは五度に降れり、降雨は甚だ稀にして一滴の雨水を見ざるこゝ數年に亘るこゝあるも降雪は多量なり、空氣は動搖し易く風力も亦強し、殊にシムウンは砂塵を巻き上げ空氣の乾燥を來たし行旅者をして渴死せしむるに至るは敢て奇しからず、然れどもサハラを通行する商隊がシムウンの爲に砂塵の下に埋没せらるるを爲すは事實なら

す、而して暑熱極的現象が乾燥不毛の砂地をして清涼なる泉地若しくは淡々たる湧水の地たるが如き観あらしむること少なからず、要するにサハラのカハラたる所以のものは往古の海底たるが故に非ず、地味稜角にして耕牧に適せざるに非ず、活物の生存に必要欠くべからざる一大要素たる水の缺乏は實にサハラを現出したる主因たり、氣温の激變晝間の高温、夜間の低温、等は赤土砂礫を生じたるの原因たり、是れ泉地の存在に依りて明なる所なり、又サハラ地方を以て天産皆無の地なるべしと思考するは非なり、清水に乏しからざる泉地若しくは冬季に降雨を見る乾草原には多少の草木の生存するありて、野兔、羊、牛、各種のアンチロー等を養ひ、従ひて獅子の如き猛獸の生育をも見るなり、殊に泉地には、サハラ植物の長たる椰子樹の繁茂するありて果樹、蜀黍、小麥、牧草を保護し無水海の各處に綠嶼の點在するが如き美觀を呈せしむと云ふ、人口は其の數不明にして二百萬とするあり五十萬とするあるが、ツアレカ人、アム人、マウレンス人、アラビア人等より成りて或は泉地に定住し或は沙漠の地に遊居せり、茲に主要なる泉地を列記せん、に西部にテンツフ、アダン、シンカ

エチ、ナシット、ワラメ、アラヤン、トンプクツツあり、中部にツフト、チゲケルト、テマシニニアムギード、イドレノス、チミッサオ、チンテルスト、アガアースあり、ムルズク、リチアード湖に至る通路にクカアル、ビルマ、アガテムあり、ビヤ沙漠にクフラの泉地あり而してエッロツバ人の居住往來するは主として大西洋の沿岸地方なり、ジッピ岬の附近にイギリス所屬のタルハイアあり、イフン、リオテオロ等にエスバニア所屬の漁魚場、通商地あり、白岬以南の海岸并に西部サハラは一千八百九十年の規約に依りてフランスの所管と成りたり、當地方の生業が盛況を呈し得ざるは勿論なれども亦案外の發達を爲し居れり、耕牧に従事するの外、衣服器具等を製するを以て單簡なる生活には事を缺かざるが如し、而して貿易は食鹽、羽、毛等を輸出してエッロツバ産の雜貨を輸入するが、商業は商隊に依りて行はる、

◎ ニュピア

エソプトの南、サハラの東に於ける、ニユピアと稱する地方は、ヌーバ人の居住

する處なり、土地の狀態は全くエジプトと同様にして西には二三の泉地を有するリビヤ臺地を控へ東は海拔二千米突以上の山岳を載き不毛の臺地を隔てて紅海に枕む、從て人類の生存に適するはニール河畔の狹長の泉地に限れり、而して炎熱のニビヤが産する所は酷暑のエジプトが産する所と大差なきが如し

● スーダン地方

スーダンはアラビア人の所謂アラドエルスーダンにして黑人國の義なり、境界は極めて漠然たるものなり、サハラに接する北境は氣候的にしてサハラの終る處はスーダンの始まる處なりと云ふの外なし、東はニール上流の河谷に達し、西と南の一部とは大西洋とギニア灣とに瀕するも其の他はコンゴの流域、大湖の臺地に隣接せり

當地方はサハラと異なり、氣温高きも降雨多く植物の繁茂盛にして

熱帶的動物の棲息に適せり、然れども土地廣大にして各處の狀態同じからざれば東方スーダン、中央スーダン、沿海スーダンの三部に分ちて記載せんとす

◎ 東方スーダン

東方スーダンを云ふはコルドハン、ダル、フィール、バール、エル、ガザル、上流ニール、等より成る地方にして、舊エジプトの所領たりしが、マラーサの叛族を翻せし以來獨立の姿を有す、地積は百九十八萬方呎あるが、二百萬足らずの住民は、ビシリン、ハテドア、サンカ、シルルーク、マラーサ等の部落を草原、牧地、林地、耕地に依り、アラビア的言語を用ひ、マホメット教を奉ぜり、主要なる都會はカルツィ(七、〇〇〇〇)、オマード(三、〇〇〇〇)、エルハーシエル(二、六〇〇〇)等にして、上流ニールのアラライはエミンバツシアの占居に依りて名を知らる

◎ 中央スーダン

當地方に於ける山河の狀態は未だ充分の探検を経ざるを以て明確を缺けり



平均の海拔はサハラ地方と殆ど同様にして六百米突を越えざるべし、而して中央に於ける土地の隆起は一千八百米突の海拔を有するに過ぎざるも、チアード湖、ニシエル河との二大流域を區畫せり、チアード湖の流域は二百萬方呎以上の面積を以て一窪大地を爲せるが、三萬五千方呎の最低處は水を湛ひてチアード湖と成る、ニシエル河は水源をフイメツアロン山脈に發し長四千呎の一大彎曲を爲し、降雨帶の北境に位するトムブクツィを通過しビヌエの水を容れたる後、三角洲を形成してギニア灣に入る、氣候はサハラに於ける如く激變せずして最低は二十三度、最高は三十八度なりと云ふ、又風力は稀、弱く降雨は少なからず、植物には米、綿、藍、落花生等の産ありて動物は牙類、羽類、皮類を興ふ、又鐵産としては砂金あり

ワダイ國はバギルミ、ロトリ、カチム、ダレルンガ等の屬地を合はせ四十五萬方呎の地積を有する獨立國なるが、住人は黒色人ニアラピア人の混濁より成りてマホメット教を奉ず、首府アベクルは二三萬の人口を有す

ホルヌ國は十四萬方呎の地積と五百萬の人口とを有す、住民はカヌリ人と

アラビア人とよ成りてマホメット教を奉ず、首府はクカミと云ひ、六萬以上の人口を有す、

ソコト國は四十萬方呎の地積と四百萬の人口を有す、住民はハウサラス人、フリーラ人等にしてソコトの君主は教主としてガンドー、ヌーベ、アダマワの諸國に多少の勢力あり、新都ウルノは一萬五千の人口を有す

フランス領、スーダンはサモリ、諸州、チエバ、諸州、マシナ、ダヒナ、モツシ、ケルマ、等の保護地より成りて住民はマンゲンケ人、フリーラ人、ツケルール人等より成れるも地積及び人口は明ならず、

◎沿海スーダン

沿海スーダンは大西洋并にギニア灣に瀕する一帯の海岸地を云ふなり、而してセチガル河以南、椰子樹岬までを西岸地とし、同岬以西、カメルンとフランス領コンゴとの境界までを南岸地、即ちギニアとす

第一、西岸の地にはフランス領、イギリス領、ホルトガル領及びリベリ

ア共和国あり

フランス領 セネガル殖民地は西洋紀元一千六百五十年以來フランスに屬するが附近のモール保護地を合はすれば地積は四十餘萬方秆と成りて人口は一百十萬を超過すべし住民はクロフ人、モール人、ツクルール人、マンチング人等の黒色人にして何れもマホメット教徒なり、首府セニルイ(=1800)はセネガルの河口にあり、ダカル港は綠岬の附近にあるが、船舶の碇繋に便にして鐵路はセニルイに通せり、而してフランス領ギニアはフリータタウンと共に一の殖民地を爲せり、地積は十四五萬方秆にして人口は六十五萬なり

イギリス領 ガンビヤ殖民地はガンビヤ河に跨る、一萬二千方秆の面積と一萬餘の人口を有するが住民はマンチング人、セレレス人より成れり、首府はセントマリ(=1800)と云ふ、而してシエラレオ殖民地は保

護地を合はすれば六萬八千方秆の地積を有するも住民の數は明ならず、首府フリータウンは三萬の人口を有す、

ポルトガル領 殖民地は四萬二千方秆の面積を有するも人口は未詳ならず、首府をブラマミ云ふ、ビッサオス群島は本殖民地に附屬す、

リベリア共和国 八萬五千方秆の地積に對する人口は八十萬以上二百萬以下なりとす、住民は開化黒人即ち自由民と土着の黒人とより成れるが、一千八百四十八年以來獨立の共和國を設立しアメリカ合衆國に則りて憲法を編成したり、貿易は盛なるにあらざるも椰子油、椰子實、カウチャ、象牙、等を輸出す、首府はモンロビアと云ふ

第二 ギニア地方とはギニア灣に瀕する海岸一帶の地を云ふ、カメルン山彙を除くの外、土地は概平坦にして海岸に於ける沙洲は數多の潟を形成せり、氣候は炎暑にして濕潤に過ぐるを以て健康を害ふの患

なき能はず、平均気温は凡そ二十六度なるが二十乃至三十二度の間を昇降せり、降雨は甚多く猛烈なる暴風ツルナドスは土地人畜に損害を加ふと云ふ而して當地方に於ける政治上の區畫は次の如し

象牙岸 フランスの保護地なるが地積人口共に未詳なり、主要なる貿易場はグランバサム、ブジニ、グラナラフ、等にして酒類、織物、火薬を輸入して椰子油、椰子質を輸出す

黄金岸 イギリス所屬の殖民地若しくは保護地にして五萬方呎の地積と七十萬の人口とを有す、住民はアキム人、ハンチ人、アシナンチ人等より成るが主要なる市區はアックラ(一、〇〇〇〇)ケープポースト(一、〇〇〇〇)アキシム、等なりとす  
トゴラント ドイツに屬す、二萬乃至六萬方呎の地積と六萬乃至二十五萬の人口とを有す

アホメイ 一萬方呎の地積と二十五萬の人口とを有す、フランスの保護の下にありてアホメイを首府とせり、

ウエス殖民地 エダス、セルメ、ニツェル保護地、等は何れもイギリスに屬す  
カメルン殖民地 ドイツに屬し四十二萬余方呎の地積を有するが人口は未詳なり、首府カメルンはウーリの河口にあり

● アピシニア地方

アピシニア地方と稱する地はニッピアの南、東スーダンの東にありて、北東は紅海、アデン灣に瀕し、南東はソマリーリ地方に接し、南はイギリス領東アフリカに隣せり、中央は海拔二千米突以上の山地を爲して四方に緩斜するが、山岳は火山質にして峻險を極む、就中カツハのナシオ山(五〇〇)シメーンのラスダヴァン(四〇〇)を以て最著しとす、三千方呎の面積を有するタナ湖は海拔一千六百八十米突の高處にありて幾多の奔流を激流の水を容れ、パールエルアズラク即ち青ニールと成りてニールの本流に合す、ラスダヴァンの南、タナ湖の東に當る山彙に水源を發するタ

カセ河はアトバラ河と成りてニウピアニールに注ぐ、當地方は赤道を距ること遠からざるも土地高隆なるを以て、氣温は概冷涼なり、然れども海拔を同じうせざる階段を形成するが故に熱地、温地、冷地の三帯を現出せり、海拔一千八百米突以下の熱地即チコルラにありては氣温高く濕潤に過ぎ人生に適せざるも森林蒼鬱として巨大の獸類は盛に繁殖せり、海拔一千八百乃至二千五百米突の温地即チポイナは氣候温和にして柑類、葡萄、其の他の耕種に適し、海拔二千五百乃至三千五百米突の冷地即チデガは穀類を産し馬、牛、羊等の畜類を養ふべく、而してデガを過ぐれば積雪の地と成りて生物を見ること稀なるが紅海の沿岸に於ける最低の地サムハルは炎熱灼くが如し

イタリア領 エリスリア殖民地はカサル岬より、ラヘイタに至る紅海沿岸に於けるマ、サワリ領地、及びアンサ領地より成れり、地積は凡そ二

十五萬方料にして人口は凡そ二十萬人なるが、首府マッサワリの住人は一萬に達せずと云ふ、又アウッサ及マナキルの地はイタリアの保護の下にあり

エシオピアはアツアの勝戦以來、イタリアの羈絆を脱せし國なるが、チグレ、ラスタ、アムハラ、ナルロ、ガルラエ、シオア、ゴサアン、等より成りて凡そ二百七十五萬の地積と七百萬足らずの人口とを有す、シオアのチグー王中の王たるメチリックは兵を用ふるに巧にして一千八百八十九年以來、全エシオピアの君主と成りたり、都邑には多數の人口を有するものなきもアンコベル(シオア)、ゴンダル(アムハラ)、アツア(チグレ)は稍、名を知らる而してアツアはメチリックの居住地たり

マフエルマンテア海峡に於けるシエイッカサイド岬并にアテン海底に於けるオボックの地はフランスに屬せり

ガルフの地はエシオピアの南、ソマリー地方の西にありて五六百萬の人口を有するが現時はシオアに屬せり

◎ソマリー地方

ソマリーはアフリカの極東部にありてケアルダフイ岬を頂點としアテン海と印度洋とに狹まる尖形の地にして七十一萬二千平方呎の面積を有す、北部のハシヤ、中部のハウイヤ、南部のラハマイヌは各若干の部落より成りて總人口は一百萬なりと稱す、イギリス人はアテン海に瀕する北岸を領有しイタリヤ人は印度洋に接する南東岸を所有せり

●東アフリカ地方

東アフリカ地方と稱するも其の實は東アフリカの一部を占むるに過ぎず、北東はマウバ河を挟みてソマリー、アビシニアに接し、東は印度洋に瀕し、南はロブマ河、ニヤサ湖を隔ててモサンビク、ザンベマアに隣

り、西はキクア湖、タンガニイカ湖、アルベルト、エドワード湖等に依りてコンゴ地方、東方スーダンに境せり、而してウタレエ湖を二分する南緯一度の線并にキリマツロ山を経て沿岸のワングに達する線より成る境界の北に於ける地はイギリスに屬し、南に於ける地はドイツに屬せり

◎イギリス

本領地はソマリー及び東方スーダンの一部、パラレッタ、ウカンバ、キクエ、ウガンダ、ウニヨロ、ザンシバル、等より成るも境界の明確ならざるのみならず未だ探險を経ざる處多きを以て、地積人口を始とし其の他の情況は詳にするを得ず、されば茲に記する所はウガンタ、ウニヨロ、ザンシバル、等の概況に止まれり  
ウガンタはビクトリアニヤンザの北岸にありて七萬七千方呎の地積と五百萬の人口とを有す、一千五百米突乃至二千米突の平均海拔を有する地にあるも山岳に乏しく、ウクエエ湖より出づるキビラ河并に同湖に注ぐ所の階流

の潤を受くるを以て土地は概肥沃にして森林は藪蔚たり、氣候は晝間に十三度乃至三十三度を昇降して夜間に十度に降る、降雨は春秋に多し、專政の君主を戴き三十萬の兵士を有するが一千八百九十三年以來イギリスの保護地と成りたり、首府マンゴ(二、五〇〇)はウケレエ湖に瀕する地であり

ウニロロはウガンダの北東にありて七千方料の地積を五萬の人口を有す、一千米突乃至一千五百米突の海拔を有する陸地にして北東に緩斜し南部に山岳を控ふ、カフ河、アルベルト湖に依りて灌溉の利を得るも、土地は豊ならずして草木の繁茂するは湖の沿岸地に限り、氣温の平均は二十七度前後なるが炎熱に過ぐるこゝなし、降雨は多量にして曠平地をして沼澤に變ぜしむ、住民は一の君主を戴くも争鬪を好みて農牧を營むもの少なし、

ザンザバル、ベンバ、ラムの三島は舊サファエリ帝國の一部たりしも一千八百九十年以來イギリスの所領と成りたり、ザンザバル島は二千五百三十方料の地積と二十一萬の人口とを有するが、ザンザバル港

(二八、〇〇〇)は交通上の要區にして三千五百萬磅の貿易を爲し船舶の出入も亦頗る盛なるが東アフリカ第一の市街たり、海岸の地に於ける都邑モンバサ(一、五〇〇)、キスマユは舊サファエリ國に屬せし地なり

◎ ドイツ領

本領地はウサラモ、ウセケハ、メケル、マヘンゲ、ウヘヘ、ウベナ、ウサンゴ、ウサガラ、ウゴゴ、ウコンンゴ、ウニヤエ、ウスクマ、等の各地より成りて地積は九十四萬方新にして人口は凡三三百萬なり、首府はダルエスサラムにして、バガモイ(二、〇〇〇〇)、キロア港、コヒア嶋は舊サファエリ帝國に屬せし地なるが共に沿海の地であり

● コンゴ地方

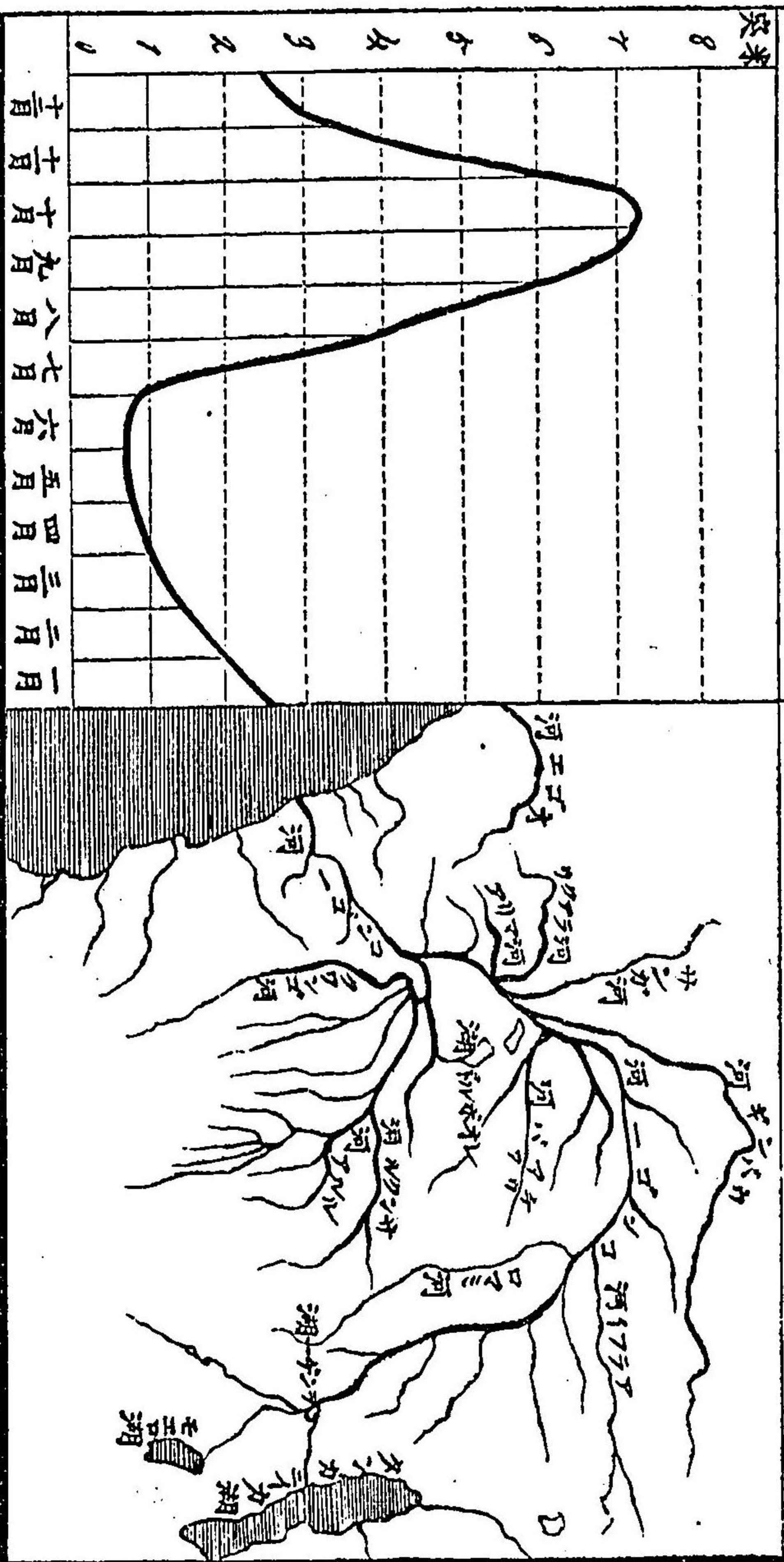
コンゴ地方と稱するはコンゴの流域并にオゴエ、クアンザ、クナチ、等の沿岸諸流の流域に屬する廣大なる土地にして北はスーダンと

境を交へ、東は東アフリカ地方に境し、南東はザンベジアに隣し、南は南西アフリカに接し、西は大西洋に瀕す、而して政治上はコンゴ自由國、フランス領、アンゴラの三部に分たる

◎コンゴ自由國

コンゴ自由國はコンゴ流域の四分の三を占む、地積は二百二十五萬餘方軒あるも、海岸線の延長は僅に三十七軒あるに過ぎず、沿海の地は平低なるが、廣漠たる叢地の縁邊を形成する海拔二百五十米突の階段の麓にあり、内部は未詳ならされども、顯著なる起伏を爲さざるが如し、河流は一のコンゴ河あるのみなるも、二百五十萬方軒の流域に降下する雨水を集め、四千八百軒の長流を爲し、三十二ヶ處の瀑布に依りて階段を降りて大西洋に注ぐ、本流は河口よりマダガ井に瀑布の上流スタンレイブルよりスタンレイ瀑布に至るまでの間は航行に堪ふるが、ウバンギ、ムビニ、シウマ等の支流も亦通船の便を有せるを以て、航河の延長は一萬五千軒に達せり、氣候は暑熱強く、濕潤の地多く

表減增量水の河るーに 部行航の河ーごんこ



殊に沿岸は不健康なるが、内部の臺地は概ね人生の生存に適するが如し、人口は一千四百萬にして方籽に付き七人強なりと稱するが、多數はバンツィ派の黒色人にして上流の地にはアラビヤ人、ザンジバル人あり而してエロップ人の數は一千未滿にして過半はベルジック人なり、政治上は一の中立國を爲し、ベルジック國の王を君主に戴けり、政務上の中央機關はブリクセルに設けられ、地方機關はコンゴの各地にありて、首府はホマーにあり、兵備上は四千五百の陸兵を有し、下流の地に七隻、上流の地に十二隻の兵艦を備へり、鐵路はマタザマドロとの間にありて三百六十籽の長さを有す、貿易は一千一百八十五萬フランクの輸入と一千一百四萬の輸出とを有し、ホマー、バナナの二港は象牙、カウチ、椰子質、椰子油、コーヒー、落花生、等を輸出せり、

◎ フランス領

フランス領、コンゴの地積は明確ならざるも凡そ七十二萬方籽ありと稱す、住民はムボンクエ、パフィン、等の黒色人より成りて凡そ五百萬人と概算せらる



○アンゴラ

本領土はコンゴリミクネネとの間に於ける地をコンゴリ以北の飛地とよ  
り成りて凡そ百三十萬方呎の地積を有せり、海岸は一千四百呎の長に達するも  
屈曲に乏し、沿岸の地は平低にして丘陵の地は八百乃至一千米突の海拔を有す  
る内部の産地の麓に連接せり、而して水源を産地に發する水脈は其の數少な  
からざるも顯著ならず、氣候は沿海の地に炎暑を感じ内部には溫和の地、寒冷  
の地あり、一千九百萬の人口はバンツィ派の黒色人、ホルトガル人、雜種人、等  
り成れり、政治上は四區、一保護地に分たれ、總督は全地を管す、首府ロアンダは  
一萬五六千の人口を有す、現時は商業工業共に振はざるも亦望みなきに非ず  
交通は困難にして極めて不便なるが僅にロアンダ、アンバカ間の鐵路を建造  
せしのみ、而してエトロップと南端アフリカとを連絡する海底電線はロアンダ  
モッサメアスを通過せり、

●南西アフリカ地方

南西アフリカ地方とはクナナ河以南、オランヨエ河以北にありて太西  
洋に瀕する地を云い、東はカラハリ砂漠に接す、政治上は一の保護地と  
してドイツに屬するがワルヒッシャの一小區域はイギリスに屬せり

○ドイツ領

南西アフリカ保護地は八十四萬方呎の面積を有し、海岸は一千六百呎の延  
長を有するも屈曲少なく港灣の存するあるなし、沿岸の地は平低にして砂礫  
多く荒蕪不毛の地なり、内部は漸次に隆起するも最高處を過ぐればカラハリ  
に向ひて緩斜せり、河流は何れも水量に乏しく沼湖は概し鹹味を帯ぶ、氣候は寒暑  
の激變ありて人生に適せず、降雨は西方に多きも東方に稀なり、住人は凡そ二十  
萬を概算せらる

○イギリス領

ワルヒッシャ附近の地并に二三の小島は喜望峯殖民地の所屬たり

●カラハリ地方

カラハリ地方は南アフリカ内地の南部にありて南回歸線は其の中央を過ぎれり、南西アフリカの東喜望峯殖民地の北にありて北東はザンベジヤ地方に接し、南東はリンボポ河に達す、沙漠は土地の大部分を占むるが乾燥に失し砂礫の地不毛の地多く、其の状況は北アフリカのサハラに類せり、西方の一部はドイツに屬するも其の他はイギリスの所領たり

カラハリ沙漠以北の地は北方に傾斜して濶海的低處を爲し七千八萬方呎のクバンゴの閉塞地を形成す、而して盤状谷に於けるズーア河はヌガミ湖と大マカリカリ鹹沼とをなして相通するを得しむ、又大雨の際には本河はチオホ湖に通じてザンベジヤ河に注水するこゝありてクバンゴをして閉塞地たるの實を失はしむ

●ザンベジヤ地方

ザンベジヤ地方とはザンベジヤ河の流域に當る土地を云いて南アフリカの中央部を占む、カラハリ地方の北にありて西と北とはコンゴ地方に接し、東はニヤッサ湖の東岸山脈を以て境とし、南東はマトポ山脈を以て限らる、内部は一の臺地を形成するも顯著なる山脈に乏しく、ザンベジヤ河は水源を中央の高地に發し、チロロ湖附近の沼地を緩流し、カホンボを容れたる後、コンイエの瀑布、モシニアの瀑布等に依りて階段を降り、カフエを受け、サンサロ、チカロンガ、チアラバッサ等の激流瀑流を爲し、テアの附近に於ては二千五百米突の幅を有するも、再び峡谷に入りて四十米突に縮小す、然れどもセンナの近傍に於てニヤッサ湖より出づるシン河を合はせたる後は河幅愈増大して十三呎に達するも、海に入るに先だちて數派に分かれ、三角洲を抱きてモサンビク海峡に朝す、ザンベジヤ河は源委通じて二千六百六十呎に亘るが流域は百四十三

萬餘の方秆を有せり

當地方はニヤッサ、パロツェ、パンヤイ、マシオア、マテベレ、バセンガ、バトカ等の地に分れるが、バセンガ、バトカはホルトガルに屬し、其の他はイギリスの所領たり而してニヤッサラントはフランタニアを以て首府とし、コンゴの流域に屬するロベンバ并にバングエオロ湖岸のバヒサと共にイギリス領、中央アフリカを組成す。

◎マテベレ

マテベレは三十萬方秆の地積を有するが其の全部がザンベジヤ地方に屬するに非ず、平均海拔一千二百米突のマトホ山脈は土地の中部を斜に通過して之を二分せり、其の北西部はザンベジヤの流域に屬し、其の南東部はリンボホ井にサビの流域に屬す、山脈の斜面は溪谷に富みて森林蒼蔚たるもザンベジヤ河畔の地は濕潤に過ぐ、河流は其の數夥しきも多くは急流的なり、氣候は山地

にありては佳良にして健康に適するも平野にありては暑氣強く濕潤を極む、住人は凡そ四萬人ありてマテベレ人(二、二〇〇〇)、マシオナ人(二、〇〇〇〇)、マカラカス人、ホツテントット人等より成れり、政治上に於ては君主を戴きて一國を爲すも一千八百九十年以來はイギリスの保護の下に置かる、首府ケアルバイオは山間の地にあり

◎モザンビーク地方

モザンビーク即ちホルトガル領、東アフリカと稱するはアフリカ洲の東岸地の一部にして、北はデルガド岬、ロブマ河に起り、南はデラゴア灣に達し、西はイギリス領ザンベジヤ及南アフリカ共和國と境を交ふ、ザンベシ河以北の地をクエリマス、モザンビークと云ひ、河流の沿岸をバセンガ、バトカと云ひ、南部の地をガサと云ふ、總地積は八十万方秆に達するも人口は一百万未滿なるべし、北部の地はナムリ山脈、ロブマ河、キルア湖

等を有するが、居住者はマクア人なり、全領土の首府たるモザンビークは(二、三〇〇)は沿岸の小嶼にあり、港形佳良なるを以て船舶の出入に便なり、殖民地は一總督、十一知事の配下にありて、貿易は二百四十萬ミルレイスの輸入と一百十二萬ミルレイスの輸出とより成れり、鐵路には二線あり、其の一はルーレンス、プレトリア線にして境界に達し、其の二はヘイラとマシケセとを連絡す而して沿海の各要地は定期航路に當りてエロロバ印、度等に通せり

◎南アフリカ共和國

南アフリカ共和國は舊トランスバアル即ち後バアルと稱せしが、ガザ川の東にあり、リンボポ河は北と西とを限り、オランジェ河は南境を爲せり、地積は凡そ三十一萬方斤にして、ドラケンベルグ山脈は國を南北に

貫きて東西の二部を爲す、東の斜面は急峻なるも西の臺地は西に向ひて緩斜す、河流は概してリンボポ河に屬す而して南境を爲せるバアル河はオランジェの流域にあり、氣候は概して良好なり、高處にありては晝暑く夜寒く激變するも健康に害なし、低處には温和の地あるも亦炎暑を覺ゆる處なきにしもあらず

人口は七十七萬餘にして白人の數は十二萬に達す、白人は主としてオランダ人、ブール人等なるが土人はバツスト、ズールー、グリクワ等より成れり、政治上は一の共和國を組成するが、立法權は第一及び第二のホルクスラアドに屬し、大統領及び大元帥は公撰に依る、行政上は地方を十八區に分ち、各區にランドドロストを置き、兵備上は平時には少數の兵を有するのみなるも戰時には舉國皆兵の主義に依りて三萬足らずの兵を得べしと云ふ、而して財政上は一千八百九十四年度に於て歳入に二

百二十五磅ありて歳出に百七十四萬磅ありしが國債は二百七十萬磅にして財産は五六百萬磅に達せり、生業は採鑛、牧畜を主とし、農業、蠶業之に次げり、産金地はデカアプ、バルヘルトン、ギトワテルスランド等にして産額は七百十二萬磅に達し、牧業は生毛、獸類皮類等を與ふ、貿易は六百五十萬磅を輸入し一千萬磅を輸出するが、輸出品の重なるものは金、生毛、獸類、鞍類、皮類等なりとす、鐵路はプレトリア、プレムホントイン、喜望峰殖民地線の一部とプレトリア、ルーレンスホ線とより成りて一千二百秤の長を有す、首府プレトリア(8000)は海拔一千三百五十米突の地にあり、

◎ スワジランド

一千八百九十五年以來、南アフリカ共和國の管轄となりしスワジランドは一萬八千方秤の地積と六萬四千の人口とを有す、

◎ オ ラ ン ジ 自 由 國

オランヂ自由國はトランスバアルの南にありてバアル、オランヂカレドンの三河の間に狹まる、地なり、面積は十三萬餘の方秤にして平均海拔一千三百乃至一千四百米突の臺地を爲し南と東とに山脈を控へ西に向ひて傾斜せり、水脈に乏しからざるも巨大なるものは邊境にあり、氣候は温和にして健康に適するも乾燥に失するの患あり、住人は二十一萬人にして八萬のブールと十三萬の黒人とを包含す、共和國は一のホルクスラアトに立法權を委ね、大統領を公撰す、歳入は四十九萬磅にして歳出は四十二萬磅なるが國債に五萬磅ありて財産に百萬磅あり、生業は牧畜を主とす、貿易に就きては六十四萬磅を輸入し四十三萬磅を輸出す、主要なる輸出品は生毛、皮類、金剛石等なり、七百

五十七軒の鐵路は當國の要地を南アフリカ共和國并に喜望峰殖民地に連絡せり、首府はプロエムホンタインにして六千足らずの人口を有するが過半は白人なり

● イギリス領

アフリカ洲の南端に於けるイギリスの領土はオランヂエの流域に屬する地と印度洋并に大西洋に瀕する高地より成れり、北の方はホルトガル領東アフリカ、南アフリカ共和國、オランヂエ自由國、ドイツ領南西アフリカと境を交ふるも、中央の一部はカラハリの沙漠を隔ててイギリス領のザンベヂアに連接せり、海岸は屈曲に乏しきも、アルプア、セントフランシス、ハルシー、セントヘレナ等の諸灣と暗礁岬、セントフランシス岬、アッルス岬、喜望岬、セントマリーチン岬等とを見る、而して沿海の

高地は半圓形を有する三の階段より成りて内部に趣くに從ひて高を増せり、沿岸一帯の狹地は灌溉の利ありて地味も極めて豊なるも、其の背後にあるは第一の階段地にしてテラゴア灣よりオランヂエの河口に至り、外縁の山脈はツアルトコップの最高處に於て二千米突に達す、カンチランド、小カルーの地にして牧畜に適す、第二の山脈即ツアルテベルグ山脈は平均海拔一千五百米突を有して廣濶なる乾草原、大カルー臺地の外邊を爲せり、第三の山壁は東より西に趣くに從ひて漸く低下するがドラケンベルグ山脈は三千五百米突を有するも、コシバツ山脈に於て二千七百に下り、ニールエウル山脈は二千米突に過ぎず、而して此等の山脈の北にある臺地はアフリカ内部の廣大なる臺地の一部にしてオランヂエ河に沿ひて緩慢に傾斜せり、河流は少なからざるも、沿岸の高地にありては細流溪流のみにて狭口即クルーフに依りて階段を降

だれり而してドラケンベルグの山嶺は太洋より吹き来る濕風の水蒸氣を凝結せしむるを以て一大水源を爲すが、其の要部はオランヂエバル等の諸流を生ず、オランヂエ河は水源を海拔三千五百米突前後のドラケンベルグ山脈のモントースールスに發し上流をスガリエップと稱すバストランドを經、カレドン河を入れ、オランヂエ自由國とケープコロニアとの境を爲し、南アフリカ共和國のエメル地方に發源するバル河即ちキガリエップを合せ、井ンターベルドより来るオンガハスの水を受くるも、乾燥の地に入りて水量を損失するが故に航行に堪ふるに至らざるのみならず、微々たる小流の姿を以てドイツ領南西アフリカの南境を爲して太西洋に注ぐ、バルを母流とすれば河長は二千四百七十料と成り流域の面積は百三十萬方料に達するも、降雨の盛なる期に非ざれば巨流の稱を實にする能はずして、乾燥期には水流は河床の五十分

の一たるに過ぎず、氣候は概して寒暑の激變を覺えずして人生に適するも、濕氣に乏しく乾燥に失するの傾きあり、沿岸の地は稍可なるもカ地方には水なく山頂は結氷してオランヂエ附近の臺地は炎暑を感ずるも亦冷氣を覺ゆ、

住民はエウロツパ人と土人とより成れるが、エウロツパ人にはブール、イギリス人等ありて土人にはホテントット人、カッフル人等あり、當殖民地は舊オランダ人に屬せしも現世紀の始めより漸次にイギリス領と成りたり、今一千八百九十一年の調査に依りて一表を作れば次の如し

土 地	面 積	人 口	方 料ニ付	首 府
トンガランド領地	?	?	?	—
ズーラー領地	二、七九七〇	一六六六一一五	六	エシヤエ
ナタル殖民地	四、二九二〇	五四三、九一三	一三、	ピエタルマリツブルグ

オーストラリア	三、一四九〇	二五、〇〇〇〇	八	サマウア
ニュージーランド	一、〇四七〇	一五、〇〇〇〇	一、四	バルマートン
喜望峯殖民地	七四、六三三三	一五九、九九六〇	二	ケープタウン
本部	五三、五一〇六	一〇四、〇八六〇	一、九	ケープタウン
東ケリクランド保護地	一、九六六八	一五、二六一八	八	コクスタッド
テンブランド	一、〇六七六	一八、〇四一五	一、七	ウンタタ
トランスケイ	六六〇九	一五、三五六三	二、三	イザワタイロ
アルビシヤ湾	一一一四	七六八	〇、七	
ベチアナランド	一七、三二六〇	七、二七三六	〇、四	フリアルグ

◎オーストラリアランド及トングラランド

此の二領地は印度洋沿岸の地にして共にイギリス本國の直轄する所なるが行政上はナタル總督の管下にある

◎ナタル殖民地

ナタル殖民地は四萬五千八百三十萬杆の地積を有す、二百九十杆の海岸は平低にして樹林に富むのみならず、ダーバン灣の如き良港を有す、土地は二三の階段を爲して漸次に隆起してドラケンベルグ山脈<sup>海抜</sup>三千五百米<sup>五</sup>に達するが河流多くして灌流に缺乏を告ぐることなく地味肥沃にして耕牧に適せり、氣候は海拔に依りて多少の差異あるも概々人生に適せり

人口は凡そ五十五萬にして方杆に付き十三人の割合なり、五萬の白人と三萬五千の印度人とを除けば殘餘は悉くズールー人、カッフル人なり、知事は行政部、立法部、及び殖民地議會の幫助に依りて政務を管理せり、生業は農牧を主とし貿易は二百二十四萬磅を輸入し二百二十四萬磅を輸出す、鐵路は六百四十二杆の長さを以て域内の要處を連絡し沿海の要港



は定期航海線に當れり、首府ビエタルマリツブルグ(二、五〇〇)は海拔六百二十五米突の地にあり、ナタル港(二、五〇〇)は盛に貿易に従事す、

◎ バストランド

バストランドは黒ガリエツプ河の水源地にあり、住民はバスト人より成りてエウロツパ人は甚だ少なし、殖民地の首府はサバボツンゴにして海拔一千五百米突の地にあり

◎ カッフルリア

カッフルリアは喜望岬殖民地の東、ナタル殖民地の西にあり、地積は四萬餘方拵にして人口は凡そ六十萬と稱す、住民の多数は體軀巨大にして氣力に富めるを以て名を知らるるカッフルベツウアナ種族に屬するが、ビンゴ、アマコサ、テンブ、ボンド等に分かる、土地は山岳陸地多きも、降雨は適度なれば、溪流は水に乏しからず、氣温は中和を得、地味は肥沃なり、森林は山岳を蔽ひ、陸地は耕種、牧畜に適す、ボントフランド、トランスケイ、テンブフランド、東ケリクフランドに區分せら

れ、ボンドラントは一の保護地を爲し、其の他は喜望岬殖民地の管轄に屬せり

◎ 喜望岬殖民地

喜望岬殖民地は其の屬地を合はすれば七十五萬平方拵の地積と百八十萬の人口とを有す(一八九四年)、總督の配下にありて行政部、立法部殖民地議會は諸般の政務を司る、而して地方の本部に關しては八州三十五郡の區畫あり、生業に關しては耕種を主とし、葡萄を栽培し、家畜を飼養するの外、林産あり、鑛産あり、又蒸溜、醸造、製革等に從事す、貿易は一千三百五十萬磅の輸入及び一千六百六十磅の輸出を爲すが、輸出品の主要なるものは金、金剛石、生毛、皮類なり、鐵路は三千九百二十八拵の長を以て南東諸州の要地を連絡し、電信線は一萬二百拵に達して全地に亘れり、而して海底電線は當地方をエウロツパに連ね、定期航海船は當地沿岸の要港とエウロツパ并にアウストラリアの諸港との間を往復す、行政上

の中心たるケープタウン(五、二〇〇)は亦軍府として軍事上の中心たるブル山の麓にありて気温の年平均は十八度なり、港形は佳良なるに非ざるも交通上の要處として商業は繁榮せり、ポートエリサベス(三、三〇〇)も亦繁昌なる商港たりキンバレー(三、八〇〇)は西グリクランド州にありてバアル河に瀕す、金剛石を産するを以て名あり、

◎ ベチアナランド

ベチアナランドは内部に於ける窪地の一部にして平均の海拔は七百米突以上なるが、南の方、オランジエの河畔に向ひて緩斜せり、氣候は降雨稀にして乾燥に失するを以て十七萬方杆の地に對し六萬有余のベチアナ人の居住するを見るのみ、フリーブルグは當地方の首府なり、鐵路に依りてキンバレー、ケープタウン、等に通ぜり

● アフリカ嶋嶼

アフリカ嶋嶼を分ちて三群とす、其の一は北太西洋にありてアソレス諸嶋、マデイラ島、カナリア諸嶋、綠岬諸嶋より成り、其の二は南太西洋にありてギニア灣諸嶋、アセンシオン、セントヘレナ、トリスタンダクンハより成り、其の三は印度洋にありてマダカスカル、マスカレンハス諸嶋、コモロ諸嶋、アミランテ諸嶋、セイシェル諸嶋、ソコトラ島より成れり

◎ 北太西洋諸嶋

アソレス諸嶋はホルトガルの海岸を距ること一千四百杆、マダレラの岬を距ること一千五百五十杆の處にありて九嶋と若干の小嶋とより成れり、地積は二千三百八十八方杆にして人口は二十六万なり、気温は年平均十七八度なるも激變の患なく降雨多く最、柑類、葡萄の栽培に適す、住民の多数はホルトガル人にして其の他、モール人、黒色人、等なり、行政上はホルトガルに直隸して三區に分たる、首府はアングラ(一、二〇〇)な

るが最要の市街はポントデルガダ(二、三〇〇)なり

アデイレ島并に其の屬島を合はすれば地積は八百十五方畧ありて人口は十三萬五千なり、氣温は年平均十八度にして土地は火山質なればコーヒー、甘蔗、葡萄等の栽培に適するや勿論なり、住民はホルトガル人に多少のモオル人、黒色人、ジャデア人、等を交へたるものなり、行政上はホルトガルに直隸して一區を爲す、首府はフンシアルにして一万九千の住人を有す

カナリア諸島は火山質の七大島、五小島より成りて七千一百六十七方畧の地積と二十九萬の人口とを有す、各島は何れも山岳に富めるが、最高峰たるテイド峰即チチリッテ(三、七五五)は風色と植物とに富めるを以て名を知らる、地味は佳良ならざるに非ざるも氣温は炎暑に過ぎて降雨は充分ならず、住民はエスパニア人に土人グアンシウを交へたるものなり

り、カナリア諸島は行政上、一州を爲してエスパニアに直隸せり、首府はサンタクルスデサンチアゴ(二、七〇〇)なるがラスパルマスは一万八千の人口を有す、鐵島は本初子午線の地として地理學上有名なり

◎南太西洋諸島

綠洲諸島は綠洲と相對して三百六十五方畧の沖合にあり、火山質を有する十二嶋より成りて三千八百五十一方畧の地積と十一萬一千の人口とを有するも、乾燥に失して健康に適せず、全嶋は擧げてホルトガルに屬するが首府をボルトプライヤ(四〇〇〇)と云ふ、サトオ、ピセンチ嶋は一の良港を有す、ホルトガル、アラツル間の定期航路に當れり

ギニア灣に於ける嶋嶼には著しきものなく、其の數も亦多からず、ヘルナンデス嶋はエスニアに屬す、地味肥沃にして灌漑の利あるも氣候不良にして温帯人の生活に適せず、首府サンタイサペラはクラレンシ(三、五〇〇)の麓にあり、ブリンシハ嶋、サントメ嶋は共にホルトガルの所領なり

アンノホン嶋は十七方軒の小嶋なるがエスバニアに屬す  
アスセンション嶋はイギリスに屬す、火山岩より成る小嶋にして炎熱乾燥  
を極むるに拘らず住民は五百人あり、首府はジョージタウンと云ふ

セント・ヘレナ島は最近の陸地を距ること一千九百軒の海上に孤立  
せし、百二十方軒の土地に黒色人、イギリス人、マレー人、清國人等より成  
る五千の住民あるが氣温の年平均は十六度にして海候的なり、島内の  
最高處はチアヌ峰(三三)にしてナポレオン一世の居住せしロングウー  
ドの附近にあり、首府はジョージタウンなりとす、

トリスタンダクンハ嶋は南太西洋にありて喜望岬を距る三千軒の海上に  
あり、地積は六十五方軒にして一百の住民を有す

◎ 印度洋諸島

マダガスカル島は印度洋にありてモザンビック海峡を隔ててアフリ  
カ大陸と相對す、本洲第一の巨島にして世界第一の大島なるが長、一千

六百軒、幅六百軒にして地積は五十九萬二千方軒に達せり、土地は新舊  
の噴出岩に富みて山脈は東方に偏在して南北に走り、河流は其の數少  
なからざるも漕運の便を供するに至らず、而して地味佳良にして住人  
の多きは東の濕風が吹き來る東岸の地なるも温帯人の生存には適せ  
ず、内部は健康地に富むも南部は乾燥に失して生産力に乏し、人口は四  
百萬人と概算せらるるが最、有力なるはマレー種に屬して耶蘇教を奉  
ずるホバリー人(六〇,〇〇〇)なり、政治上は一の君主を戴きて獨立の一邦を維  
持せんとせしが十七世紀以來多少の權利を有するネランス國の爲に  
征服せられ一千八百九十五年の條約に依りて同國の保護地と成りた  
り而してフランス政府は此の地に總督を置き若干の兵を駐屯せしめ  
て内政を監督す、貿易は輸入に五百六十萬フランシ、輸出に三百七十五  
萬フランシを有するが牛革、カウチャー、ラヒア、蜜蠟、生牛等を輸出す、首府

タナナリ(100000)は島の内部にあり、タマヤン(5000)は東岸にありて貿易に従事す。

サエゴシアレス、ノッシヤ、サントマリー島嶼等は舊來の所領なり

ココロ諸嶋は火山質を有するが、其の一のマイヨット嶋はフランスの殖民地にして其の他は同國の保護地なり

マスカレンハス諸島はブルボン、マリシアス、ロドリグエス等より成るがフランスの殖民地たるブルボン即ちレウニオン島は一千九百八十方秊の地積を以て十七萬足らずの人口を養ふ、印度若しくは清國より來りたる出稼人は主として甘蔗の栽培に従事す、首府センドニーは四萬の住人を有するが、其の他の市街はセンビエール(3000)センポール(3500)なり、マリシアス島はイギリスに屬す、地積は一千九百十四方秊に過ぎざるも人口は三十七萬餘に達す、住民の三分の一はエヴロ

人なるも其の他は印度人、清國人等にしてコーヒーと甘蔗の栽培を主とす。

アルダブラ、アミランテ、セイシエル等の諸嶋は珊瑚性にしてポイルロイを距る一千乃至一千七百秊の處にあり、アミランテ諸嶋は八十三方秊に對し一未滿の人口を有し、セイシエル諸嶋は二百六十四方秊に對し一萬五千餘を有す、最大嶋マヘに於けるビクトリア港はエロロンバ、アストラリア間の航路に當るを以て船舶の出入少なからず。

あめりか洲

中等地理教科書

外國地誌

あめりか洲目次

總論……………一

北あめりか

グリーンランド……………二

イギリス領……………三

カナダ領國……………三三

ニューハンプランド……………三七

フランス領……………三八

アメリカ合衆國……………三九

メキシコ共和國……………五九

中央アメリカ……………六五

イギリス領……………六六

グアテマラ共和國……………六七

サルバドル共和國……………六八

ホンデュラス共和國……………六九

ニカラグア共和國……………七〇

コスタリカ共和國……………七一

フンチル諸嶋……………七三

ハイチ共和國……………七六

南あめりか

ドミニカ共和國……………七六

エスバニア領……………七七

イギリス領……………七九

フランス領……………八二

オランダ領……………八四

ダンマルク領……………八四

コロンビア共和國……………八五

ベネズエラ合衆國……………八八

グイアナ……………九一

エクアドル共和國……………九三

ペルー共和國……………九五



ボリビア共和国……………九八

チレー共和国……………一〇一

ブラザル合衆國……………一〇四

パラグエイ共和国……………一〇九

ウルグエイ共和国……………一一一

アルヒエンチナ共和国……………一二二

ハックランド……………一二六

中等地理教科書

外國地誌

あめりか洲

● 總論

野口保興著

位置。アメリカ(亞米利加)洲は一に新世界と云ふ、五大洲中にてア  
 洲に次げる大洲なるが殆ど同一の形狀を有する南北二箇の陸地より  
 成れり、而して此の南北二部の間を連絡する陸地に二派あり、其の西派  
 は中央アメリカと稱する山岳多き狹長の陸地にして其の東派はアン  
 ナル列島と稱する數多の島嶼なり、北は北緯八十三度以上に達し、南は

南緯五十六度に至り、極東は西經凡<sup>ニ</sup>十八度にありて極西は西經凡<sup>ニ</sup>百七十八度にあり

境<sup>〇</sup>域 北は北氷洋に臨めるが境界明瞭ならず、東はアトラント洋即<sup>ニ</sup>大西洋を挟みてエ<sup>ニ</sup>ロッパ、ア<sup>ニ</sup>フリカの二大洲と相對し、南は狭小なる地角に依りて南氷洋に接近し、西は太平洋を隔てて遙にア<sup>ニ</sup>ジア、オ<sup>ニ</sup>ーストラリアの二大陸と相對せり

廣<sup>〇</sup>袤 アメリカ大陸は南北に長くして一萬四千秊に達し、東西の幅は北部にありては六千秊を有するも、中部は狭小なり而して南部にありては五千秊に達する處あり

面<sup>〇</sup>積 本大陸を三部に區分するは地勢上、極めて適切なるも、從來の慣習は南北の二部と爲すにあり、其の北アメリカはグ<sup>ニ</sup>リーランド、圖極地の一部、メ<sup>ニ</sup>キシコ、中央アメリカ、アン<sup>ニ</sup>タル諸島ヲ加ふるを以て、地積

は二千三百五十萬方秊に達するも、其の南アメリカは一千七百八十四萬方秊を有するに過ぎず、而して兩部を合すれば總地積は四千一百三十萬方秊と成りて、殆<sup>ニ</sup>我が帝國の百倍に當れり

北氷洋

マ<sup>ニ</sup>ッケン<sup>ニ</sup>ジョー<sup>ニ</sup>灣 フランクリン<sup>ニ</sup>灣 メルビル<sup>ニ</sup>灣 ブ<sup>ニ</sup>ーシア<sup>ニ</sup>灣

ハ<sup>ニ</sup>ッピン<sup>ニ</sup>灣

ハ<sup>ニ</sup>ドソン<sup>ニ</sup>灣 セントラ<sup>ニ</sup>ッレンス<sup>ニ</sup>灣 ム<sup>ニ</sup>ンギー<sup>ニ</sup>灣

海<sup>〇</sup>灣<sup>〇</sup> 大西洋

チ<sup>ニ</sup>ーサ<sup>ニ</sup>ビー<sup>ニ</sup>ク<sup>ニ</sup>灣 メキシコ<sup>ニ</sup>灣 カン<sup>ニ</sup>ペチ<sup>ニ</sup>ー<sup>ニ</sup>灣 アンタル<sup>ニ</sup>海

ホ<sup>ニ</sup>ンサ<sup>ニ</sup>ラ<sup>ニ</sup>ス<sup>ニ</sup>灣 サ<sup>ニ</sup>ンタ<sup>ニ</sup>ロ<sup>ニ</sup>ザ<sup>ニ</sup>灣 ブ<sup>ニ</sup>ランカ<sup>ニ</sup>灣 サ<sup>ニ</sup>ンマ<sup>ニ</sup>チ<sup>ニ</sup>ア<sup>ニ</sup>ス<sup>ニ</sup>灣  
ベ<sup>ニ</sup>子<sup>ニ</sup>ズ<sup>ニ</sup>エ<sup>ニ</sup>ラ<sup>ニ</sup>灣

太平洋

グ<sup>ニ</sup>ア<sup>ニ</sup>ヤ<sup>ニ</sup>キ<sup>ニ</sup>ル<sup>ニ</sup>灣 パ<sup>ニ</sup>ナ<sup>ニ</sup>マ<sup>ニ</sup>灣 ホ<sup>ニ</sup>ンセ<sup>ニ</sup>カ<sup>ニ</sup>灣 テ<sup>ニ</sup>フ<sup>ニ</sup>アン<sup>ニ</sup>テ<sup>ニ</sup>ベ<sup>ニ</sup>ック<sup>ニ</sup>灣  
カ<sup>ニ</sup>リ<sup>ニ</sup>ホル<sup>ニ</sup>ニ<sup>ニ</sup>ア<sup>ニ</sup>灣 ベ<sup>ニ</sup>ー<sup>ニ</sup>リン<sup>ニ</sup>海 フ<sup>ニ</sup>リス<sup>ニ</sup>トル<sup>ニ</sup>海  
ノ<sup>ニ</sup>ルト<sup>ニ</sup>ン<sup>ニ</sup>海

北 部

マ<sup>ニ</sup>ック<sup>ニ</sup>ク<sup>ニ</sup>ラ<sup>ニ</sup>ア<sup>ニ</sup> ハ<sup>ニ</sup>ル<sup>ニ</sup>ー<sup>ニ</sup>ラ<sup>ニ</sup>ンカ<sup>ニ</sup>スター  
ロ<sup>ニ</sup>ビ<sup>ニ</sup>ン<sup>ニ</sup> ス<sup>ニ</sup>ミ<sup>ニ</sup>ス<sup>ニ</sup> ダ<sup>ニ</sup>ビ<sup>ニ</sup>ス<sup>ニ</sup> ハ<sup>ニ</sup>ド<sup>ニ</sup>ン<sup>ニ</sup>

海。 峽。 東 部  
 ヘルアイル フロリダ ユカタン

南 部  
 マガラエス (マタラン)

次に半島、地、峽、地、角、島、嶼に就きて主要なるものを擧ぐれば

半。 島。 北 海 岸  
 プーシア メルビル

東 海 岸  
 ラブラドル ノバスコシア フロリダ ユカタン

地。 峽。 西 海 岸  
 カリホルニア ケナイ アラスカ

地。 角。 東 海 岸  
 テファンテベック ホンヂラス コスタリカ パナマ ダリアン

北 海 岸  
 ハロウ  
 ハウエル バウド レース サブル(ノバスコシア)

サブル(フロリダ) カトーチ グラシア ア デオス

サシロック フリヨ コリエンテス ギエゴ ホーメ

島。 嶼。

西 海 岸  
 アグシャ サンリッカ メンドシノ ワーリス公

北 部  
 パーリー諸島 バトワック公、メルビル、 パトワック公、メルビル、 バンクス島  
 ナラストン島 コーヌワリス、北デボン等 北ソシマーセット島

東 部  
 ハッヒン島 サウサントン島 グリーンランド島  
 ニッーハウンドランド島 アンチコスチ島 エドワード公島

南 部  
 プルトン岬島 クバ島、シフマイカ島 リッカエス諸島  
 大アンチル列島 ハイチ島、フエルトリコ島 小アンチル列島

西 部  
 マルイヌ諸島  
 チエラ デル フェゴ島  
 パタゴニア群島 ガラパゴス諸島 レビラヒヘッド諸島

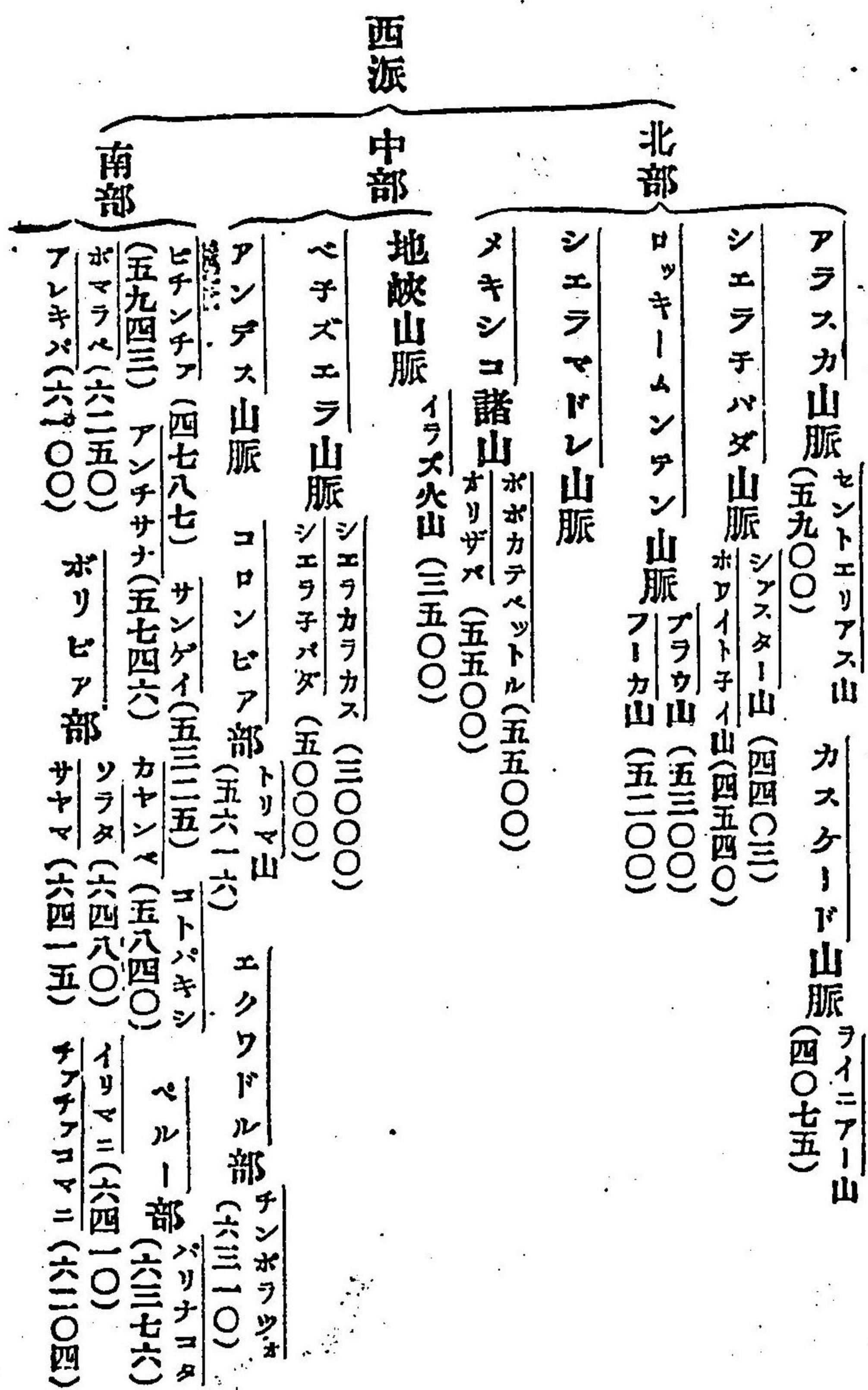
バンクーバー島 チアルロット 女皇群島 ワーリス公 群島  
 コチアク諸島 アレウト列島 セントラレンス島

海岸。海岸線の延長は北アメリカにありては四万八千千米にして南アメリカに於ては二万五千千米なるが、之を他の大洲の海岸線の延長に比すれば實に左表を得るなり

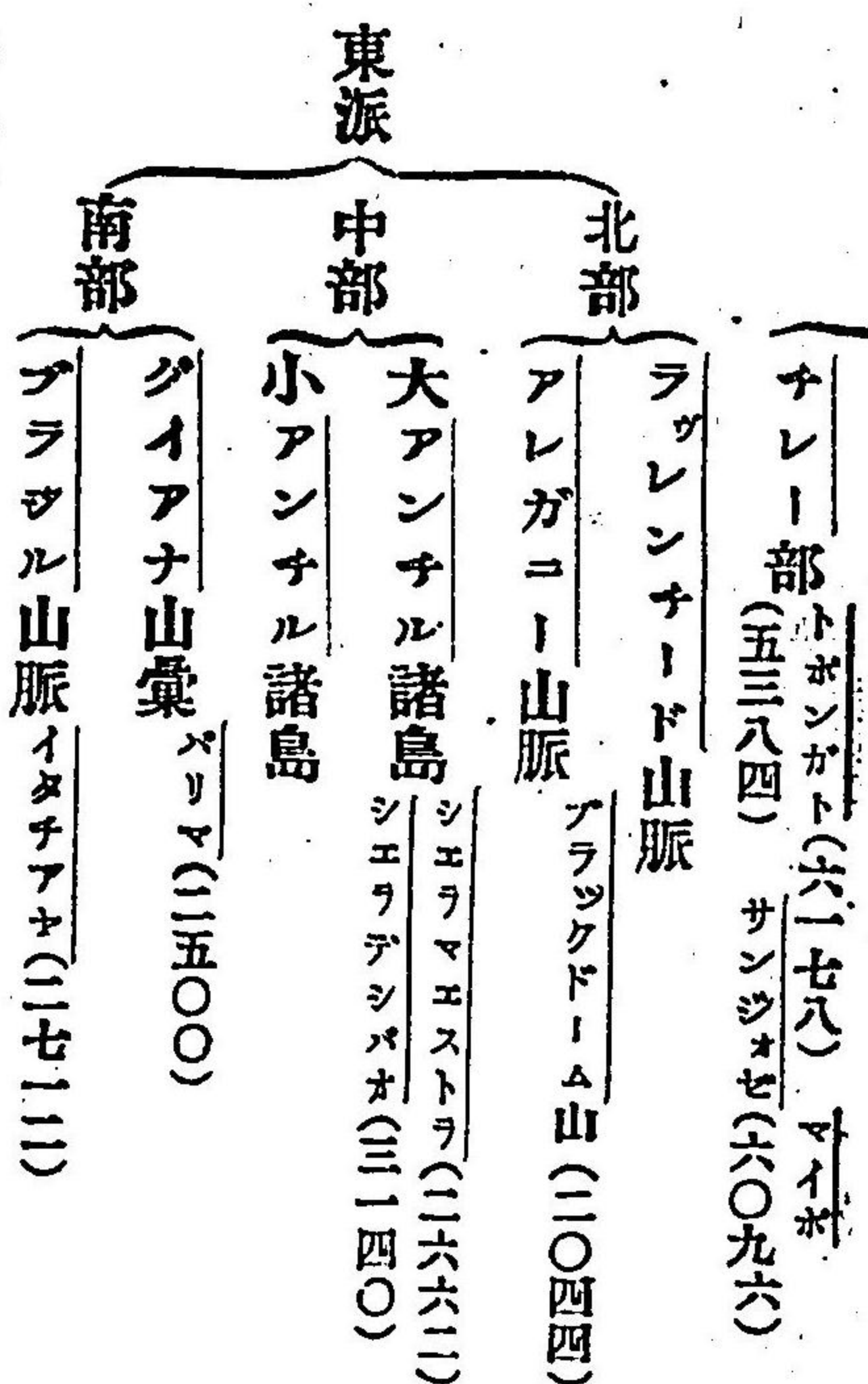
洲名	海岸線一千米に對する方千米數	洲名	海岸線一千米に對する方千米數
エロロッパ	二八九	北アメリカ	四〇七
アウストラリア	五三四	南アメリカ	六八九
アシア	七六三	アフリカ	一四二〇

山岳。アメリカ洲に於ける山脈の趨勢は極めて單純なり、南北の兩部にありては殆ど同様にして概南北の方向を有せるが、中部にありては東西に走れるもの多し、而して山脈は東西の二派より成りて中間に廣漠たる平原を抱括せり、其の西派山脈は高嶺秀峯に富める隆起帶を爲

して大陸の西岸に沿ひ、其の東派山脈は斷續常なくして顯明を缺けるも二千乃至二千五百米突に達することなきにしもあらず



河。流。 アメリカ大陸は水誌上、之を北氷洋、大西洋、太平洋の三大斜面に區分するを得るも、南北に貫通する分水山脈は西部に偏在し、東西に走れる分水線は北部の中央にあるを以て、各斜面の廣袤は一様ならずして甚だしき懸隔を呈供せり、太平洋斜面は狹長なれば長は一萬四五千杆に達すれども、濶は著しからずして五六百杆を超過せず、従ひて巨流



の存するを見ず、北氷洋斜面は稍廣大なるも降雨多からざれば顯著なる水流に乏しきが如し、獨、太西洋斜面は廣大なる地域を抱括して全洲の三分の二以上に當れるのみならず雨量の饒多なる地に乏しからざれば、河流沼湖の發達、極めて著しく、南部のアマゾン河は河流の王と稱せられ、北部のスーペリアル湖は淡水湖の王と稱せらる、今茲に一表を作りて本洲の各斜面に於ける大湖巨流を列擧したり

斜面		本流	水源	河口	河長	合流
北氷洋	マッケンゾー	マッケンゾー	ブラウン山	マッケンゾー灣	四〇〇〇	アサバスカ、ヒース、熊河
北氷洋	チルソン	チルソン	ブラウン山	ハドソン灣	二五〇〇	サスカチエワン、赤河、井ンニベガ
大西洋	セントラウレン	セントラウレン	セントルイス、カミニス、ノチクヤ	セントラウレンス灣	三五〇〇	スーペリアル、ミシガン、フロロン、エリエ
大西洋	セントラウレン	セントラウレン	セントルイス、カミニス、ノチクヤ	セントラウレンス灣	七〇〇〇	オンタリオノ諸湖、オッタワ、セントモーリ

洋 平 太		洋 西 太									
ユイコン	オレゴン (コロンビア)	リオコロラド	パラナ  プラタ	サオフランシスコ	トカンチン	マリアニン (アマゾン)	オリノコ	マグダレナ	ルノルテ	リオグランデア	ミッスーリー  ミ シシビー
チルクート湖	フランシスコ湖	ロッキーマウンテン	エストレイト高原	エストレイト高原	エストレイト高原	アンデスマountain	バリマ山脈	プラス山	フランカ山	イタスカ湖 ザラテン	シエヘルソン マダソン
太平洋	太平洋	カリホルニア海	大西洋	大西洋	大西洋	大西洋	ナビオス海	アンチル海	メキシコ海	メキシコ海	メキシコ海
ペーリン海	?	?	三九〇	二九〇	二九〇	六〇〇	三三〇	二七〇	二七〇	?	七〇〇
スチーキー			パラグエー サルグエー			エカヤリ マディアラ タバシオス シンガ ヤブラ リオチグロ				ヒヨ、アルカンサス、 紅河	シアス、サグアイ イエローストーン、チア ラスカ、カンサス、オ

湖 名	周 圍	最 深	海 抜	面 積
大熊	1400 軒	?	?	40000 方軒
奴隷	1100	200	?	31000
アサバヌカ	950	?	?	17000
井ンニベグ	1000	?	200	171000
マニトバ	650	?	225	4000
井ンニペゴシス	700	?	233	4000
スーペリオル	?	200	233	83000
フロン	?	250	250	61300
ミシガン	?	300	255	59051
エリエ	?	40	231	17000

オンタリオ	?	一五	七一	一、二〇〇
大鹹	四〇〇	二〇	三二〇	六〇〇〇
チチカカ	?	二八	三二〇	八四〇〇
アウルラガス	?	?	三六	?

地勢。北部にありてはロッキーマンテン一帯の地(七〇〇萬方籽)并にアレガニ山脈地方(五〇萬方籽)を以て山地とす、西部のロッキーマンテン地方は概して一千五百乃至二千米突の海拔なるが又五千米突以上に達することあり、而して東部のアレガニ地方は僅に一千米突前後の海拔を有するに過ぎず、ミシシピ平原(三、五〇萬方籽)并にセントラレンスの流域(一〇〇萬方籽)は土地肥沃にして灌漑の利を有し頗る人類の生存に適するも、ラブラドル、圓極平原、グリーンランド等(六〇〇萬方籽)は寒冷に失する無用の地たるを免れず、中部にありては中央アメリカ、西インド

諸島に多少の山地を観るも、ユカタン半島、クバ島は平低の地に富めり、南部に於てはアンデス山脈は一の急峻なる山地を形成して其の最高處チパドスはヒマラヤ山脈の外、他に敵すべきものを見ず、當地方は三百萬方籽の地積を有するが、南部にありては海拔は二千乃至四千米突に過ぎざるも、北走すれば四千以上七千米突に達することあり、本山脈は八回の分合を爲し或は二派と成りて一の臺地を狭み又は數脈と成りて二三の臺地を抱けり、東方に於けるブラシル山地(五〇〇方籽)并にグイアナ山脈は北アメリカのアレガニ并にラレンサードに相當するものなるが、海拔はアンデス山脈の三分の一前後に當れり、季節に依りて或は乾燥の荒地と成り或は濕潤の草原と變ずるリアノス地方即チオリノの流域(四〇萬方籽)、蒼鬱たる森林に富めるセルパス地方(七五〇萬方籽)、半リアノス、半セルパスたるグランシアコ地方、草原の地たるパンパス地方、

等は共に南アメリカの低地を組成す、而してリアスの一部、ブラザルの南東部、パタゴニア等は高地に屬せり

氣候。海陸の關係、山脈の趨勢、海流又は氣流の方向に依りて北中南の三部は各其の趣を異にせり、先、氣温に就きて記さんに、北部にありては北西并に北東より來れる二派の山脈は中間に一大平地を挾めるが、之を東西に横斷する高處の存するなきを以て極地の寒風は勢威を逞しうするを得、從て此の平地に於ける氣温は之をエッロッパ洲同緯度の地に於けるものに比すれば甚低し、カナダ地方の如き、冬季は永くして寒氣強く、夏季は短きも亦暑氣烈しく、恰も黒龍江地方に似たり、又、ミシシッピ、ミシシッピの平野にありても時に寒冷を覺ゆることあり、然れども太平洋沿岸の地并に大西洋に瀕して灣流の恩惠を蒙むる地は氣温概々温暖なり、而してメキシコ灣に接する地は温度甚高し、中部に於て

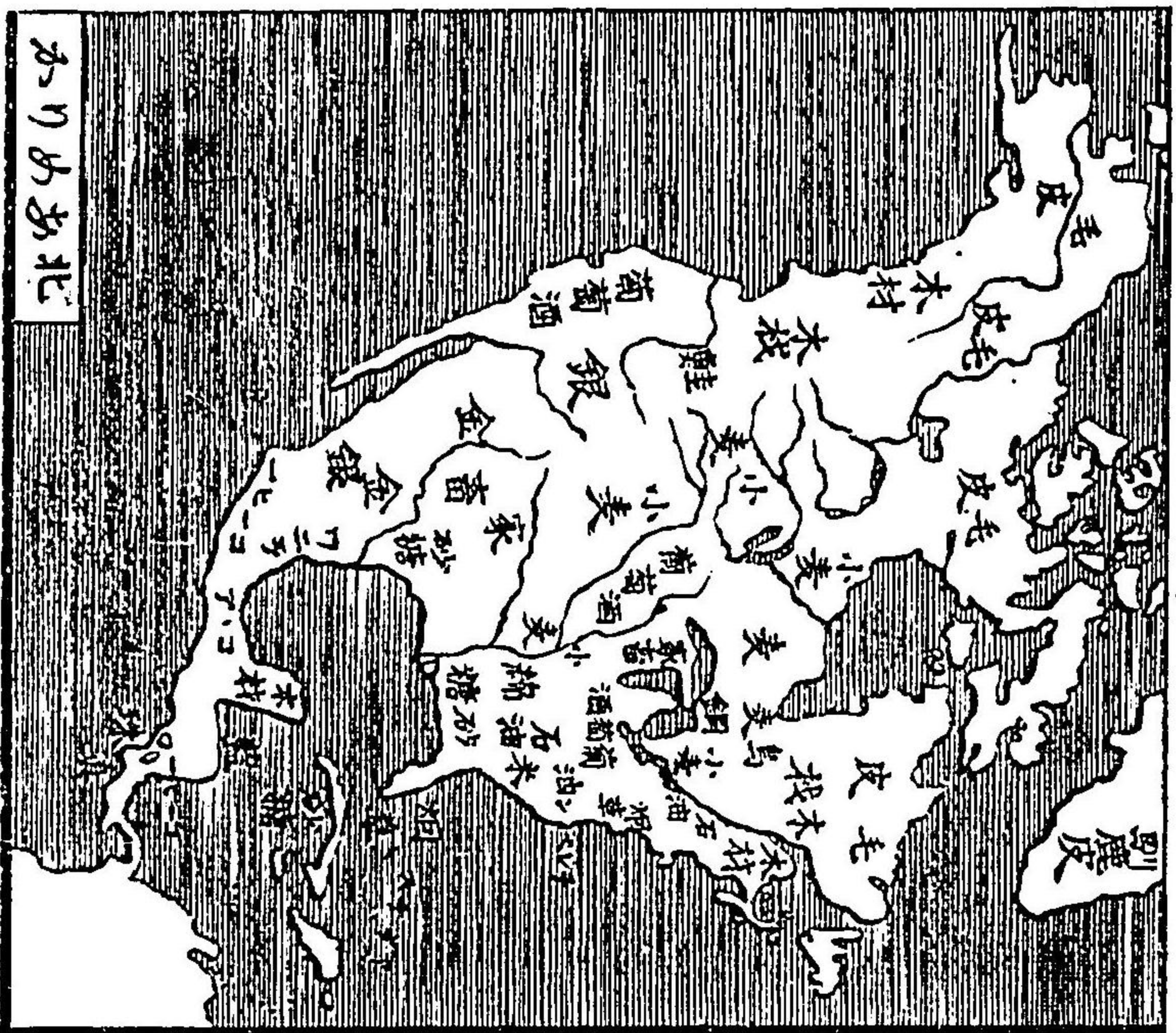
は概して暑氣甚しく高燥の地にあらざれば温帶人は生息するを得ずと云ふ、南部の氣温は概々温暖なるが、グアナ地方、オリノコ、マラコンの流域、太平洋沿岸地の北部にありては酷熱に苦み、巴拉ナ上流の地には煖氣を感ず、而してブラザルの南東部、チレ、プラタに於ては温和なるも南端のパタゴニアに於ては大に寒冷を覺ゆ、次に降雨の概況を記述せん、北部は雨量少なからざるも亦多量なりと云ふべからず、降雨の年平均は二百糎以上に達するは僅にイギリスコロンビアの東岸にして之に次ぐものをフロリダ地方并にミシシッピ下流の地域とす、又雨量の最少なき部は北西大平野の北部と合衆國の東部なりとす、中部の地峽部は概して降雨多き土地なるが、殊に東岸を以て然りとす、又嶋嶼部は雨量の二米突以上に達すること稀にして東岸は稍多き雨水を受くるが如し、南部は概して降雨多き土地なるが、又濕氣に乏しき部分并に乾



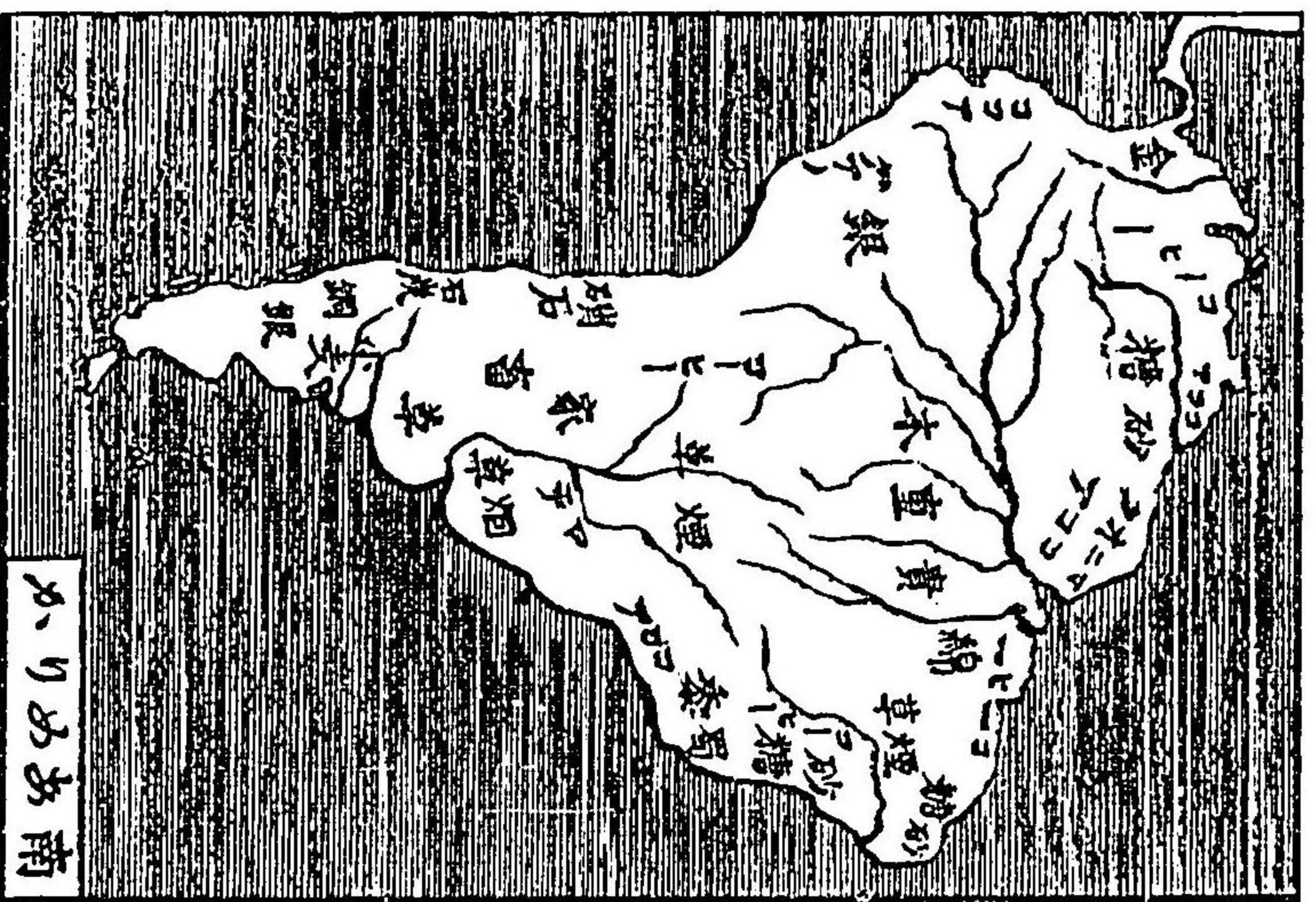
燥に失する部分の存せざるに非ず、グイアナ山脈は太西洋より吹き來る濕風を遮りてベチズエラのリアスを生じ、ブラヨル山脈はアルゲンチナのパンパスを生せり、又アンデス山脈の東面は多量の雨水を受くるも西面には一滴の雨水をも受けざる處あり、而して雨量の年平均に就きて二百糎を超過する部分はベチズエラの西部、コロンビアの東部、マラニオン上流の地、グイアナの海岸、ブラヨルの南東岸、パタゴニアの西岸、等にして二十糎以下の地はパタゴニアの東部并に太平洋沿岸の地なりとす

天産。本洲は各種の天産に富めるを以て有名なるが、殊に植物、礦物の産は極めて多しとす、礦物には金(カリホルニア)、銀(メキシコ、ペルー)、白金、金剛石、寶玉(ブラヨル)、鐵、鉛、石炭、石油(北アメリカ)等あり、植物にはワシントンニア、アロエス、カクサッス、キナ、ココア、其他、木材、染料、等あり、動

物 産 豊 重



かりあお北



かりあお南

物は概して體軀巨大ならざるが猿猴類、蝙蝠類、猫類ジャコウネコ、河狸、獾、羊駄、穿山甲、金鷲、細禽、蟒蛇、響尾蛇、コナツニル等、此の大洲の特産なり

人口。アメリカ洲の人口は凡そ一億二千五百萬なれば一方并に付き  
ての平均人口は凡そ三人なり、然れども其の分布は均一ならずして密な  
る地方は五十人以上に達し疎なる地方は殆ど無人なり、合衆國の西部は  
五十人以上にして大洲の南部は二十人乃至五十人なるも、カナダ領國  
の北部、合衆國の高原部并に南アメリカの内部にありては一人弱に過  
ぎず、又人口を種族に依りて分別せんに、北アメリカにありては白人最  
多くして七千萬以上に達し、黒人は一千六七百萬あるも、土人は六七百  
萬に過ぎずして、黄人は五六百萬なり、南アメリカにありては土人多く  
して人口の基本を爲し、白人は其の數甚だ多からずして、黒人、黄人は之に  
次がり、殊に雜種人は種類と共に其の數甚だ多し、而して白人中、イギリ

ス人、アイアランド人は北部に多く、エスバニア人、ホルトガル人は中部并に南部に多し。  
列國。本大陸に於ける獨立國并にエウロップ諸國の屬領たる地の名稱、面積、人口、都府等を掲げて一表を作れば左の如し

名 稱	面 積	人 口	都 府
北部			
イギリス領			
カナダ領國	八七、七〇〇	一、〇五、二六	クリスタファンズハーフ
ニューハウンズランド	一、〇、〇七〇	四、八三、三三九	セントジョン
フランス領	二、三	五、九二九	オッターワ
北アメリカ合衆國	三、二、三〇〇	六、二七、五〇〇	ワシントン
メキシコ共國	一、四、六、五三	一〇、八、〇七、五	メキシコ
ホンチヤラス共國	一、二、九二〇	三、九、〇、〇八	テグシガルバ

中部	中央アメリカ	西インド諸島	
サルバドル共國	ニ、一〇、七〇	八〇、三、五、四	サンサルバドル
ニカラグア共國	二、三、五九〇	三、五、〇、〇〇	マナグア
コスタリカ共國	五、四、〇七〇	二、四、三、三〇五	サンジョセ
グアテマラ共國	三、五、二〇〇	三、六、四、六八	グアテマラ
エスバニア領	二、二、八、四七	二、四、〇、〇三三	ハバナ
イギリス領	三、四、九九	一、四、二、三、四三	キングストン
ハイチ共國	二、八、六六	六、六、〇、〇〇〇	ポルトープリンス
ドミニカ共國	四、八、七七	四、一、七、〇〇〇	サントドミンゴ
フランス領	二、五、九一	三、五、六、六八	ラベッステール
オランダ領	一、三、〇	四、七、三、三九	キランシー
ダンマルク領	三、一〇	一、四、七、七	セントトーマス
フランス領	七、八、九〇〇	二、九、五、〇	カイエンヌ

南部

グイアナ地方	オランダ領	三九〇〇	ニ七、二五	パラナリボ
	イギリス領	三、九〇〇	七、〇〇〇	マナーシャウン
ベチズエラ合衆國		一四、三九〇	二二、三三七	カラカス
コロンビア共和國		一三、〇七五	三三、〇五〇	ボコタ
エクアドル共和國		三〇、七四三	一〇、四二〇	キト
ペルー共和國		一三、七〇〇	二六、〇〇〇	リマ
ボリビア共和國		一三、四〇〇	二〇、九四九	ラパス
チレー共和國		七五、三二六	二九、三三六	サンチアゴ
パラグエイ共和國		二五、三〇〇	三三、〇〇〇	アスンシオン
ウルグエイ共和國		一八、九二〇	七四、八三〇	モンテビデオ
アルゲンチナ共和國		二七、九四〇	三九、八六六	ブエノスアイレス
ブラジル合衆國		八三、七二八	一四、五四七	リオデジャネイロ

北アメリカ

グリーンランド

グリーンランドはアメリカ大陸の北東にありて一大嶋を形成す云ふ、其の極南に當れるハウエル岬は北緯六十度に位するも、極北の地は未だ詳かならず、而して東岸の北緯八十三度以内は數回の探検を経たる地にして、港灣に乏しからざるも氷山流氷の爲に閉塞せらるゝを以て航行極めて難く、捕鯨に従事する船舶の罕に往來するあるのみ、西岸はタビス海峡、バツヒン灣に臨みて數多のヒヨルド湖<sup>狭長なる小</sup>を有し結氷の障害稍、少し、エスロツパ人は北緯七十四度以内の地に居リエスキョー人は同八十度以内の地に住り、且又内部は平均海拔六百五十米突の臺地を形成し、其の沿岸山脈中、北東部には四千五百米突に達する高峯ありて氣温は甚だ低く永世不滅の氷雪は殆ど我が國の三倍に當れる地を蔽へり、されば白熊、海獸、海鳥并に麁苔類の生存は南西岸の地に限りて内部は寂寥とし

て生物を見ること極めて稀なり、然れども積雪氷層の下に喬木の幹根又は枝葉の模状を發見したるに依りて考ふれば太古の時代にはグリーンランドが既に綠地たりしやを窺ひ知るに足る

夏季に氷の融解する地方即ちダンマルク人がグリーンランドの西岸に於いて領有せる地は其の面積九萬軒に過ぎずして、住人はエスキモーと雜種を合せて凡そ一萬あり、而して白人に至りて少數にして官吏、宣教師、教員等の職務に従事せり、ダンマルク語は多少行はるるもグリーンランドの土語を以て通用語と爲せり、又行政上は二箇の監督區を置き、其の北區はクリスチヤンスハーフを首府とし、其の南區はジャリアンスハーフを以て首府と爲せり

エスキモー人即ちインノイト人は軀短く肉肥へて大頭小肢なり、其の性不潔の何たるを知らず、食料は粗雜にして生魚を用ふ、常に大食すれども又饑渴を恐れず、身に獸皮を纏ひ張幕若しくは氷屋の中に棲居す、生業は主として獵獸捕魚を務むるが最、漕舟の術に長ぜり、本種族は元來アメリカの北部一帯の地に居りしが漸次減退して目下は圓極の地に限れるが如し

● イギリス領

北アメリカの北半部はダンマルク領のグリーンランド地方、合衆國領のアラスカ地方并にフランス領の數嶼を除く、外全、イギリスの領土にして其の廣きは殆どヨーロッパ洲に均し而して行政上之を分ちてカナダ領國及びニューハウンズランドの二部とせり

◎ カナダ領國

本領國の極南の地は北緯四十二度にあり、北方は北緯八十三度以上に達するも未だ確乎たる境界なくして沿岸の地は北氷洋に臨めり、北東はバフィン海、ダビス海峡を隔て、グリーンランドと相對し、東岸は大西洋に瀕し、セントラレンス灣を挟みてニューハウンズランド島を望み、南は北アメリカ合衆國に境し、西は太平洋に臨み、アラスカ地方と境を接せり、而して本領國の地積は八百七十六萬七千七百方并に達せり

海、灣、海、峽、は其の數少なからざるも冬季に結水の妨害を蒙らざるもの甚多からず、半島、島嶼の如きも多くは極寒の地にあるを以て利用の望あるは南東又は南西に於けるものに限り

河流中にて重要なものはセントラレンス河を以て最とす、本流は三千五百軒の長と一百万方軒の流域とに依り一秒時一萬五千立方米突の水をセントラレンス灣に注げり、水源はセントルイス、カミニスチクシア、ニヒゴン、その他八十餘流に發して世界第一の淡水湖たるスーペリオル湖と成る、其の面積は八萬三千方軒にして水深は二百米突に達するが海拔は百八十三米突に過ぎず、セントマリア河に依りてフロン湖に通ず、此の湖の面積は六萬一千三百四十方軒にして水深は二百米突乃至二百五十米突なるが海拔はスーペリオル湖に比し僅に六七米突下にあり、湖上に一島ありマニタウリンと名づく、三千方軒の地積

を有せり、本湖はセントクレール河に依りて流出しセントクレールなる小湖を経てデトロイト幅七百乃至一千五百米突と成りてエリエ湖に通ず、又フロン湖は別にミシガン湖に通ずるが、此の湖も亦一大湖にして面積は五萬九千七十二方軒に達し、水深は三百米突に達せり、エリエ湖二萬八千四百方軒は六十米突の水深を有し海を抜くこと百七十二米突なり、此の湖より出でてオンタリオ湖に入るナイアガラ河は五十五軒間に一、百一米突を流下するものなれば、途に一大瀑布を爲せり、ナイアガラ瀑布は高五十米突にして水層は六乃至十米突なり、分れて二部と成る、其の幅大なるは六百米突にして小なるは二百七十米突なり、オンタリオ湖は一萬八千方軒の面積と百八十五米突の水層とを有し、海拔は七十一米突に過ぎず、此の湖より出でて始めてセントラレンス河と稱す、或はマイルアイル千島湖のと成り、或はガロップ、プラ等の瀑流と成

り、セントフランシス、セントルイスの小湖を経て、愈々巨大の河流と成る、北部の森林地より來るオッタワ河を容れ、シャンプラン湖より發するリッパリウー河を受け、セントピエール湖と成り、モントモレンシー河、其他、數流の水を容れて河灣と成る、支流サグチイはセントジョン湖より發するものにして上流は數多の急流より成れり、此の外、ラブラドル地方より來る支流にベナムミット、マニクアカン、モワヨ、マニッ、ロメース等あり、河灣の幅はサグチイ河を受くる際には二十五軒ありてアンチコスチを抱きてセントラウレンス灣に通せり

マッケンジー河に二源あり、南源をロッキームンテンのブラウン山の附近に發するアサバスカ河とす、北源はヒース河と云ひてヒーク山脈より出づ、此の二流は共にアサバスカ湖<sup>長サ三百七十、幅二十乃至二十五軒</sup>に入る、湖水の流出するや奴隷河と稱し同名の湖<sup>長サ五百五十、幅六十五軒</sup>に注ぐ、此の奴隷湖を出づるや始りてマッケンジー河と成る、北緯六十五六度の地に於て大熊湖の水を受け、六十八度の北緯線に當

マッケンジー灣に依りて北氷洋に注ぐ、本河は源委通じて四千軒に達する一大河、流なるも流域の地は寒冷を極むるを以て利便を供すること少なし

セントラウレンス河とマッケンジー河との間に一の巨流あり名づけてチルソンと云ふ、其の水源に三あり、サスカチエワン河はロッキームンテンに發源する南北の二派より成りて二千軒の長さを有す、シンニペグ河はアシニボイヌ地方の水を集む、赤河は合衆國のミシソタ州に發して一千五百軒の間、豊饒の地を潤す、此の三流は共にシンニペグ湖に注ぎ、チルソン河と成りて北東に流れ、ハドソン灣のチルソン港に注ぐ

本領國は地勢上、三部に區分するを得、即ち大湖及びセントラウレンスの流域に當るカナダ地方、廣漠たる平低の地より成る北西、大平野、山岳高地と狹灣嶋嶼とに富めるコロンビア地方、是なり、カナダ地方は其の緯度に比すれば寒威甚しく三ヶ月乃至五ヶ月以上の結氷時季を有すれども、氣候は健康に適せり、土地は岩石より成る不毛の部分少なからざれ

ども亦耕耘牧畜に適するもの多く、特に天然の森林は藪蔚として此の地方の一大富源を爲せり、北西大平野は寒氣極めて凜烈にして到底人生の繁殖を見る能はざるべく、鯨を捕へ毛皮獸を獲んと欲する者の稀に往來するあるのみ、然れども南部のマニトバ地方は草圃と爲すに適すれば牧畜の發達を見るに至らんこと必然なり、コロンビア地方は極地の寒風を遮ぎる山脈を後に控へ、黒潮暖流の餘派を沿海の地に受くるを以て、氣温は概々温和にして降雨多く、耕耘に適する地も少なからず又カリブー一帯の山脈は金産地なれば經濟上、大に望を屬すべきものあり

カナダ領國の住人は其の總數四百八十三萬餘にして大多數は白人種に屬せり、先住者たる印度人即ち土人の數は十二萬二千に過ぎざるがフロン、イロコイ等を以て多しとす、而して黒色人は至りて少數にして

其の數は二萬餘に過ぎず、又白色人中にありてはイギリス語を用ふるもの最、多し、然れどもフランス語を用ふるもの數は侮るべからざるものありて實に百五十萬に近しとす

本領國は、其の名イギリス領たるも、實際に於ては專ら自治に依るを以て殆ど獨立國たるが如し、總督はイギリス皇帝の任命に係れるも僅に認可權を有するに過ぎず、内務、法務、財務、農務、商務、工事、交通、陸軍、海軍、等の各部の長官より組織せらるる内閣は樞密院の幫助に依りて領國全部に關する百般の行政事務を司り、高等法院は司法の大權を有せり、立法權は上下兩院に屬せるが上院には總督の特撰に係る十四人の議員ありて下院に於ける二百十五人の議員は各地方の公撰する所なり、而して各州には知事、其の他、行政部、司法部、立法部ありて自治の體を備へり、政治的組織の完備せるもの即ち州に七ツあり、エドワード公嶋、ノバス



ロシア新プロンス、クエベック、オンタリオ、マニトバ、イギリスコロニアと云ふ、次に領土の中にて政治的組織の多少あるものはアッシニボイア、アルベルタ、サスカチュワン、アサバスカにして其の他の領土たる北西、キークナン、北東、東ラブラドルには未だ何等の政治的機関を見ず

洲名	地積	人口	方に秤付	首府
エドワード公嶋	五八〇	一〇、九〇八	二〇	チアルロットタウン
ノブスコシア	五、三三〇	四五、〇三六	八	ハリハックス
新プロンス、井ツク	七、二七〇	三三、二二三	四	フレデリクトン
クエベック	五、六二〇	一四八、八五五	三	クエベック
オンタリオ	五、八八七〇	二二、四三二	四	トロント
マニトバ	一、六五九四	一五、二五〇	〇、九	ウィンニペグ
イギリスコロニア	九、九〇一〇〇	九、八七三	〇、一	ピクトリア

兵備上に於ては本領國を十二軍區に分てるが、軍隊は何れも志願兵より成りて常備に五萬五千人、後備に二十三萬人あり又海軍は海上艦五隻と河上艦二隻とを有せり

財政に就きては歳入歳出ともに凡そ四千八百萬弗にして國債は借方に三億八百萬弗ありて貸方に二億四千六百萬弗あり  
 生業の情態を畧述せんに、氣候の稍、寒冷に失するあるに拘らず、農業は至りて盛にして多量の穀類を産す殊にフロン、セントクレール、エリ、オンタリオ等の大湖の沿岸地を以て然りとす、又マニトバ以東、セントラレンスの流域に當れる平低の地は草圃に適するを以て數千萬の

甲種領土	乙種領土	カナダ領國
六、七〇七	三、二七〇	四八三、三三九
〇、一	—	〇、六
レジナ		オッターワ

畜類を飼養せり、領國の大半を蔽ふ所の森林は松柏科の植物に富めるが故に多量の木材を産し以て此の地の一大富源を爲せり、漁業はセントラレンスの河灣并に各處の河湖に於いて行はれ、鑛業はノバスコシアの石炭、イギリス、コロンビアの黄金等を採掘せり、工業は未だ隆盛に至らざるも亦頗る屬望すべき所あり

貿易は輸入に一億二千五百萬弗ありて輸出に一億一千八百萬弗あるが、輸入に就きて首位を占むる國は合衆國、イギリス、ドイツ、アンタル諸國等にして輸出に就きて首位を占むる國はイギリス、合衆國、アンタル諸國、フランス等なり、而して重要なる貿易貨物を品種に依りて區別すれば輸入に鐵器、毛布、石炭、砂糖、綿等ありて輸出に木材、穀類、酪類、畜類、魚類等あり、之を食料、獸類、原料、製品に區別すれば左の如し

食料	獸類	原料	製品
----	----	----	----

輸入	二七二	—	三三六	四九二
輸出	五七	一〇〇	三四六	三七

商船は七千十隻にして總噸數は百五萬噸なるが其の中にて汽船は一千五百三十八隻、二十四萬噸を有せり

鐵道は其の發達甚著しく二萬四千裡を有せり、而して最著しきものを兩大洋を連絡せるパシフィックカナヂアン線路なりとす、此の線路は大西洋に瀕せるハリハックス港を起點としセントラレンス河の右岸に出でモントリオルを経てオッタワ河に沿ひスーペリオル湖の北岸を走り、井ンニペック、レシナを経てサスカチワンの南派を溯りフリーカー山の南に於てロッキーマン脈を越ねフラザー河の支流に沿ひ新エストミンスターを経てバンクーバー港に達す

處誌。ハリハックス(三、八〇〇)はノバスコシア半島の東岸に於ける一都會

なるが、一の良港を有するを以て交通上、極めて樞要なりとなす、セント  
 ヲン(三、五〇〇)は同名の河口にありてホンチー灣に瀕す亦交通上の要隘  
 に當れり、クエベック(六、三〇〇)は一千六百八年の創建に係りてカナダ最舊  
 市街の一たり、セントラレンス河の左岸にあり稍繁華の地とす、モント  
 リオル(三、六〇〇)はセントラレンス河の北岸にあり頗る殷賑の地にして、カ  
 ナダ第一の都會なり、オタワ(四、四〇〇)は領國の首府にして政治の中心た  
 り、此の地の近傍にショーザエールと稱する有名の大瀑布あり、トロント  
 (一八、一〇〇)はオンタリオ湖に瀕す商業甚だ盛にしてカナダ第二の都會なり  
 とす、ハミルトン(四、六〇〇)并にロンドン(三、二〇〇)は共に商業繁盛の地なり、  
 井ンニペック(三、五〇〇)は北の赤河とアッシニポイア河との合流の地にあり  
 て交通上の要處たり、バンクーバーはコロンビア海岸、フレーザー河の口  
 頭にある新開の地なるが、太平洋カナダ鐵道の竣功以來、頓に盛況を呈

し有望の市街と成れり

茲に重なる屬島の情況に就きて記述せん、バンクーバー島は一名  
 をストカ島と云ひフレーザーの河口と相對せり、長きは四百三十軒にして  
 幅は六十乃至八十軒なるが四萬一千四百四十方軒の地積を包有せり、  
 本島の状態は概してイギリスコロンビアに類似せるが、直立二千五百  
 米突以上に達する山岳は沿海の地に屹立して、數多の狹灣半島は大陸  
 の海岸と互に犬牙錯綜せり、鑛山は未だ採掘するに至れるものなきも、多  
 量の石炭を呈供せるの望あり、又樅柏等に富める森林は佳良の木材を  
 供給するに吝ならざるべし、加ふるに沿岸の海并に内部の湖には魚類  
 多し、氣候は夏季にありては極めて快爽を覺え、冬季にありても温和に  
 して降雪少なしとす、然れども沃土に乏しき山岳の地も少なからざれ  
 ば耕耘の業は著しき發達を見ること能はざるべし、住人は其の數、一萬

二三千に過ぎざるが土人の數は六千餘に達せり、ビクトリアは本嶋の首府にして又コロンビア全州の首府なるも、港は大船巨舶の出入に便ならず、而して本港を距ること六杆の地にあるエスキマウトは極めて良好なる港を有すと云ふ

チャルロット女皇諸嶋はグラハム、モレスバイ、等若干の嶋嶼より成れるが、バンク  
ーバー島の北端より二百五十杆の處にありて北緯五十三四度に位せり、氣候は甚だしき寒冷を覺ゆすして沃土に富める地多し、又松柏科の樹木并に銅、無煙炭、等に乏しからず、而して狹灣に瀕する良港も亦少なからず、此の嶋の土人は本世紀の始めに於ては一萬以上なりしも今日にありては五千以下に過ぎざるべし  
アンチコスナ嶋は八千五百方杆の地積を有し其の中、三千方杆は耕種に供し得べきも、住人の數は甚だ少なくして製塩捕漁の二業も亦隆昌ならず、エドワード公島はノルサムベルランド海峡を隔て、ノバスコシア及び新アロンヌスヰックに對せるが五千五百方杆の地積を十一萬餘の人口を有せり、生業は漁業を主とす

れども亦耕耘の多少發達せるを觀る而して首府チャルロットタウンは一萬五千の人口を有せり、アルトン岬嶋は一萬一千三百餘方杆の地積を九萬餘の人口を有せるが石炭を産するを以て名あり、首府シドニーは五千の人口を有するに過ぎず

◎ ニッーハウンドランド

ニッーハウンドランド嶋は同じくイギリスの領土なるも、カナダ領國に屬せずして別に一の殖民地を爲せり、地積は十一萬餘方杆ありて海岸は屈曲に富めり、土地は佳良なるに非ざるも亦耕牧に適するもの少なからず、濃霧屢起り快晴の天氣少なきも氣温は概ね氷點以上にありて稀には二十五度に達することなきにしもあらず、人口は二十萬餘に達するがフランス語を用ふるものは十分の一に過ぎずしてエスキモー人は全く消滅せり、知事は首府セントジョンに居り、行政、法制、司法等の公署并に立法議會等を設けて全嶋の施政を司れり、本嶋富源の最たる漁

業の旺盛なるは嶋の東并に南東に當りて一大海底臺地の存するあるに依れり而して此の臺地の現出せしは北氷洋より流れ来る氷塊が高温の海流に逢ひて溶解する際齎したる岩石砂礫を捨て、海底を填充せしに基づけるが如し、又貿易は輸入に七百五十七萬弗、輸出に六百二十八萬弗ありて鐵道は三百九十一杼あり

◎ フランス領

十八世紀に於てはフランスに屬せし土地は頗る廣大にしてアメリカ北部の要處の多くは同國の所有なりしが、目下は僅にサンピエル、ミクロン、等の數嶼に過ぎざれば、地積は二百三十五方杼にして人口は六萬足らずなり、然れども本領の位置たるや世界第一の豐魚地と稱せらるる彼の海底臺地の附近にあればフランス本國より來り漁するもの少なからず、從ひて本領土は廣袤の微々たるに拘らず比較的に重要なりと知るべし

◎ アメリカ合衆國

位。置。 アメリカ合衆國は北アメリカ大陸の中部を占め、大西洋と太平洋との間に介在せり、北緯の二十六度より起りて四十度に達し、西經七十二度と百二十九度との間にありて北はカナダ領國に接し、東は太平洋に臨み、南はメキシコ灣に瀕し、又はメキシコ共和國と境を交へ、西には太平洋を控へたり而してアラスカ領地はイギリスコロンビアを隔てて大陸の北東端を形成せり。  
地積。 九百二十一萬餘の方杼を有する合衆國は北アメリカの殆ど半に當れるが本邦の二十二倍に近し

海岸。 合衆國の沿海の地はエロップアの海岸に及ばざるも亦其の屈曲は多からざるに非ず、東岸に於ては廣大なる灣港の存するありて船舶の碇繫に利便を供せるが其の主なるものはマッサチウセツト灣、ニッソー

ーク灣、ドラワール灣、チーサビーク灣等なり、西岸は屈曲に乏しきもサンフランシスコ港、其の他に多少の狭灣あり、要するに海岸線の延長は二萬二千軒に達し別に五千軒の湖岸を有せり

山脈。ロッキーマウンテン山脈は合衆國の西部に偏在して此の國の山地を形成し太平洋の海岸に於けるカスケード山脈、沿岸山脈、シエラネバダは一の高臺地の西界を爲せり、此の臺地は岩石若しくは砂礫より成れるが中央に大鹹湖を抱けり、ロッキーマウンテンの東にありては、土地平坦にして起伏に乏しき一大平野を爲せるが地味極めて肥沃なり、平地の東端にアレガニイの山彙あるも、海拔は著しからずしてアチロンダック、カストキル、緑山、白山等の支脈に依りて大湖地方に達せり而して此等の山脈に就きて主要なる山岳を列擧すればカスケード山脈にマヘルソン(四七五)、ライニア(四〇〇)あり、シエラネバダにホワイトチイ(四二二)あり、ロッキーマ

脈にピクアランカ(四二七)、ハイバード(四八四)、ロングベーク(四九〇)、大テントン(四二七)あり、其の他、アレガニイにブラックドーム(四〇四)、ホワイト山脈にワシントン(二九七)、アチロンダックにマーサイ(二五九)、グリーン山脈にマンズヒエルド(三五〇)、キタングトン(二八七)、カストキルにハイベーク(二五八)あり

水誌。太西洋斜面に屬する河流にはセントジョン、コンホクチカット、ハドソン、ドラワール、サスケハンナ、ポトマック、ジェムス、サバンナあり、メキシコ灣斜面にはチャクタホーチ、アラバマ、ミズーリー、ミシシッピー、リオブラツアス、リオコロラド、リオグランデ、デルノルテあり、太平洋斜面にはリオコロラド、コロロンビアあり而して沼湖にはスーペリオル、ミシガン、フロンセントクレア、エリエ、オンタリオ、シャンプレンあり、又ユーターの高地には大鹹湖あり

ミズーリー、ミシシッピー河は世界第一の巨流なるが長きは七千二

百斤に達して三百二十五萬方斤の地を潤せり、ミズーリー河の水源は  
 ロッキー山脈に發するロッキン、マゼン、ガラチンの三流より成り、相  
 合してミズーリーと成るや九斤の間は潤、五百五十米突、深、四百米突の  
 狭谷を奔流し、六七十斤の間を激流してホートメンテンに達す、此の地  
 の海拔は九百米突あるがミズーリーの流勢は稍、緩漫と成りて始めて  
 通舟の便を與ふ、左岸にマゴタを容れ、右岸にイエローストス、チブラス  
 カ、カンサス、等の支流を受け、五千斤の長、と百三十四萬方斤の流域に依  
 り平均水量三千二百九十七立方米突を以てミシシッピー河に入る、又ミシ  
 シッピー河はイタスカ湖に水源を發し、草原の地を潤し、セントアンソニ  
 ー、ミチアポリスに於て幅五百七十五米突、高、七十八米突の瀑布を爲し  
 セントパウルを過ぎ、ミネソタ、セントルイス、井スコンシン、イリノイ等  
 の諸水を容れ、オザク山の附近に於てミズーリー即ち泥河を合はす、セン

トルイスを通過したるの後、直立九十米突の岩石より成る峡谷の間を  
 流れ、而して平均四千四百七十五立方米突の水量を齎し來るオハヨ河  
 を容る、されば本流の勢は漸、強く増水の際には一秒時に四萬乃至四  
 萬二千立方米突の水量を流下することあるも、涸水の時には四千立方  
 米突の水量を有するに過ぎず、又河幅は一千八百乃至二千百米突あり  
 て水深は八米突以上七十米突に達する處あり、オハヨの河口より新オ  
 ルレアン附近に至るまで兩岸には壯大なる堤防を築きて河水の暴溢  
 に備ふるが、新オルレアンに於てはミシシッピーの幅は一千米突に過ぎ  
 ずして深、は四十米突に達せり、河口に至れば三派に分れ、異様の三角洲  
 を爲してメキシコ灣に注ぐ

氣候。合衆國は其の幅員廣大なるを以て氣候が各地一様ならざる  
 は論を俟たず、氣温の年平均はヨージンダ州の五度よりアリゾナ、フロリ

ダ、ルイジアヌの二十一度までの間にあり、而して合衆國の北部并に中部に於ける氣温の特性は夏季の酷暑と冬季の嚴寒とに加ふるに寒暑の激變を觀るにあり、北西地方の氣候は乾燥にして健康に適するも十一月より四月までは結氷降雪多くして寒氣極めて凜烈なり、新イギリス地方は稍温和なるも濕潤に過ぎ、南部殊にルイジアヌ、フロリダは健康に適せずして地方病又は惡疫の流行するあり、要するに合衆國には春季なく冬季より夏季に移る際には短き降雨期あり、而して最、爽快の氣節は九月より十一月までの秋季にしてアメリカ人の所謂インディアソンマリーなりとす、而して氣候上、最多の幸禍を有せるはカリホルニアにして實に全國に冠たり、沿岸山脈并にロッキーマウンテン山脈は北と東との寒風に對して障塀と成るも、太平洋より來る温風をを遮らざれば常に春季にあるが如き感ありと云ふ

人口。 一千八百九十年の調査に依れば人口の總數は六千二百六十二萬(依れば一千八百九十五年の推算に依れば六千九百七十五萬人)にして一方并に對する口數は八と成る、之を一千七百九十年の人口四百萬に比すれば實に十五倍半に増加したるを觀るべし、且又インヂアン、アラスカ二領土の住人を加算すれば六千二百九十八萬餘と成るべし、而して此の人口を種族と國籍とに依りて分別すれば國人に四千五百八十六萬の白人と七百五十一萬の異色人ありて、外人に九百十二萬の白人と十二萬七千の異色人あり、又異色人七百二十三萬餘は黒色人(一、二、三)、支那人(四)、土人(五、六、七)より成れり、又本邦人にして此の地にゐるものは凡そ二千八百人なり、此の外インヂアン領土の住人中に十四萬二千足らずの土人あり

政治。 國體は合衆共和國にして四十五州、一合衆區、三領土より成れり、此の外に政治的組織を有せざる二三の領土あり



一千七百八十七年の發布に係りて一千八百七十年の改正を経たる憲法は合衆國の大政を行政、立法、司法の三權に分つ、複撰法に依りて四年毎に改撰せらるる大統領は内閣の大官を始めとし各省の屬僚を率ひて行政を司り、立法權は元老院と代議院との二院より成る合衆議會に屬するが、其の元老院議員は九十人ありて、各州二人の割合に各州の議會、之を推舉し、其の代議院議員は三百五十七人にして普通撰舉法に依りて各州、之を撰出す、司法權は高等法院、複審法院、地方法院等に屬せり、而して各州は自治の共和國にして立法議會を備へ公撰知事を戴きて行政を委ぬ

コロンビア合衆區の地積は百八十方疋に過ぎざるも人口は二十三萬餘なれば一方疋に付きて一千二百六十八人の住民を有せり、而して、四十五州、五領土の地積、人口等は次表の如し

部	東	北	地方地
11. 10. 9. 8. 7. 6. 5. 4. 3. 2. 1.	メリーランド デラワール ペンシルバニア ニューヨーク ロードアイランド コンチチカット マサチューセツト メルモン ニューハンプサイア メイン	地積	州名
三二六二〇 五三二〇 一一七二〇〇 二二〇二四〇 一一七三三〇 一一二九二五 三三四〇 二二五四〇 二四七七〇 二四一〇〇 八五五七〇	人口	方疋に對し	
一〇四、三三九〇 一六、八四九三 五二五、八〇一四 一四四、四九三三 五九九、七八五三 七四、六二五八 三四、五五〇六 二二三、八九四三 三三三、二四二二 三七、六五三〇 六六、一〇八六	八 一六 一三 一〇四 一〇六 五七 四七 七一 四五 三三		

中 央 部											
35.	34.	33.	32.	31.	30.	29.	28.	27.	26.	25.	24.
井ヌコンシン	ミシガン	ヨイミンダ	コロラド	子アラスカ	カンサス	ミズーリー	アルカンサス	アイオワ	イリノイス	インディアナ	オハヨ
一四、五二四〇	一五、二五八五	二五、三三三〇	二六、九一五〇	二〇、〇七四〇	二二、二五八〇	一七、九七八〇	一三、九四七〇	一四、五一〇〇	一四、六七二〇	九、四一四〇	一〇、六三四〇
一六八、六八八〇	二〇九、三八八九	六、〇七〇五	四一、二一九八	一〇五、八九一〇	一四二、七〇九六	二六七、九一八四	一一二、八一七九	一九二、一八九六	三八二、六三五二	二一九、二四〇四	三六七、三三二六
一一	一四	二〇	一、五	五	七	一五	八	一三	二六	二二	三四

南 部						南 東 部					
23.	22.	21.	20.	19.	18.	17.	16.	15.	14.	13.	12.
クンタッキー	テンネッシー	テキサス	ルイジアナ	ミシシピー	アラバマ	フロリダ	セオルジア	南カロリナ	北カロリナ	西バージニア	バージニア
一〇、四六三〇	一〇、八九一〇	六八、八三四〇	一一、六一八〇	一一、二二三〇	一三、五三二〇	一五、一九八〇	一五、四〇三〇	七、九一七〇	一三、五三二〇	六、四一八〇	一〇、九九四〇
一八五、八六三五	一七六、七五一八	二二三、五五二三	一一一、八五八七	一二八、九六〇〇	一五二、三〇一七	三九、一四二二	一八三、七三五三	一一五、二一四九	一六一、七九四七	七六、二七九四	一六五、五九八〇
一八	一六	三	九	一一	一一	二	二二	一四	二二	二二	一五

西 部						北 部			
45.	44.	43.	42.	41.	40.	39.	38.	37.	36.
カリホルニア	ネメダ	オレゴン	ワシントン	アイダホ	ユタ	モンタナ	北ダコタ	南ダコタ	ミソリ
4,000,140	2,867,000	2,487,100	1,791,700	2,196,200	2,200,600	3,783,300	1,833,500	2,011,100	2,259,100
1,208,130	4,576,100	3,137,670	3,493,900	8,438,500	2,079,050	1,322,590	1,827,190	3,288,800	1,301,826
3	0	1	2	0	0	0	1	1	6

而して多少の政治的組織ある領土を甲種とし否ざるものを乙種とす

れば

甲 種		乙 種	
地 積	人 口	地 積	人 口
1. アリゾナ	29,250,000	1. インディアナ	8,130,000
2. 新メキシコ	31,740,000	2. アラスカ	1,376,300
3. オクラホマ	10,100,000		
	5,962,000		3,381,900
	15,359,300		3,179,500
	6,183,400		

兵備 陸兵は平時にありては二萬六千人に過ぎざるが戦時に於ては十四萬五千の兵を得べく而して登陸兵を加ふれば九百五十八萬人と成るべし又海軍は六十一隻の兵艦と三百八十門の巨砲とを有するが造營中にある艦船も亦少からず

財政 一千八百九十三年乃至九十四年に亘る會計年度に於ける歳入は三億七千二百八十萬弗にして歳出は四億四千二百六十萬弗なり

而して國債は八億九千九百三十二萬弗ありて各州の公債は二億二千八百九十九萬弗に達せり

生業 ミシシピ―河の流域は合衆國中最、豊饒なる土地にして其の北西部は小麥の耕作并に食牛の飼養に充つ其の他の部にありては大麥、烏麥等の穀類を盛に産出せり而して一千八百八十八年に於ける實綿の産額は三十億八千八百萬听に達せり、要するに合衆國が農業に依りて收得する所の平均年産額は二十億弗なるも耕耘に供する地は全地積の四分の一に過ぎず又葡萄の栽培はカリホルニア州に行はるるが漸次に旺盛に赴けり

鑛業は金と銀とにて八千六百弗を與ふるが其の他、石炭(一億二千萬噸)、鐵(六千萬噸)、銅(三百三十萬噸)、鉛、錫、水銀、硝石、岩鹽、石油等を産せり

工業 製造所の數は三十萬にして資本金は四十億弗に達し製造品

の價格は六十億弗に近かるべし殊に製糖業は盛にして一千八百八十七年には三億二千五百萬听を生産したりと云ふ

貿易は輸入に六億五千五百萬弗ありて輸出に八億六千九百萬弗あるが通過貿易高は七千一百五十萬弗なりと云ふ而して重要なる貿易品を擧ぐれば輸入に砂糖、珈琲、藥品、絹布、綿布等ありて輸出に實綿、穀類、肉、石油、獸類、鐵器、煙草、木材等あり

又此等の貨物に就きて配分を爲せば

	食料	獸類	原料	製品
輸入	五三、四		一五、〇	三二、六
輸出	四四、八	四七	四一、五	九、〇

右の外、正貨の出入を加算すれば輸入は七億四千萬弗と成り輸出は九億七千二百萬弗と成れば全計は十七億一千二百萬弗と云ふ巨額に上

るなり

四百六十八萬四千噸の商船に就きて、汽船は六千五百二十六隻、二百十八萬噸ありて、帆船は一萬七千六十隻、二百四十九萬噸あり。要するに合衆國の商船はイギリスに次げる地位にありて、世界水運の百分の二十を掌握せり。

交通 鐵路の發達せるは世界第一にして、軌道の延長は實に二十八萬六千六十杆なり。東は太西洋の沿岸より起り、西の方、太平洋の海岸に出づるもの數條ありて、北はカナダ線に連り、南はメキシコ線に通ずるが、貨物の運輸に依りて得る所の收入額は六億弗に達して、イギリス、フランス、イタリア三國の收入全計を超過すと云ひ、ベンシルバニア地方の線路のみにては、運輸高はイギリス商船の總噸數より大なりと云ふ。郵便は六萬九千五百八十六局を設けて、七千八百萬弗を收入し、八千四

百萬弗を費せり。電信線の延長は三十五萬杆ありて、電話線は二十七萬杆あり。又河海に依りての交通は大に開け、太西洋に於けるポストン、ニューヨーク、ヒラデルヒアの諸港は、ヨーロッパに南アメリカと相通じ、サンフランシスコは日本、清國、太平洋諸島、新ゼーランド、オーストラリアを連絡する航路の起點にして、新オルレアンはメキシコ、中央アメリカ、アンタル諸嶋の貿易を司れり。定期航行の船舶は絶えず沿海、大河、大湖、運河(六〇〇杆)に於ける各地を往來せり。然れども北部に於ては冬季の航行は結氷の爲に妨害を蒙むることあり。

處誌 ワシントン(三,〇〇〇)はコロンビア合衆區にありて、北アメリカ合衆國全土の首府なるが、チーサピック灣に注水するポトマック河の畔にあり、市街は廣濶にして、道路は整然たり。商業工業は甚盛なるに非ざれども、中央政府の所在地なれば頗る繁昌せり。ポストン(四,〇〇〇)はマッサチ

セツ州の沿海の地にありて一大商港を有せり、プロビデンス(三〇,〇〇〇)はロードアイランド州に於ける商港たり、ニューヨーク(二五〇,〇〇〇)は合衆國第一の都會なり、港はハドソンの河口にありてステータン、ロングアイランドの二島を控ふれば廣濶安全にして船舶の碇繋に便なり、従ひて百貨輻輳し商業極めて盛なり、實に世界第三の貿易港たるに恥ぢず、又人口の増殖は甚だ速かなるが住人の三分の一はドイツ人にして他の三分の一はアイアランド人なり、本市の附近にブルークリン(八〇,〇〇〇)アストリア、井リアムスバーク、ハドソンシティ、ホボケン、ジャシーシティ(一六,〇〇〇)ニューアーク(一八〇,〇〇〇)等の都會あり、ヒラデルヒア(一〇五,〇〇〇)は舊合衆國の首府たりし處なり、本市は海岸を距ること百九十米突の地にゐるに拘らずデラワール河に瀕せるが故に大船巨舶の出入に便ありて工場の多き實に合衆國第一なり、ポーチモーン(四〇,〇〇〇)の狀況はヒラデ

ルヒアに似たり、ナリサピーク灣に注ぐバマスコ河の畔にありて海岸を距ること二十杆の處にあり、ピッツバーク(四〇,〇〇〇)はオハヨー河と成るベキアレガニ、モノンガヘラの合流の地にありて盛に製鐵に従事せり、シンシナチ(三〇,〇〇〇)はボルコポツス又は西の女皇と稱せらるゝ商工業の中心にして盛に鹽豚を賣買せり、ブハロ(六〇,〇〇〇)、クリーブランド(三〇,〇〇〇)、デトロイト(一〇〇,〇〇〇)は共に大湖地方にありて繁華の市街なり、シカゴ(一〇〇,〇〇〇)はニューヨークの右に出でんとする勢を以て盛に穀類の貿易、鹽豚の製造に従事せる市街なるが俗にマシフルームシティと云ひ大湖の女皇と云ふ、ミシガン湖の南端にあり、住人の増殖甚だ速にして殊に有爲心に富めるを以て名を知らる、鐵路に依りて兩太西洋に通じ運河に依りてミシシピー河に連なるが故に交通上極めて樞要の地位にあり、ミルワッキー(二〇,〇〇〇)は合衆國第四の港にして大湖の小女皇と稱す、セ

ントルイス(四,000)はフランス人が一千七百六十年に建設せし市街なるがミシシピイの中流に當り海拔百四十一米突の處にありて通商貿易の一大中心として頗る好望の地なり、新オルレアン(四,000)も亦フランス人の創建に係れる市街なり、ミシシピイ河の下流に瀕しボンシヤルトラン湖に接せり、土地脆弱にして氣候の不良なるに拘らず、實綿、コーヒ、砂糖の集散地として合衆國第二の商港たり、サンフランシスコ(三〇,000)はメキシコに屬せし頃はイェルバブエナと云ひて人口五百に充たざる一寒村たりしが現時は繁榮なる市街と成りて唯に西太平洋第一の都會たるのみならず又世界屈指の商港なり、港口金門の幅は一千六百二十六米突に過ぎずして港内は安全廣大、幾多の商船を碇泊せしむるに足れりとす、而して氣温高く近傍に鹹沼、泥洲のあるに拘らず健康に適せり、シアトル(四三,000)、メコヤ(三三,500)は共にプゲット灣に瀕す、本邦船のアメリカ

航路開通以來、其の名を知らる

●メキシコ共和國

メキシコは合衆國の南に於ける稍狹長なる三角形の陸地にして其の幅は二千秊乃至二百十秊にして地積は百九十五萬方秊に達せり、海岸線の延長はメキシコ灣、アンチル海に於て二千五百八十秊を有しカリホルニア灣、太平洋に於て六千二百五十秊を有せり、メキシコ灣に接する海岸は半圓周を爲し、概平低にして瀉灣に富める沙濱なれば、稍良好の港形を呈するは僅にカムピコ、ベラクルス、カムパチア、あるのみ、西海岸は高隆にして屈曲多く、殊にカリホルニア半島は狹長にして海底淺き一灣を抱けるが、港形の佳良なるものはグアイマス、マザトラン、サンブラス、アカプルコ等なり、又南部に於て東西兩洋は相接近して幅二百十秊のテファンテペック地峽を爲せり

メキシコは一の高臺地を形成す、其の直立は平均二千二三百米突にして東西は海岸に沿ひて傾斜し、北にリオブラ、リオグランデ、デルノルテの低地を扣へ、南はテファンテック并にイッカタンの低地ニ降下せり、臺地の西縁はシエラマドレにして最高三千米突に達し、東縁はヌエボレオン、クマウリパスにして二千米突に達することなし、南部は高峯に富みてポポカテペトル(三九二)、チバドデトルカ(四〇〇)、コリマ(三六六)、タンシタロ(三六六)、ゼムポアルテベック(四〇〇)、オリザバ(一にシトラルテ)(五五八)、イッタクシファト(四九〇)、コフレデペロテ(四九〇)、チバドデコリマ(四三〇)、マリオンチエ(四三三)等あり、而して五十乃至一百杆の幅を有する一帯の低地は海洋と臺地の麓との間に於て海岸に沿へり、又カリホルニア半島にありては山脈は顯著ならざるが東面は急斜せり

メキシコは河流に乏しき國なるが北境のリオグランデ、デルノルテは

長二千五百杆にして下流五六百杆は航行し得べく、流域は五十四萬餘方杆に達せり、リオコロラドの下流百二十杆はメキシコに屬す、其の他にカリフォルニア(六五〇杆)、ウスマシンタ(七〇〇杆)あり、メキシコの最大湖はチアパク列なるが有名なるはメキシコ谷の六湖にして風色に富めるはパツクアロ、クイツエオなり

緯度に依ればメキシコは熱帯に屬すれども、土地の高低并に海濱の遠近は氣候に著しき差異を生せり、是れチエラスカリエンテス(熱地)、チエラステンプラマス(温地)、チエラスフリアス(寒地)の別ある所以なり、平低にして濕潤に失する沿海の地より直立一千米突までは熱地に屬し、氣温は平均三十乃至三十一度なり、海拔一千乃至二千米突の斜面は温地に屬し、氣候温和にして激變少なく、平均氣温は二十三乃至二十五度なり、寒地に於ては氣候は乾燥にして寒冷を覺ゆ、平均氣温は十五乃至十七度なり、一年は二季に分れ、其の夏季は降雨季にして其の冬季は乾燥



季なり、而して二季の更替は急激なるも氣温に影響することなし、又二季の分界は北に進むに従ひて不明と成りて降雨期は漸く遅し、主風は北風と南風とにして甲は東岸に吹き乙は西岸に多く、殊に五月より十月までは風力甚強しと云ふ

人口は一千二百八萬餘にして一方州に付き六人の割合なるが、其の百分の十九は白人に屬し、百分の三十八は土民にして、百分の四十三は雜種なり、言語は種族に依りて差異あるも、エスパーニア語は法語として一般に使用せらる、宗教には國教なく、政教は全分離せり、國人の大多數はカソリック教を奉じプロテスタントに屬するもの甚少なし、教育は高等の學術技藝を專考する學院の外に、百三十六の各種學校あり、又九千に近き小學校に於て五十萬足らずの兒童を教養せり

メキシコは合衆共和國にして二十七州、二領土、一區より成れり、立法

權は元老代議の二院より成る國會に屬し、行政は公撰に係る大統領に委任せられ、司法は高等法院、并に各種裁判所之を實施せり、兵備は陸軍に三萬七千の兵ありて海軍に五隻の艦船あり、財政は歳入四百四十七萬銀弗にして歳出四百四十九萬銀弗なり、公債は内外を合せて二億九千萬銀弗あり

農業は熱地、温地に於ては砂糖、實綿藍、ココア、コーヒー、米、煙草、ソニラ等を産すれども、寒地にありては僅に麥を産するに過ぎず、牧業は北部に於て牛馬を飼ひ、南部に於て羊を養へり、林業は各種の木材を與ふ、鑛業はメキシコ第一の生業にして殊に貴金屬を産出せり、メノラ州よりオアヒカ州に至るまで二千軒の地はザカナカス、グアナヒアト、パチカ、等の中心を包含せり、而してコアファイラ、ヌエボレオン、タマウリパス、カリホルニアも金銀を産す、此の外、寶石、大理石、建築石等を産す、工藝には製

糸あり、織物あり製紙あり殊に蒸溜業は盛なり、又製陶は土人得意の業務たり、貿易は輸入に三千二百八十五萬銀弗ありて輸出に七千九百三十四萬銀弗あるが全計を國別にすれば合衆國(七千五百萬)、イギリス(一千七百萬)、フランス(六百萬)、ドイツ(五百萬)等にして輸出の重要品は貴金屬(四千六百萬)、コーヒー(一千二百萬)、ヘチクエヌ(六百七十二萬)、皮、木材、銅、煙草、ワニ、等なり

交通は鐵路に一萬一百六千あり、郵便に一千五百の局あり、電信線に六萬餘軒あり、

首府メキシコ(三、〇〇〇)は海拔二千三百米突の寒地に於ける繁華の市街なり、プエブラ(二、〇〇〇)は同名の州の首府にして工業稍盛なり、その他グマラヒラ(五、〇〇〇)、サンルイスポトシ(三、〇〇〇)、グナヒアト(五、〇〇〇)は稍名を知らる、又サンフラス、アカプルコは太平洋に臨む港にしてペラクルス

港はメキシコ灣に瀕せり

●中央アメリカ

中央アメリカを稱する地方即ち中部アメリカの地峽部は太平洋とアムステルダムとの間に介在する狭長なる陸地にして北と南の兩アメリカを連絡せり、北は海拔二百米突に過ぎざるテファンテペック地峽より起リユカタン半島に於て稍廣濶を成るもアマト灣に於て幅を減じ、再び増大してホンサラス、モスキシアを爲し、南の方は海拔九十米突のパナマ地峽に終れり、然れども政治上は北端に於ける一部はメキシコ共和國に屬し南端に於けるコスタリカ陸地の一部はコロンビア共和國に屬するを以て現に中央アメリカを稱する地方の面積は四十六萬餘方里に過ぎず

海岸は北部にありては平低にして潟灣に富み海底は概々淺くして岩礁多し而して太平洋に瀕する部分は断崖絶壁多くして風曲に富り

地、貌は起伏多くして交通に便ならざるが、廣潤なる部分に於ては、  
地を爲すも概し山脈の貫通するありて至る處に火山を存し其の數は八  
十餘に及べり、殊に注目すべきは陸地の一線ならずして、斷續定まらず  
若干の三角形の接合より成れるが如き形状を呈するにあり、假に海水  
をして數百米突ぐ高からしめば地峽は變じて列島を形成すべし  
氣候は内海の沿岸にありては濕潤にして炎暑を感じ、高嶺、高谷の地  
に於ては涼氣を覺ゆるも亦氣温の變化激しく冬季には降雪を見るこ  
とあり、而して北東風は雷雨を齎し來るも山脈の爲に遮らるるを以て、  
太平洋に瀕する地方は乾燥なり

中央アメリカは政治上、六部に區分せらるるが其の五部は獨立にし  
て僅に一部のみはイギリスの領土たり、

◎イギリス領

イギリス領ホンカラスはホンカラス灣に瀕する一帯の地にして二

萬一千餘方呎の面積を三萬三千餘の人口を有せり、住人の多數は黒  
色人、印度人、雜種人、等にして白人の數は四五百人を超過せざるべし、此  
の國の特産は紫檀なりしが現今は大に減少せり、首府はハリセと云ひ  
て同名の河口にあり

◎グアテマラ共和國

グアテマラは十二萬五千方呎の面積を以て中央アメリカ諸國の中に  
て最、廣く最、高き臺地にあり、サンサルバドルに隣接する處にありては  
海拔は五百米突に過ぎざるも北部に於ては一千三百乃至一千九百五  
十米突に達し、キサルテナンゴのアルトゥス地方には稀には降雪をも觀  
ることあるが海拔は二千五百米突なり、火山には二十一座ありて其の  
中の著しきものはアカテナンゴ(四五〇)、フェゴ(四五〇)、等なりとす、住人の數  
は百三十六萬なるが白人の數は四十八萬にして多數はエスパーニア人

マイヤス、トルテク、アツエック等の雜種に屬せり、而して人口の増殖は三十年毎に二倍する割合なりと云ふ、インデオスブラボスを除くの外國民の多數は耶蘇舊教を奉せり、首府ヌエバグアテマラ(七、二〇〇)は太平洋を距ること八十稜の地にありて海拔は一千五百米突なり、首府とサンジョセ港との間には鐵道あり、此の國の貿易高は輸入に六百九十四萬ペソありて輸出に二千三十二萬ペソあるが主としてコーヒを輸出せり

◎サルバドル共和國

サルバドルは一にサルバドルと云ふ、中央アメリカの五共和國の中にて最、小なるものなれば地積は二萬一千方稜に過ぎざるも、人口は八十萬なれば新世界の各國の中にては人口稠密なる國の一として算ふべし、此の地は土人のキヌカトラン富源の地と云ふ意にして太平洋に瀕する平低の地とホンデラス臺地の一部なる高平地より成れり、高地は幅五

十稜にして海拔は六百米突なるがグアテマラの山脈に連りて三十座の火山を有せり、而して其の最高峯はサンピセントにしてサンミゲル、イザルゴは活動するを以て名を知らる、又河流には巨大なるものなきもラムバ河は稍著しくフロバンゴ湖は形狀の奇異なるを以て名を知らる、氣候は炎熱にして降雨少なきが爲に乾燥に失するも亦甚しく健康を害することなし、住民の多數はラデオスにして之に次くものはアツエック派の土人なり、而して純粹の白人の如きは其の數甚だ少くして僅に總數の四十分の一に當れり、首府サンサルバドル(三、五〇〇)は太平洋のトリベルタッド港より五十稜の地にありて海拔は六百六十七米突なり

◎ホンデラス共和國

ホンデラスの地積は十二萬方稜あるも人口は四十萬に過ぎず、太平洋に面する部にはホンセカ灣あり、アンタル海に瀕する地にはプエル

トカバリオス港あり、南洋の間に於けるリアニョラ即ちコマヤグア平地は海拔八百五十米突にしてホンチラス臺地の平均海拔は一千米突なるか山岳中には三千米突を越ゆるものありと云ふ、住人の多數はラチオスにして其の他に純粹の土人、黒色人、白色人、雜種人あり、土地は肥沃にして地下には多量の鐵物を含み、氣候は概健康に適應するが、温度は海拔の高低に依りて十三乃至二十度の間を昇降せり、然れども住人の怠惰なると官吏の專横なるとに依りて生業は振ふ能はず、貿易高は五十三萬磅にして銀、畜類、香蕉、椰子實、煙草、コーヒーを輸出せり、首府は舊コマヤグアなりしが目下は、テグシガルバ(二、二〇〇)なり、プエルトコルテスとシメレコンとの間に鐵道あり

◎ニカラグア共和國

ニカラグアは十二萬方呎の地積と三十五萬の人口とを有するが、リオ

ココを挟みてホンチラスに隣せり、土地は概して平低なれば中央アメリカ諸國の中にて最。炎暑を感ずるの地なり、マナグ湖は一千五百方呎の面積を以て、海拔四十七米突の地にあり、パナロヤ河に依りてニカラグ湖に通ず、此の湖は八千三百萬方呎の面積と十六乃至八十米突の水深を有して、海拔四十米突の地にあり而して、流水口はサンチャアン河となりてアンナル海に趣けり、北部には起伏の一樣ならざる高地ありてホンチラスに連接せり、火山の數は二十以上に達するが、其の中にて活氣あるものをテリカ(二、五)モモンボ(八、三)コセダイナ(一〇〇)等なりとす、住人の多數が何種に屬するやは詳ならざれども土人なるべし、ラチオスは或は四分の一に過ぎずと云ひ、或は五分の三に達すと云ふも何れも確證の存するにあらず、其の他は黒人、雜種、ザンボにして純粹の白人は極めて少數なり、貿易高は輸入に二百七十八萬弗ありて輸出に三

百五十萬弗あり、首府マナグア(二七〇〇)は同名の湖の畔にあり、

◎ コスタリカ共和国

コスタリカは地峽部の最、幅の狭き處なるが、海拔六百乃至一千米突のベラゴ臺地の北部に當れり、而して地積は五萬四千方秤にして人口は二十四萬餘なり、山地は樹林に富めるも亦火山多くして其の數は十一あり、殊にモンテブランコ(三五六)、イラズ(三五五)、ナルリアルバ(三三三)等は活火山なり、住人は殆ど純粹の白人より成りて耕牧の民には五に對する一の異種人あるも此の割合は市街にありては二十に對する一と成る、是れコスタリカが近隣の小國に比し稍、盛況を呈する所以ならんか、而してコスタリカ人がエスバニア半島中に於て勤勉者たるの佳評あるガリシア人の子孫たるを知らば此の國の生業に多少の活氣ある所以を了解すべし、然れども不幸にして土地狹隘なれば多數の人口を有するの

望みなきを遺憾とす、貿易は輸入に五百八十三萬ペソありて輸出に九百六十二萬ペソあるが輸入品の主要なるものはコーヒー、香蕉、木材、革類等なり、首府サンホセ(三、〇〇〇)は海拔一千二百八十八米突の地にあり、太平洋のプンタアレナスを距ること九十六秤にして大西洋のリモンを距ること二十二秤なり、此の地の氣温は最低十四度にして最高二十七度なれば常に春暖の佳季にありと云ふべし

● アンチル諸島

位置 アンチル諸島は一名を西印度諸島と云ふ、北緯十度に起り同二十三度に達する一帯の嶋嶼を合せ稱するものにして其の北部は殆ど東西に走りて南部は概し南北の方向を有せり、北部はクバ、ジャマイカ、ハイチ、プエルトリコ、等の大嶋より成るを以て大アンチルと稱し、南部は風踏嶋、風下踏嶋、等の小嶋より成れるを以て小アンチルと稱す、而して

ハマ諸島を加ふれば極北は北緯二十七度に達すべし

境界 北東及び東は大西洋に臨み、南及び南西はアンチル海に瀕し、西はユカタン海峡を挟みて地峡部と相對し、北西はメキシコ灣、フロリダ海峽を隔て、大陸を望めり

地積 大小のアンチルを合はすれば二十四萬四千方杆の地積を有するが其の中二十一萬六千方杆は大アンチルに屬し、一萬四千五百餘方杆はハマ諸島に屬し、一萬二千餘方杆は小アンチルに屬せり

山岳 本群島の地質は火山性を有するあり珊瑚性を有するありて各處同一ならざるが、大嶋には火山質を有するもの少なからざるが如し而して山脈はシエラデクマに於ては二千八百米突に過ぎざるがハイチ

嶋に於ては三千四百米突に達する所あり

河流 本群嶋は海洋の爲に圍繞せらるゝを以て降雨多く従て水脈に乏しからざるも土地狹長にして平原少きを以て大河巨流の存するあるなし

氣候 平低の地は炎熱にして温潤なれば、草木は繁茂すれども、人類の生息には適せずして、瘴疫の興ふ所と成る、又沿海の地にありては暴風の害を被むること夥しとせず、而して高地に於ては氣温稍低く濕氣も亦強からず概して健康に適へり

天産 本群嶋は世界有数の饗饒地なれば植物に富めり、殊に甘蔗、ココロ、ココア、煙草、實糖等を産するを以て有名なり

人口 住人の總數は六百萬に近きが土民は全く消滅して其の餘類を見る能はず、白人は僅に總數の四分の一あるに過ぎずして大多數は、黒奴の子孫たる黒人なりとす、而して多少の黃人あるが何れも清國人なり、又言語に依りて人口を區別すればエスパニア語を用ふるものは三

百萬に近くして殘部はフランス語若しくはイギリス語を用ふ

區劃 政治上の區劃を記さんに、獨立部はハイチ、サントドミンゴの二共和國にして、屬領部はエスバニア、イギリス、フランス、オランダ、ダン

マルクの間に分たる

◎ ハイチ共和国

ハイチ共和国はハイチ嶋の東半を占め二萬八千餘方呎の地積を有せり、山岳多き地なるがアルチボニット河は航行し得べし、人口は九十六萬に達するも白人は極めて少なし、住民は概してフランス語を用ひ、耶蘇舊教を奉せり、政體は共和にして上下の二院を有し、十縣を置きて内政を司れり、財政の整理せざるに因るか、歳入は七百七十萬ピヤストルなるに歳出は八百五十萬ピヤストルに達し又一千七百萬ピヤストルの公債を有せり、兵備は陸兵に六千八百人ありて海軍に五隻の軍艦あり、貿易高は輸入に四百五十萬ピヤストル(紙幣)ありて輸出に三百十六萬ピヤストルあり、首府ポートルトープレンヌ(10,000)は良港を有するを以て名を知らる

◎ ドミニカ共和国

ドミニカ共和国はハイチ嶋の西半を占む、地積は四萬八千方呎あるも人口は四十二萬に達せず、住民は黒人多く、エスパニア語を用ひ、耶蘇舊教を奉せり、政體は共和にして一院制なり、貿易高は輸入に五十萬磅ありて輸出に四十五萬磅あり、首府はサントドミンゴ(2,500)なるが一の商港を有せり

◎ エスパニア領

エスパニア領はクバ、プエルトリコの二大嶋より成れり、クバ嶋は地積(十一萬九千方呎)の廣大なると土地の豊饒なるとに於ては實にアンチルの女王たり、嶋形は狭長にして頗る港灣に富るが周回は三千一百八十四呎ありて一千二百二十二呎の長さ、三十九乃至二百十七呎の幅とを有せり、嶋の南東部に於ける山脈シエラマエストラはツルクノ山の二千五百六十二米突に達するも其の他の部には丘陵を見るに過ぎずし



て最高處と雖、七百米突に達することなし、河流は少なからざるも何れも細流にして顯著なるものなし、氣温は概して炎暑を感ずるも季節の來往は極めて適順なり、炎熱にして降雨多き季節は五月より十月に亘り其の他の季節は氣温暖和にして甚だ爽快を覺ゆ、又熱帶地方の特産たるコーヒー、ココア、實綿等を有するのみならず、甘蔗を産すること夥しくして世界第一の稱あり、煙草は良質を以て鳴り殊に西部のプエルタアバヨ地方に産するハバナは世界に冠たり而して森林は紫檀、黒檀等の如き木材を生ず、人口は百六十三萬なるが、白人の數は百餘萬にして多くはエスパニア人なり、其の他、五十萬の黒人と五六萬のアマチコ、イスビユカタン人あり、總督は全嶋を管轄せるが六人の知事を置きて地方の行政を司れり、財政は佳良の狀況を呈せず、歳入の二千四百四十四萬ペソに對する歳出は二千五百九十八萬ペソなり、兵備は陸兵に二

萬人ありて海軍はアンタル艦隊の十二隻を有せり、貿易高は二億五千萬ペソにして輸入に一億三千万、輸出に一億二千万あり而して重要輸出品は砂糖と煙草との二種なり、又交通に關しては鐵道に一千六百軒ありて電信線に三千五百四十八軒あり、首府ハバナ(3,000)はアンタル諸嶋第一の都會にして商業繁榮なり、

プエルトリコ嶋は九千三百十四方軒の地積と八十餘萬の人口を有するが、土地は山岳に富みて平低の地に乏し、貿易高は輸入に一千八百二十三ペセタありて輸出に一千七十一萬ペセタあるが、重要輸出品は砂糖、コーヒー、蜂蜜、煙草等なり、首府はサンチャアン(3,000)と云ふ

ピルゴ諸嶋に屬するクエアラ及びクラブの二嶋も亦エスパニアの領土たり

イギリス領は**ジャマイカ**、**カイマン**、**三嶋**、**バハマ**諸嶋、**ビルゴ**諸嶋、**セントキッツ**、**アングィユ**、**バルバド**、及び**アンチグア**、**ニユーベス**、**モントセラット**、**トドミン**、**ニック**、**サントルシ**、**セントビンセント**、**グレナダ**、**バルバド**、**トバゴ**、**トリニダ**、**スリナム**等より成りて地積は三萬四千餘方杆あり、人口は百四十萬餘に達すと云ふ

**ジャマイカ**島は**クバ**島の南にありてイギリス領島嶼中の最大なるものなり、地積は一萬餘方杆にして人口は六十三萬餘なり、島内は山岳に富めるが**ブリームンテン**山脈に**大カステード山**(三六二)、**コールドリッチ山**(四八六)あり、其の他に**ブリーリッチ**、**ブリーヒル**等あり、平低の地は或は沼地と成りて濕潤に過ぐるあり或は耕耘に適するあるも概して炎暑の地にして不健康なり、然れども海拔の高き谿谷の地に温和の季候を有するものありて頗る人生に適せり、住人は黒人多くして白人は漸次減少すと云ふ

ふ、首府**キングスタウン**(四、〇〇〇)は砂糖を以て製したるラム酒を産す、**アンチグア**島は**バルバダ**と共に一の殖民地を爲せるが地積は四百七十五方杆あり、人口は三萬四千あり、首府**セントジョン**(二、六〇〇)は兼ねてイギリス領小**アンチナル**の首府たり

**ドミニカ**島は**フランス**領の**グアドループ**と**マルチニク**との間にあるが、地積は七百五十四方杆にして、人口は凡そ三萬なり、首府を**ロザン**と云ふ

**バルバド**島は四百三十方杆の地に十八萬の人口を養へり、氣候は佳良にして土地は耕耘に適せり、住民の中にて白人は一萬六七千に過ぎざるが黒人并に雜種は増殖甚だ盛なり

**トリニダッド**島も亦**ウガラン**の害を被らざる土地にして、小**アンチナル**列島中の最大島なり、地積は四千五百四十四方杆あるも耕耘に供せるものは

二十分の一に過ぎずして此の外の地は森林沼澤山岳等の占むる所なり、氣候は炎熱なる沼地に非ざれば甚しく健康を害せざるが如し、人口は二十一萬餘あるも白人は僅に數千人なり、首府ポート・オフスペインは島の北西にあり

バハマー群島は一千四百軒の長と平均三百軒の幅とを以て一萬四千方軒の地積を有せり、氣候は健康を害することなきも乾燥に失するが故に住人は四萬四五千に過ぎず、而して群島中に於ける商業の中心はプロビデンス島のナッサウなり

合衆國を離ること一千軒未満にしてバハマーを距ること一千軒以上なる處にバーマドと稱する群島あり、地積は五十方軒にして人口は一萬五千なり、

○ フランス領

フランス領はセンマルタン(北部)、センバルテルミー、ラデヨラード、マリガラン、プナットテール、レトセント、ラグダル、ラマルチニク等の諸島より成りて二千七百餘方軒の地積と三十六萬の人口とを有せり、而して行政上は之をラグダル、プ及び屬嶋とラマルチニクとの二部に區分せり

ラグダル、プの屬嶋はマリガラン、ラデヨラード、プナットテール、レトセント、センマルタン(北部)、センバルテルミー等なるが地積と人口との合計は一千八百方軒と十八萬なり、貿易高は五千三百萬フランクに達し輸出品の主要なるものは砂糖なり、首府はラバンステールにしてラボワントアピートルは商港なり

ラマルチニクは九百九十方軒の地積と十八萬の人口とを有するが貿易高は五千一百萬フランクにして重に砂糖を輸出せり、首府はホー

ルドフランスメと云ひてセンビエールは商港なり

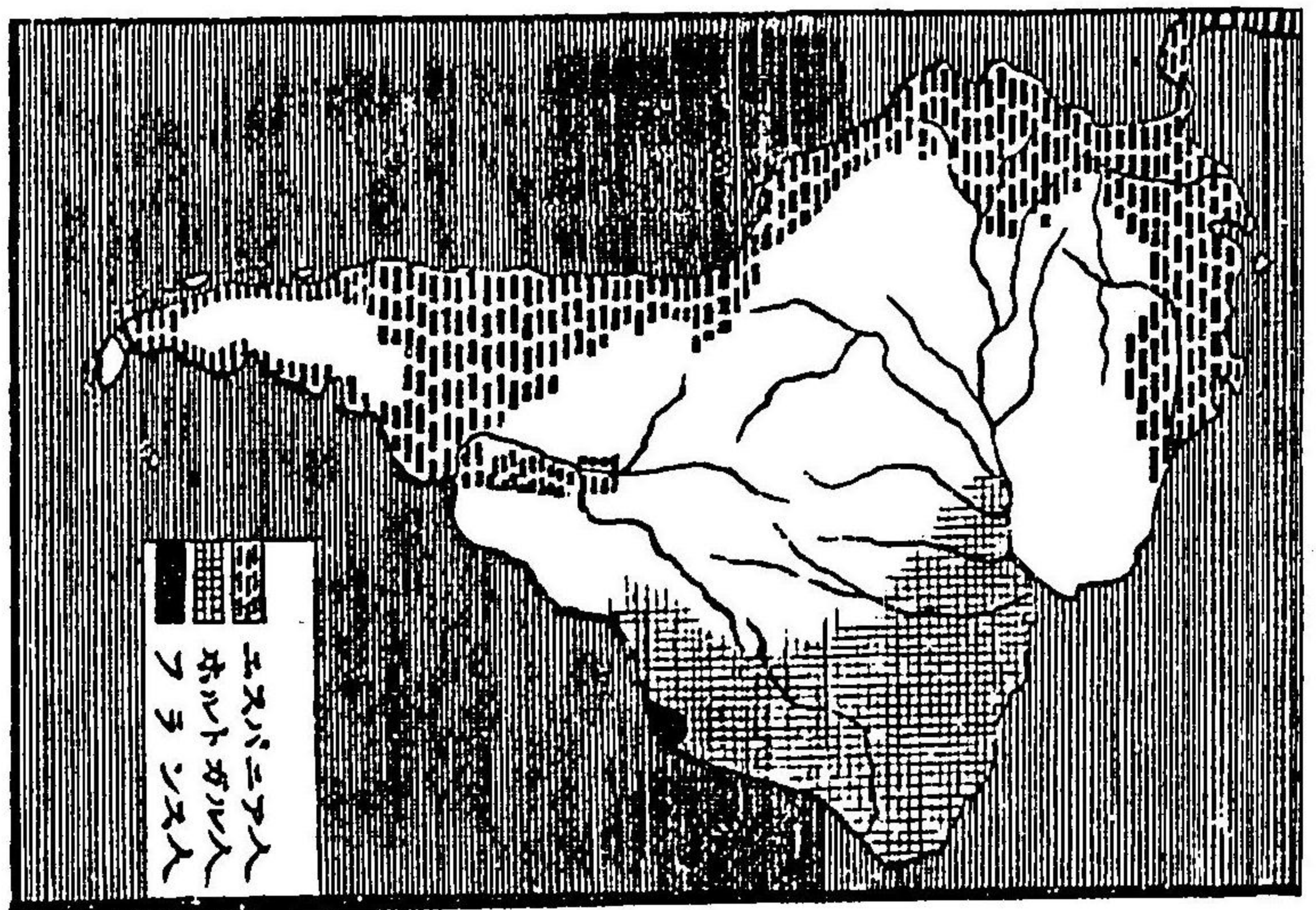
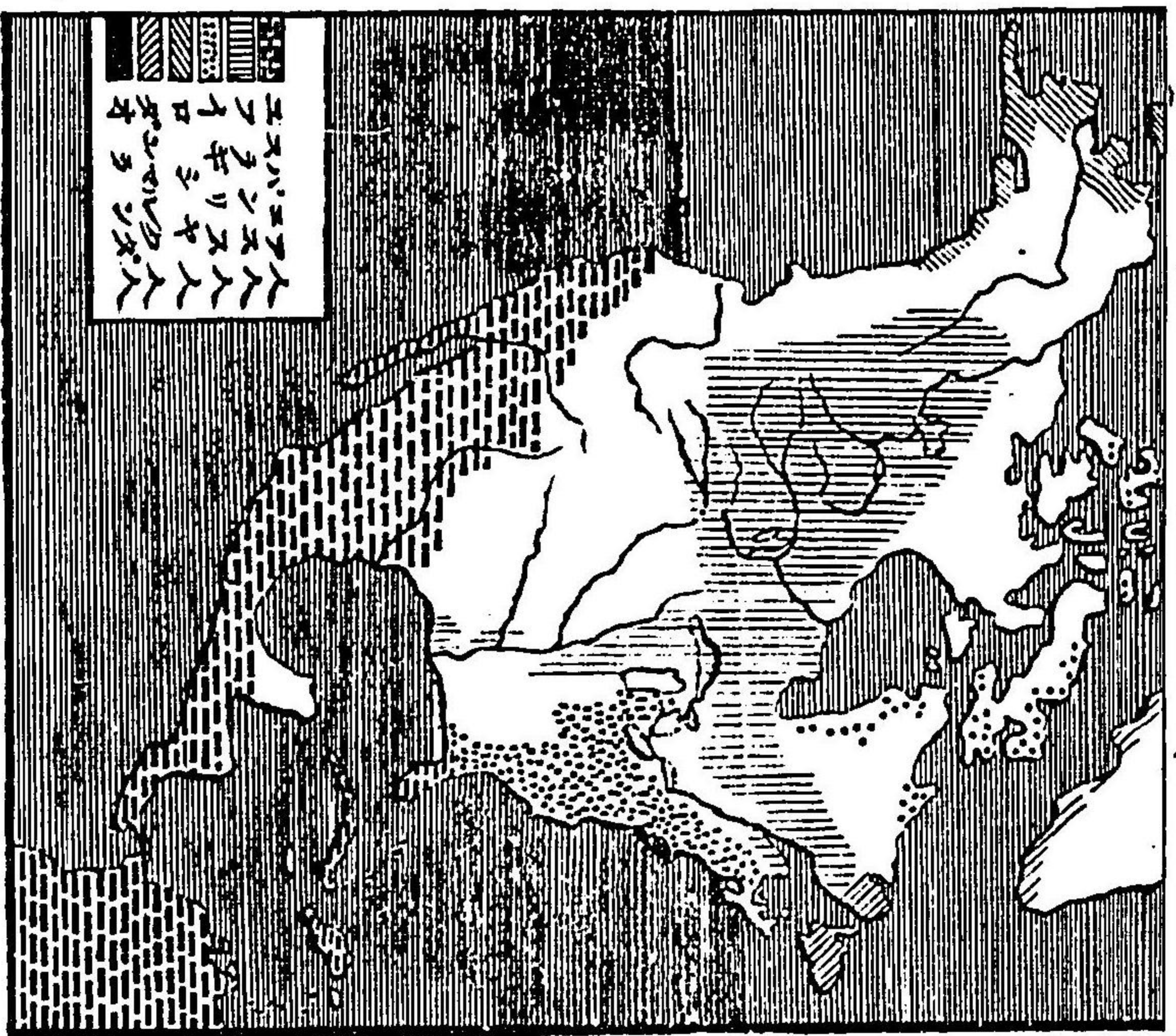
◎オランダ領

オランダ領即ちキタソノ殖民地はサバ、サントウスタナエ、サントマルナ  
 (南部)并に風下諸嶋に屬するキタソノ、オルバ、ボチール等の諸嶋より  
 成りて地積に一千一百三十一方軒、人口ニ四十七萬あり、首府はキタソ  
 ノ島に於ける井エルレムヌマドにして全殖民地の貿易高は一千六七百  
 萬フランクなり

◎デンマルク領

デンマルク領はサントトーマス、サントウオン、サントクルセの三島よ  
 り成れり、地積は三百五十萬方軒にして人口は三萬四千なり、首府はサ  
 ントトーマス島のナルロットアマリエなるが自由貿易港として名を知  
 らる

人パロエ住移の期初るは於て計かりぬあ



### 南アメリカ

#### ●コロンビア共和國

コロンビア共和國は南アメリカの北西隅及び中央アメリカ地峽部のナリキ瀉以南の地より成れり、北西にアンタル海を控へ、北東はベチズエラに隣し、東はベチズエラ、ブラゾルに接し、南西はエクアドルと境を交へ、西は太平洋に臨めり、然れどもコスタリカ、ブラゾル、エクアドルとの境界は未だ明確ならず、従て地積も判然せず、して凡そ百二十萬方秊ありとす、海岸はアンタル海に二千四百九十秊ありて、ゴアヨラ半島、マリアン灣を爲し、太平洋に二千三百九十秊ありて、パナマ灣を爲せり

アンデス山脈は赤道附近に於て東中西の三脈に分れ、北進するに從ひて互に相違かりて隆起せる谷地を挟めり、此等の山脈は何れも著しき

直立を有するが殊に中脈はブラセ(四七〇〇)、チハドテフイラ(五五〇〇)、チ  
 バドアルクインゲオ(五一五〇)、トリマ(五六二六)、サントイザベラ(五一〇〇)、等を包  
 括せり、又アンチル海に沿ひて一の山脈あり、名づけてシエラチバダテ  
 サンタマルタ(五三〇〇)と云ふ、山脈の西には僅少の平地を見るに過ぎざ  
 るが、東には廣漠たるリアノスあり、山脈の間に於ける谷地にはマクダレ  
 ナ河(二七〇〇軒)、あり、其の最大支流なるカウカラ(一三五〇軒)あり、アトラト  
 河は長六六十五軒の河流なるも、多量の水を輸送するを以て著名な  
 り、又リアノス地方にはオリノコ井にマラニオンの支流あり  
 氣候は沿海井に地峽の低地にありては暑氣強くして健康に適せざ  
 るも、土地の隆起するに従ひて温地と成り冷地と成るを見るべし、コロ  
 ソビアは各種の熱帶的植物に富むのみならず、地下には金、銀、白金、鐵、銅  
 鉛、石炭、寶石、等を藏む

人口は三百三十二萬なれば一方軒に付二、八の割合なるが、雜種即ち

チオロスに百三十萬あり、土人の數は百五十萬にして、其中文化に浴す  
 るものは百十萬あり、此の外は黒人、白人、等なり而して國教はカソリック  
 教なり、政體は共和國にして二年毎に改撰すべき大統領を戴き、元老代  
 議の兩院より成る國會は立法の權を有せり、而して行政上は全國を九  
 縣七領土に分ち、兵備上は五千五百の陸兵を有せり、

農業は實綿、煙草、ココア、コーヒー、砂糖藍、ワニラ、キナ、カウチウ、ゴム并  
 に穀類等を産するも甚多量ならず、林業は各種の木材を産すべきなれ  
 ども未だ充分の發達を見るに至らず、牧業に従事するもの少なからざる  
 も、鑛業の盛なるに及ばず、貿易は輸入に一千三百四十萬ペソ銀ペソは一  
 圓七十錢ありて、輸出に一千四百六十三萬ペソあり、而して主要なる輸出品はコ  
 ーヒー、貴金屬、寶石、煙草、皮、ココア、等なりとす、鐵路は三百八十八軒あり、  
 有名なるはバナマ線なり、船舶の航運は入に一千五百十隻、八十萬噸

ありて、出に一千四百七十五隻、百四十三萬噸あるも概々外國船なり  
首府ボゴタ即チサンタヘデボゴタ(11000)は一千五百三十八年の創建  
に係りて海拔二千六百三十二米突の處にあり、此の地の気温は十四乃  
至十六度にして極めて變化少なし、パナマ港(1500)は南洋鐵道の南端  
にありて盛に通商に従事す、コロン港は同鐵道の北端にありてアンチ  
ル海に瀕せり、

● ペネズエラ合衆國

ベチズエラは南アメリカの北部にありてコロンビアの東、グイアナの  
西にあり、若干の争地を扣除すれば地積は百四萬方軒餘と成る、海岸は  
屈曲多くベチズエラ灣、マラカイボ灣、パリア灣あり、半島にはパラグアナ、  
パリアあり

北部の沿海の地に於ける山脈は西より東に走れるが、セルコチアピ  
リア(2733)チイグタ(2880)を包括し、北西に於けるメリダ山脈、シエラ  
チマダはアンデス山脈の餘脈なり、南部の高地にはシエラパリア(1500)  
シエラマカレマ、等あり

オリノコ河は南アメリカ第三の巨流なるが水源をパリア山脈に發  
し高地を北流シテアマゾン河の支流、リオチグロに通じコロンビアより  
來るグアピアレ、メダ、等の水を受け、メリダ山脈より發するアビレンに達し  
てリノスを東流し、宏大なる三角洲を擁して海に入る、河の長きは二千六  
百軒にして流域の地積は一百万方軒に達し平均水量は一萬四千立方  
米突なり

ベチズエラを北より南に通過すれば先、第一に沿海一帯に熱地を見  
るべし、太陽は光線を直射し、山脈は之を反射し、空氣は靜穩にして風な  
く、寒候にありても廿四度を降らず、年平均は廿七度乃至三十度なり、然  
れども沿海山脈の地にありては空氣清涼にして暑氣に苦むことなし、

リノスに出づれば再び炎熱を感ずれども南部の高地高谷にありては溫和又は寒冷を覺ゆべし、而して物産に關してはベチズエラを三帶に區分せり、海岸并に沿岸山脈を農帶とし、リノスを牧帶とし、高地を林帶とす、ベチズエラは天産に富めり、山岳は金、銀、石炭、石油、岩鹽等を藏め、森林は各種の木材を有し、耕地はカウチャー、ゴム、キナ、染料、コーヒー、等を與ふる、神木の培養に適し、又穀類、畜類を産すべし

人口は二百三十二萬にして白人、土人、黑人あり殊に雜種多くして獨立土人は五萬に達せり、政體は合衆國共和國にして八州、七領土、一合衆區より成りて二殖民地を有せり、元老代議の二院より成る國會は行政の任に當るべき合衆會議を撰定す、而して大統領は合衆會議の撰擧する所なり、兵備は陸兵五千と軍艦五隻とを有せり、貿易は輸入に八千四百萬ありて輸出に一億一百万あり、而して主要なる輸出品はコーヒー、ココア煙草、砂糖、實綿、藍、金、銅、木材、皮、畜類等なり

とす、鐵路は六百二十軒あり、電信線に六千三百軒あり、首府カラカス(モモ)は海拔八百米突の地にありて氣候は佳良なり、一條の鐵路は本市とラジニイラ港とを連絡せり

●グイアナ

南アメリカの北部にありて、大西洋に瀕し、オリノコニアマソンの下流に挾るる地方をグイアナと稱す、而して北部の西端はベチズエラに屬し、南部はブラジルに屬するが、殘部はイギリス、フランス、オランダの間に三分せらる

グイアナ各部の境界は頗る不明にして争點も少なからず、地積は三ギイアナを合すれば四十三萬八千萬軒ありて人口は四十萬なるが、白人は甚だ少なし、海岸の延長は一千一百乃至一千五百軒あるも平低にして良港に乏し、沿岸の地は幅六十乃至一百軒あるも濕地多きに過ぐ、而して内



部に越くに從ひて土地は隆起し、太陰山脈、ツムクハマク山脈はオリノ  
コミアマソメの分水線に當れり

氣候は沿岸の地に暑くして濕氣多く二十度乃至三十八度の間を昇  
降するも概は二十五度乃至二十七度にあり、然れども内部の高地は温暖  
にして健康に適すと稱す、植物は熱帶的にして盛に繁茂するも、氣候惡  
しく住人の増殖を妨ぐるを以て、貴重なる富源も徒に遺利たるに過ぎ  
ず

イギリス領グイアナは二十三萬方杆の地積と二十七萬の人口とを有  
す、製糖に従事し砂糖、糖蜜、ラムを輸出す、首府はジョージタウン(五、六〇〇)な  
り

オランダ領グイアナ即ちスリナムは十三萬方杆の地積と七萬の人口と  
を有す、甘蔗、コーヒ、實綿、ココア、黄金等を産す、パラナリホ(二、八〇〇)を以  
て首府とす

フランス領グイアナは八萬足らずの地積と三萬の人口とを有す、黄金  
木材、甘蔗等に多少の産あるも他の二グイアナに及ばず、首府はカイエン  
ヌ(一、三〇〇)なり

● エクアドル 共和國

エクアドル共和國は三十萬方杆の地積を以てコロンビアの南ペルー  
の北にあり、海岸は屈曲に富まざれども、グイキル灣、アンコン灣等あり  
て地角にも乏しからず、嶋嶼は沿岸にプナ嶋あり、遠洋にガラパゴス諸  
嶋あり

アンデス山脈は沿海の地を南北に通過し二脈を爲して海拔二千九  
百乃至三千米突の高産地を抱擁せり、西山脈は共に平均海拔四千米突  
を有するが西山脈はチンボラソ(六、二五四)ピナチナ火山(四、七八七)等の高  
峯を有し東山脈はサンガイ(五、三三三)ツングラケ(五、〇八七)コトバキン(五、七四六)

等の秀嶺を有せり、此等の山脈の東の斜面は鬱蒼たる森林を戴き緩斜してアマゾン河の流域たる一大平野を形成し、西の斜面は断崖絶壁、峡谷峽地を爲して急斜し、沿岸の地に至れば平低なる沼地を纏へり  
氣候は沿海の地に炎暑にして健康に適せず、臺地に快爽なり、山派の東にありては暑氣濕氣は共に強烈にして乾候濕候の境界極めて判然たり、而して山地は金、銀、白金、石炭等を産し、アマゾン斜面の森林は木材の無盡藏たり

人口は百二十萬にして多數はチロス、ザンボス、雜種に屬す臺地并に沿岸の地に棲居せり、政體は四ヶ年毎に大統領を改撰して行政を委ね元老代議の二院を有する國會をして立法の事を掌らしむ、而して行政上、全國を十七縣に區分せり

貿易は總べてグ、ヤ、ク、ル港に於て實行せられ、百三十二萬を輸入し、百八十萬を輸出せり、鐵路はグ、ヤ、ク、ルとシバンベとを連絡せるが延長は

一百二軒あり

首府キトリ(三、五〇〇)は海拔二千八百五十米突の地にありて氣候は快爽なり、グ、ヤ、ク、ル港(四、五〇〇)は南アメリカの太平洋に瀕する良港の一なり

ガラパゴス諸嶋は一千軒の沖にあり、地積は七千六百四十三方軒なるが二千有餘の噴火口を有す、云ふ、住人は極めて少數にして牧業に従事し、移殖に係る畜類を飼養せり

●ペルー共和国

ペルー共和国は百十三萬方軒の地積と二百九十八萬の人口とを有す、其の内、百九十萬は土人、七十萬はチロス、三十五萬は白人、殘餘は雜種なり

アンデス山脈は海岸に並行して南北に走り、三條の山脈は高地深谷を挟みて三帶の地を形成せり、コスタ即ち沿海地は海岸より起りてアン

デス山脈の西斜面に於ける一千五百乃至二千米突の地に達せり、シエ  
リ即ち山岳地は二千乃至四千米突の地を抱括し、モンタニア即ち森林地は  
山脈の東にあたり、緩慢なる傾斜を以て二千米突より五百米突まで降  
下せり、而して此の三帯は各、風色、氣候、天産等を異にせり、コスタは乾燥  
に失す、溪谷の地にあらざれば豊饒ならず、降雨は極めて稀なるも露は  
甚多し、氣温は變更少なく平常は十九度乃至二十度なり、時に二十五度  
以上三十度に達することあるも屢ならず、植物は温帶的と熱帶的とを兼  
ぬ、シエラは氣候爽快なる谷地を有するも寒冷に失する、ブナスありて  
高山秀嶺を戴けり、氣温は零度乃至二十二度にして降雨降雪を有する  
こと恰、温帶の地に於けるが如し、土地は穀類馬齡薯を産し牛馬の飼養  
に適す、モンタニアは綠樹の大洋にして氣温高く強雨屢至り、空氣は平  
均二十一二度なるが濕潤にして殆ど飽和點に達せり、此の地は森林の富

有するの外、熱帶的の野菜、果物、穀類等を産す、河流はマラニオン、ニカヤリ  
等の巨流を發し、チチカカ湖は直立三千八百十三米突の地にあり  
政治上は四年毎に改撰すべき大統領を戴きて之に行政を委ね、元老  
代議の二院を設けて立法を司らしむ、全國を二十縣に分ち各縣を數郡  
に細分す、兵備は陸兵三千と數隻の軍艦を有するに過ぎず、歳入歳出は  
共に七百三十五萬ソルにして公債は三億ソルに達せり  
農業の稍發達せるは沿海の地にして、其の他の地方にありては力役、資  
本、交通の缺乏は斯業の進歩を妨碍せり、鑛業は稍盛にして銀、硝石、グア  
ノ等の採掘に従事す、製糖も亦見るに足るものあり、貿易は太平洋の各  
港に行はれ、輸出入の合計は二千七百萬ソルに達せり、而して輸出品の  
主要なるものは砂糖、銀、綿、生毛等なりとす、鐵路は一千五百軒ありてカ  
リアオリマ、ラオロヤ線とモリインド、アレクパ、プロ線との二線を

爲せり

首府リマ(10,000)は海拔百七十五米突の地にありて太平洋を距ること二十餘軒なり、降雨稀にして三十年に一回を觀るに過ぎずと云ふ、カリャオ(3,500)はリマの附庸港にして全國第一の貿易場たり、アレクシバ(3,000)、クヌコ(3,100)、モリェンド港は南部の要處なり

●ボリビア共和國

ボリビア共和國はチレ、ペルー、ブラジル、パラグアイ、アルゲンチナの間介在せる國なるが、地積は百三十三萬方軒にして人口は百四十三萬なり

山岳は少なからざるも何れもアンデス山脈に屬す、四山脈は平均直立四千米突にして最高峯はサビヤマ(六四一五)なり、東山脈はイェルリマニ(六四一〇)、

ソラメ(六五五〇)、等の高峯を有す、此の兩山脈の間に於ける窪地の海拔は三千五百乃至四千にして北と東とには平低なるリアノス、チアコあり、河流の著しきものは窪地に於けるデサグアデロにしてチチカカ湖、メンマウリアガス湖、シエナガテコイバサの三湖を連絡せり、又ペニ、マモレ、等はアマソスの流域に、屬しビルコマイヨ、ベルメヒオ、等はリオブラグエイの支流たり、

氣候は低地に於て暑氣強く不健康なれども東の斜面に於ては溫和にして爽快なり、窪地にありては嚴寒を感じ降雪を見ること稀ならず又暴風の襲來することあり

住人は百萬の土人、五十萬のチオロス人、二十萬の白人、十萬の黒色雜種より成れるが、別に野蠻の土民二十五萬あり而して白人并にメナスは臺地に居住せり

共和國は四年毎に改撰せらるべき大統領の配下にありて立法權は